放送を視聴する

ページ

番組を選ぶ

番組の選択手順と操作のしかた

デジタル放送の場合は、電子番組表(EPG)を使って番組を選ぶこともできます

- **右記手順 1 ～ 2 の後に電子番組表を表示して、放送中の番組を選びます。**

電子番組表(EPG)の表示のしかた、機能、操作方法については、**82**～**86**ページをご覧ください。

1. 放送の種類(ネットワーク)を選ぶ

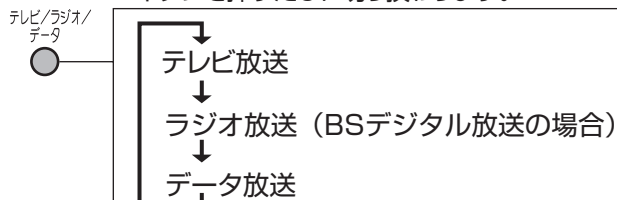
放送切換ボタンで、放送の種類(ネットワーク)を選びます。

ボタン	放送の種類
地上A	地上アナログ放送
地上D	地上デジタル放送
BS	BSデジタル放送
CS	110度CSデジタル放送

2. 「テレビ」「ラジオ」「データ」を選ぶ
（デジタル放送の場合）

テレビ／ラジオ／データボタンで、メディアを選びます。

・メディアとは、テレビ、ラジオなどの放送媒体を意味します。

※ボタンを押すたびに切り換わります。

3. 視聴したいチャンネルを選ぶ

次のいずれかの方法でチャンネルを選びます。

■チャンネルボタン(数字ボタン)で選ぶ

- チャンネルボタンを押してください。
- チャンネルボタンには、各放送局のチャンネルが登録（設定）されており、ワンタッチ選局できます。
- 登録されているチャンネルの確認のしかたは**77**ページをご覧ください。

■選局(∧順／∨逆)ボタンで選ぶ

- 視聴したい番組が表示されるまで選局（∧順／∨逆）ボタンを押してください。
- 選局（∧順／∨逆）ボタンを押すたびに、視聴中のネットワーク・メディアのチャンネルが、順方向・逆方向に選局できます。

- デジタル放送はB-CASカード（**56**･**57**ページ）を挿入してご覧ください。挿入しないと視聴できません。
  地上デジタル放送は、地域設定とチャンネル設定(**58**～**63**ページ)を行うとご覧になれます。
  なお､お住まいの地域で地上デジタル放送開始前は設定しても受信できません。
- データ放送の使いかたは、各放送局の番組の作りかたによって異なります。基本的にはカーソルボタン、決定ボタン、カラーボタンなどで操作します。
- 地上デジタル放送と110度CSデジタル放送には、ラジオ放送がありません。

選局したチャンネルの画面表示例

- BSデジタル放送のテレビ放送「NHK BS1」を選んだとき

- BSデジタル放送のラジオ放送「WINJ」を選んだとき

- BSデジタル放送のデータ放送「ウェザーニュース」を選んだとき

その他の選局方法

3桁入力で選ぶ(デジタル放送の場合)

・視聴したい番組の3桁チャンネル番号を入力して選局できます。
チャンネル番号表(**77**ページ)を参照してください。

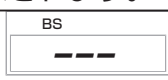
1 地上D BS CS のいずれかを押し、放送の種類(ネットワーク)を選ぶ

2 [例]BSデジタル放送の161チャンネル(BS-i)を選ぶとき

① **3桁入力 を押す**
・画面右上に3桁入力欄が表示されます。

BS
– – –

② **数字ボタン 1 6 1 を押す**

BS
16–

・間違った番号を入力した場合は、再度3桁入力ボタンを押すと、初めに入力した番号がクリアされます。

CATVチャンネルを選ぶ

・CATVチャンネルは工場出荷時、チャンネルスキップ「する」に設定されています。(解除のしかたは**55**ページ)
・本機のCATVチャンネルは、C13～C63チャンネルの範囲で選局できます。
[例] C23を選ぶとき

1 CATV を押す

2 数字ボタン 2 3 を押す

お好み選局/登録画面を表示して選ぶ

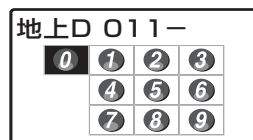
・お好み選局/登録ボタンを押して、登録されているチャンネルを選局します。(**162**ページ「お好みのチャンネルを登録する」を参照してください。)

1 お好み選局/登録 を押して、お好み選局/登録画面を表示する

2 視聴したいチャンネルが登録されているチャンネルボタン(1～12)を押す
・視聴したいチャンネルが直接、選局できます。

地上デジタルチャンネルの枝番を選んで選局する

・地上デジタル放送を3桁入力で選局したとき、チャンネル番号の重複する放送局がある場合は、4桁め(枝番)を選んで番組を選局します。

・3桁チャンネル番号が重複している場合は、4桁め(枝番)の選択画面が表示されます。

数字ボタン(1～10/0)で4桁めの数字(枝番)を入力し、選局する

はじめてCSチャンネルを選局するときは

・CSネットワーク情報を取得するため、次の手順で操作してください。
① 放送切換ボタンの CS を押します。そのままで5秒程お待ちください。
② リモコンのチャンネルボタン 1 を押します。そのままで5秒程お待ちください。
③ 番組表 を押して、選局したい放送局のチャンネル番号が表示されることを確認します。
④ 選局したい放送局のチャンネル番号が表示されない場合は、チャンネルボタン 1 または 2 を押し、目的のチャンネル番号が表示されるまで、再度5秒程度お待ちください。

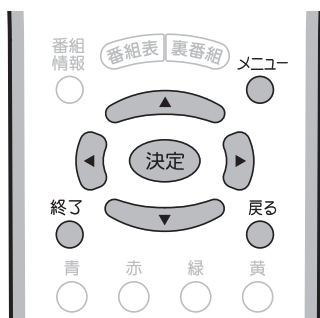
ゴーストを軽減する(GR機能)

■ ゴースト(電波障害)の発生によって見にくくなった地上アナログ放送チャンネルのゴーストを軽減することができます。(GR機能)
※GRはゴーストリダクションの略称です。

■ GR機能は、地上アナログ放送の入力信号に対してのみ動作し、チャンネルごとに設定できます。

■ GR設定は工場出荷時、地上アナログ放送のすべてのチャンネルが「入」に設定されています。

「ゴースト」について

- ゴーストとは、放送局とテレビアンテナの間に高層ビル等の障害物がある場合など、電波が乱反射することによって発生する現象で、映像がダブって見えたり、ぼやけて見えたりするためにゴースト(幽霊)と呼ばれます。また、工事用のクレーンや天候等が原因で発生したゴーストは、時間の経過とともに大きく変化したり揺れたりします。
- ゴーストは、場所・天候等により発生原因が千差万別であるため、発生原因に対応して完全にゴーストを消すことはできません。

- つぎのような場合は、ゴースト軽減効果が得られません。
  - 放送局からゴースト除去基準信号が送られていないとき
  - 飛行機などの反射によりゴーストが変動するとき
  - ゴーストの電波が強いとき
  - ビデオデッキなどからの再生映像を見るとき
- GR設定を「入」にしておくと映像が見づらい場合は、「切」にしてください。
- チャンネルを切り換えた直後は、一時的にゴーストが増えることがあります。
- 電波が弱いときにGR機能を働かせた場合は、新たにゴーストがつく場合があります。
- アンテナを正しい向きに設置しないと、ゴーストが軽減できない場合があります。(アンテナは、最も強い電波が来る方向に向けてください。)

1 **地上アナログ放送の「個別設定」(54ページ)の共通操作手順1〜3を行う**

2 **GR設定を変更したいチャンネルボタンを押す**

3 **① 決定 で「GR設定」を選ぶ**

② 決定 で「入」を選ぶ

4 **① 決定 で「GR速度」を選ぶ**

② 決定 で「標準」または「速い」を選ぶ

「標準」……GR効果はゆっくり現れますが、より確実な効果が得られます。
「速い」……GR効果は早く現れますが、確実な効果が得られない場合があります。

操作終了する場合は

メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

- 1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

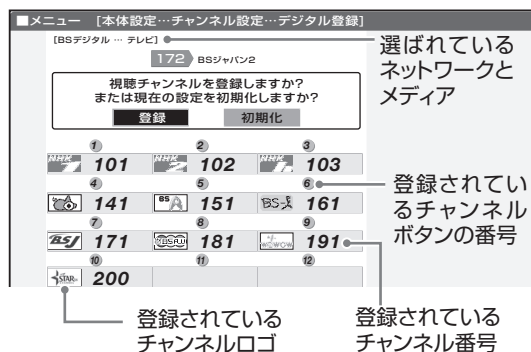
- GR機能を「入」にすると、チャンネル表示の中に「**GR**」が表示されます。

デジタル放送の登録チャンネルを確認する

■ ワンタッチ選局に使うチャンネルボタンに現在登録されているデジタル放送のチャンネルを確認することができます。

デジタル放送を視聴中に、メニュー画面から「本体設定」ー「チャンネル設定」ー「デジタル登録」ー「する」を選んで（決定）を押す

・登録されているチャンネル内容の一覧が表示されます。

〈例〉BSデジタル放送の、テレビ放送の一覧

操作終了する場合は

（メニュー）または（終了）を押し、通常画面に戻す

• 1つ前に戻る場合は（戻る）を押してください。

工場出荷時に設定されているデジタルチャンネル一覧

BS（BSデジタル放送）チャンネル

チャンネルボタン	テレビ		ラジオ		データ	
	チャンネル名	チャンネル番号	チャンネル名	チャンネル番号	チャンネル名	チャンネル番号
1	NHK BS1	101	—	—	—	—
2	NHK BS2	102	—	—	ウェザーニュース	910
3	NHK ハイビジョン	103	—	—	—	—
4	BS 日テレ	141	WINJ	333	—	—
5	BS 朝日	151	—	—	—	—
6	BS-i	161	—	—	—	—
7	BS ジャパン	171	—	—	知求チャンネル	999
8	BS フジ	181	—	—	—	—
9	WOWOW	191	—	—	—	—
10/0	スター・チャンネル	200	—	—	—	—
11	—	—	—	—	—	—
12	—	—	—	—	—	—

CS（110度CSデジタル放送）チャンネル

チャンネルボタン	テレビ
	チャンネル番号
1	100
2	001
3	—
4	—
5	—
6	—
7	—
8	—
9	—
10/0	—
11	—
12	—

地上デジタルチャンネル

チャンネルボタン	チャンネル名	チャンネル番号
1	NHK総合・東京	011
2	NHK教育・東京	021
3	—	—
4	日本テレビ	041
5	テレビ朝日	051
6	TBS	061
7	テレビ東京	071
8	フジテレビジョン	081
9	東京MXテレビ	091
10/0	—	—
11	—	—
12	放送大学	121

関東の東京で受信できるチャンネルです。

• 上記チャンネルプランは2006年7月現在のもので、変更されることもあります。
• 地上デジタル放送と110度CSデジタル放送には、ラジオ放送がありません。
• デジタル登録画面を表示中に、各放送切換ボタンまたはテレビ／ラジオ／データボタンを押すと、ネットワーク・メディアが切り換わり、そのデジタル登録画面が表示されます。

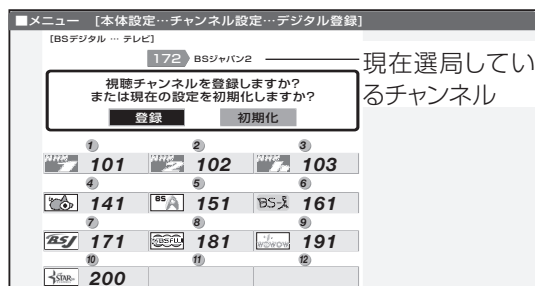
デジタル放送のお好みのチャンネルを登録する

■ 各デジタル放送ネットワーク（地上D、BS、CS）の各メディア（テレビ／ラジオ／データ）につき、登録したいチャンネルを12局まで、チャンネルボタン（1〜12）に登録することができます。

1

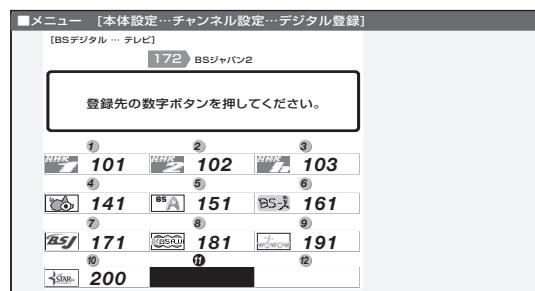
① 登録したいチャンネルを選局する

② メニュー画面から「本体設定」−「チャンネル設定」−「デジタル登録」−「する」を選んで決定を押す

③ ◀▶で「登録」を選び、決定を押す

・設定を工場出荷時の状態に戻したいときは、「初期化」を選んで決定ボタンを押します。

2

登録したいチャンネルボタン（1〜12）を押す

[例]「BSジャパン2」（172チャンネル）を11に登録する場合は、チャンネルボタン11を押します。

・登録確認画面が表示されます。

操作終了する場合は

メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

• 1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

・メニュー または 終了 を押さなくても、しばらくすると画面表示は消えます。

複数の映像や音声を切り換える

■ 複数の映像（最大4つ）または音声（最大8つ）がある番組をご覧のとき、映像および音声を切り換えて楽しむことができます。

複数の映像を楽しむ

■ 複数の映像のある番組をご覧のとき、映像切換ボタンを押すと、映像を切り換えることができます。

映像切換 を押し、映像を切り換える

・ボタンを押すたびに映像が切り換わり、チャンネルサインの下に映像表示が出ます。

（画面例）

※番組によって映像の数は異なります。

複数の音声を楽しむ

■ 複数の音声のある番組をご覧のとき、音声切換ボタンを押すと、音声を切り換えることができます。

音声切換 を押し、音声を切り換える

・ボタンを押すたびに音声が切り換わり、チャンネルサインの下に音声表示が出ます。

（画面例）

音声表示

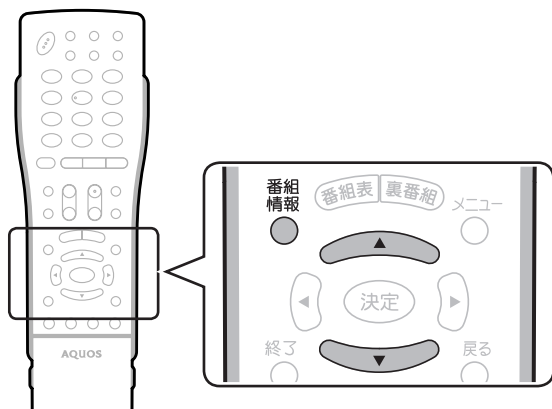
マルチ音声番組のとき　→音声1 → 音声2～8※ →

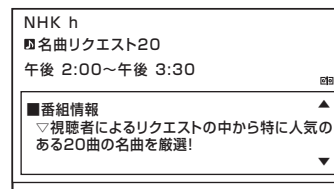
※番組によって音声の数は異なります。

二重音声番組のとき　→主 → 副 → 主/副 →

・マルチ音声番組を受信したときは、前回の選択にかかわらず、「音声1」が選択されます。
・二重音声番組を受信したときは、前回選択されていた音声が選択されます。
・録画予約時に「詳細を設定する」を選択していない場合、二重音声の場合は、直前に視聴した音声で録画します。その他の場合は、「映像1」「音声1」で録画します。

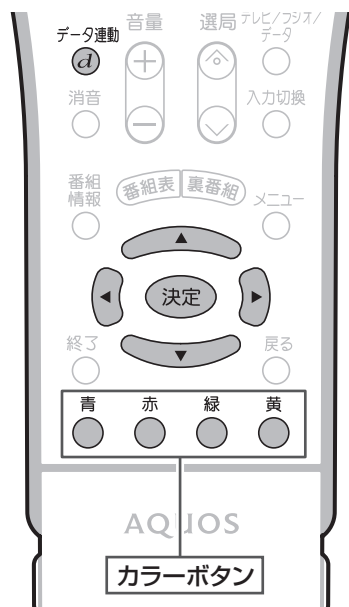
視聴中の番組の情報を見る

■ 番組視聴中に番組情報ボタンを押すと、画面に番組情報が表示されます。

番組情報 ◯を押し、番組情報を表示する

（番組情報の画面例）

- 表示内右側に▲▼マークがある場合は、上下カーソルボタンで情報内容の送り・戻しができます。
- 番組情報表示を消すときは、もう一度番組情報ボタンを押します。

テレビ放送に連動したデータ放送を視聴する

■ テレビ放送に連動したデータ放送がある場合は、データ連動ボタンを押すと、連動データ放送を見ることができます。

- 電源を入れた直後やチャンネル切換えをした直後は、データ連動（d）ボタンを押しても連動データ放送画面が表示されないことがあります。この場合は、テレビ放送受信後しばらく（約20秒）待ってから操作してください。（表示されるまでの時間は、放送内容によって異なります。）

データ連動 d を押す

- 連動データ放送の画面になります。

（連動データ放送の画面例）

- テレビ放送に戻すときは、もう一度データ連動（d）ボタンを押します。

データ放送の基本操作

1 **で項目を選び、決定を押す**

2 **カラーボタンに対応した項目のボタンを押す**

※データ放送は放送局側で制作したメニュー画面により操作が異なりますので、画面の表示に従って操作してください。

電子番組表(EPG)の使いかた

ページ

電子番組表(EPG)について

■ デジタル放送では、電子番組表(EPG)の情報が送信されており、見たい番組を探したり、番組情報を見たり、番組を予約したりするのに、この電子番組表を使います。

視聴中の番組のチャンネル番号を知りたいとき

画面表示 を押します。(番組表を表示していないときに表示できます。)

リモコンのチャンネルボタンの番号

視聴中の番組のチャンネル番号

電子番組表(EPG)を表示する

デジタル放送を視聴中に 番組表 を押します。

デジタル放送の番組を探して 決定 を押す

▲ ▼ ◀ ▶ で番組表から番組を選べます。

他の放送の種類(ネットワーク)やメディア(「テレビ」「ラジオ」「データ」)の番組を探す

地上D BS CS で放送の種類(ネットワーク)を選びます。

テレビ/ラジオ/データ でメディア(「テレビ」「ラジオ」「データ」)を選びます。

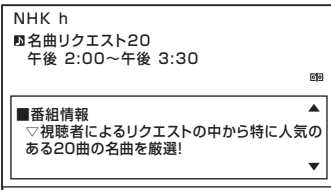
赤 を押して「映画」「音楽」「ドラマ」などのジャンル別に探す

緑 を押して日時を指定して探す

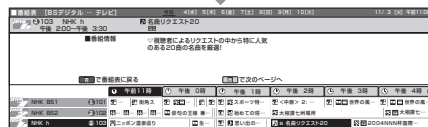
青 を押して番組情報を見る(詳しくは86ページ)

放送予定番組の詳しい内容が表示されます。

視聴中の番組の詳しい情報を見たいとき

番組情報 を押します。(詳しくは**80**ページ)

裏番組の情報を知りたいときは、

裏番組 を押してから 青 を押します。

(詳しくは**86**ページ)

- 電子番組表を表示できるのはデジタル放送のみです。
- 本書ではおもにBSデジタル放送の電子番組表の画面を表示例にしています。

地上デジタル番組表について

- 地上デジタル放送の電子番組表(EPG)の情報は、送信している各放送チャンネルから取得する必要があります。(**84**ページ)

番組の放送内容を調べたり、録画の予約もできるのね。

電子番組表(EPG)の例

- **放送中の番組を選んだとき**
  ⇨ 選んだ番組が選局されます。
- **放送予定の番組を選んだとき**
  ⇨ 予約選択画面になります。(**90**ページ)

電子番組表(EPG)の表示時間は、表示範囲を切り換えて3時間表示(拡大)と6時間表示(広角)が選択できます。(**84**ページ参照)

ジャンル別番組表 (詳しくは**85**ページ)

ジャンル別に一覧表示された番組から、▲▼◀▶で選び、決定を押す

日時指定した番組表 (詳しくは**85**ページ)

◀▶で日付と時間帯を指定して番組を選び、決定を押す

時間帯表示

緑 ◯:**日時指定した日の前日の番組表**
黄 ◯:**日時指定した日の次の日の番組表**

電子番組表(EPG)に表示されるアイコン

ジャンルを示すアイコン

アイコン	ジャンル	アイコン	ジャンル
	ニュース/報道		映画
	スポーツ		アニメ/特撮
	情報/ワイドショー		ドキュメンタリー/教養
	ドラマ		劇場/公演
	音楽		趣味/教育
	バラエティ		福祉

- ジャンルアイコンの表示はメニューで変更できます。(**84**ページ)

番組情報を示すアイコン

アイコン	内容
	視聴予約している番組
	録画予約(ビデオ予約)している番組
	録画予約(i.LINK予約)している番組
	録画予約(HDMIコントロール予約)している番組
	有料放送、またはPPV(ペイパービュー)番組
	i.LINKによるデジタルコピーが禁止の番組
	i.LINKによるデジタルコピーが1回のみ可能な番組

番組を予約(視聴予約・録画予約)する

放送予定の番組を予約します。

放送予定の番組を選んで、決定を押します。

▼予約選択画面

番組の予約方法を選んでください。

(**詳しくは90ページ**)

予約を確認する

黄 ◯(予約リスト)を押します。

予約済み番組の確認、変更、取り消しができます。

▼予約リスト画面

(**詳しくは98ページ**)

電子番組表(EPG)を利用するための設定を行う

共通操作

1 メニュー画面から「デジタル設定」ー「番組表設定」を選び、決定を押す

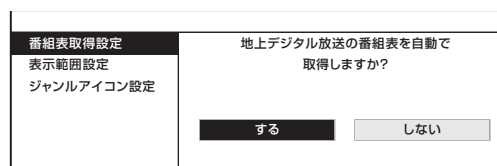
2 で設定したいメニュー項目を選び、決定を押す

メニュー項目	設定画面

番組表取得設定

■ 地上デジタル放送の電子番組表(EPG)を取得、表示するときの詳細な設定です。
設定を「する」にしておくと、電源待機中に自動取得し、電子番組表(EPG)の表示が早くなります。

- 番組表取得設定を「する」に設定した場合、リモコンで電源を「切」にしても、電源が切れるまでにしばらく時間がかかることがあります。(本機が放送局の番組情報を取得しているためです。)
また、本体の電源スイッチで「切」にした場合は、番組情報を取得できません。

3 で「する」または「しない」を選び、決定を押す

- 操作終了する場合はメニューまたは終了を押してください。

表示範囲設定

■ 電子番組表(EPG)に一度に表示できる範囲を切り換えて、3時間表示(拡大)と6時間表示(広角)のどちらかを選択できます。
「拡大」:個々の番組を詳細に表示して3時間分表示
「広角」:表示範囲を広角にして6時間分表示

- 工場出荷時は「広角」に設定されています。

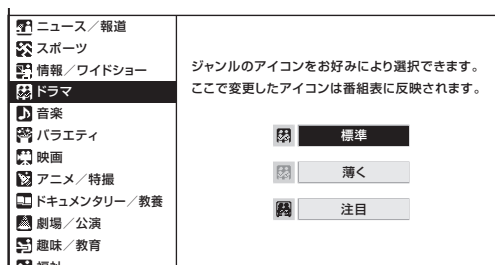
3 で「拡大」または「広角」を選び、決定を押す

番組表取得設定 表示範囲設定 ジャンルアイコン設定	番組表に一度に表示できる範囲を選択できます。 拡大 広角

- 操作終了する場合はメニューまたは終了を押してください。

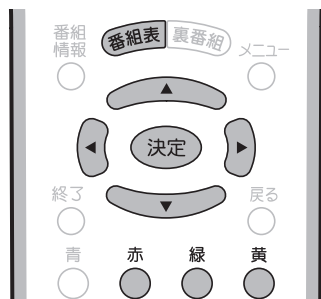
ジャンルアイコン設定

■ 電子番組表(EPG)に表示されるジャンル名に濃淡やマークをつけて識別しやすくできます。

3 ① で識別したいジャンル名を選び、決定を押す
② で「標準」「薄く」「注目」のいずれかを選び、決定を押す

- 操作終了する場合はメニューまたは終了を押してください。

電子番組表（EPG）で番組を探す

見たい番組を探す

■ 電子番組表の中から番組を選んで、視聴または予約することができます。

1 **（番組表）を押し、電子番組表（EPG）を表示する**

・電子番組表の例が**83**ページにあります。

2 **見たい番組を（▲▼◀▶）で選び、（決定）を押す**

・放送中の番組を選んだときは、選んだ番組が表示されます。
・放送予定の番組を選んだときは、予約選択画面になります。

・現在の時間帯より前の番組表は表示できません。

電子番組表の表示内容

・テレビ放送……8日分
・ラジオ放送……3日分
・データ放送……最低1日分
・表示時間………3時間または6時間
※ 電源を入れてからすぐに番組を選んだときは、表示されるまでに時間がかかる場合があります。

・電子番組表（EPG）の表示時間は、表示範囲を切り換えて3時間表示（拡大）と6時間表示（広角）が選択できます。（84ページ参照）

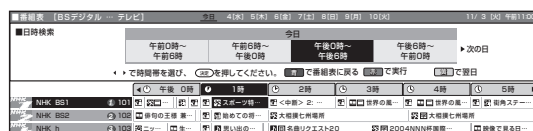
日時を指定して番組を探す

■ 日時を指定して、電子番組表を表示させることができます。

1 ① **（番組表）を押し、電子番組表（EPG）を表示する**
② **（緑）（日時検索）を押す**

・電子番組表の例が**83**ページにあります。

2 **（◀▶）で時間帯（6時間単位）を選び、（決定）を押す**

・緑ボタンを押すと、前日の電子番組表が表示されます。黄ボタンを押すと、次の日の電子番組表が表示されます。

・指定された日時の電子番組表が表示されます。

3 **（▲▼◀▶）で番組を選び、（決定）を押す**

分類（ジャンル）で番組を探す

■ 番組を分類（ジャンル）別に表示させて、見たい番組を選ぶ方法です。

1 ① **（番組表）を押し、電子番組表（EPG）を表示する**
② **（赤）（ジャンル検索）を押す**

・電子番組表の例が**83**ページにあります。

2 ① **（▲▼）でジャンルを選ぶ**
② **（◀▶）で時間帯（12時間単位）を選び、（決定）を押す**

3 **見たい番組を（▲▼◀▶）で選び、（決定）を押す**

・黄ボタンを押すと、番組表示を次のページに送ることができます。前のページに戻るときは、緑ボタンを押します。

電子番組表(EPG)で番組の内容を確認する

番組の内容を確認する

■ 電子番組表で、番組の詳しい情報を見ることができます。

1 番組表を押し、電子番組表を表示する

放送中の他の番組(裏番組)を知りたいとき

・気になる裏番組を一覧で確認できます。

裏番組を押し、裏番組表を表示する

■裏番組表[BSデジタル … テレビ] 11/ 3 [火] 午前11:00
101 NHK BS1 午前11:25～午前11:55
街角ステーション

チャンネル	番組
① 101 NHK BS1	街角ステーション
② 102 NHK BS2	純愛ドラマ総集編
③ 103 NHK h	ニッポン温泉巡り
④ 141 BS 日テレ	テレビでお買い物
⑤ 151 BS 朝日	勇者の食卓
⑥ 161 BS - i	コレクション F
⑦ 171 BS ジャパン	J-ショップ
⑧ 181 BS フジ	らくらくショッピング
⑨ 191 WOWOW	シネマアイ
⑩ 200 スター・チャンネル	ラスト・サプライズ

2 内容を確認したい番組を◀▶で選ぶ

3 青(番組情報を見る)を押す

・番組情報が表示されます。

・番組情報案内にしたがって、カラーボタン、テレビ／ラジオ／データボタン、カーソルボタンを使い、希望する情報を選択します。
・選んだ番組を視聴したいときは、決定ボタンを押すと選局できます。(裏番組の情報表示中)

視聴中の番組の情報を見るには

・番組情報を押してください。(80ページ参照)
(電子番組表を表示する必要はありません。)

・地上D･BS･CSのいずれのネットワークについても、また、テレビ･ラジオ･データのいずれのメディアについても、同じように裏番組表を表示することができます。
・裏番組表を表示しているときに放送切換ボタン(地上D･BS･CS)、テレビ／ラジオ／データボタンを押すと、他のネットワークやメディアの裏番組表に切り換えることができます。

デジタル放送の予約と録画

デジタル放送の予約のながれ

本機でできるデジタル放送の予約について

■ デジタル放送の番組を電子番組表(EPG)から予約して視聴したり、外部録画機器に録画できます。

- 予約した時刻になると、予約した番組に自動的に切り換わります。

→**視聴予約**(**90**ページ)

- 予約した時刻になると、本機から録画信号が出力されます。

→**録画予約**(**91**ページ)

■ 録画予約には、接続した録画機器の種類によって3通りの方法があります。

- ビデオデッキやDVDレコーダーなどの録画機器に録画したいときは

→**ビデオ予約**(**91**ページ)

- i.LINKに対応したD-VHSビデオデッキ、AV-HDDレコーダー、Blu-ray Discレコーダーに録画したいときは

→**i.LINK予約**(**94**ページ)

- HDMIコントロール対応の録画機器に録画したいときは

→**HDMIコントロール予約**(**169**ページ)

■ 番組の延長や放送時間の変更に追従して、視聴あるいは録画できます。

番組予約(「視聴予約」と「録画予約」)のながれ

くわしくは 90〜96ページ

1 デジタル放送を視聴中に電子番組表(EPG)を表示させる

▼電子番組表(EPG)

2 予約したい番組を選ぶ

- 日時指定やジャンル検索で選ぶこともできます。

3 予約の種類を選ぶ

▼予約選択画面

- 録画予約を選択した場合、録画開始2分前(ビデオ連動録画設定(**112**〜**114**ページ)をシャープ7、8に設定している場合に限り、5分前)になると、選局や番組表などのデジタル放送に関する操作を受け付けなくなります。また、録画予約の実行中もリモコン操作を受け付けません。

「予約しない」を選ぶと、予約しないで番組表に戻ります。

視聴予約

視聴するための予約です。予約した時刻になると、予約した番組に切り換わります。

次ページの手順5へ

録画予約

録画するための予約です。予約した時刻になると、予約した番組の録画信号がモニター出力/入力4/(録画出力)端子から出力されます。

次ページの手順4へ

4 録画機器を選ぶ（録画予約の場合）

▼予約選択画面

「予約しない」を選ぶと、予約しないで番組表に戻ります。

ビデオ予約（91ページ）

予約した時間に合わせ、ビデオ機器を録画開始、終了させます。
本機と録画機器とで同時にタイマーを設定する場合もこれを選びます。

ビデオデッキ

i.LINK予約（94ページ）

予約した時間に合わせ、i.LINK 接続に対応した機器を録画開始、終了させます。

i.LINKに対応した
D-VHSビデオデッキ
AV-HDDレコーダー
Blu-ray Discレコーダー

HDMIコントロール予約（169ページ）

予約した時間に合わせ、HDMIコントロール対応の録画機器を録画開始、終了させます。

HDMIコントロール対応録画機器

5 「予約する」を選ぶ

• 無料放送や契約済みの番組を簡単予約します。

▼視聴予約・HDMIコントロール予約の場合

▼ビデオ予約・i.LINK予約の場合

「詳細を設定する」を選んだ場合は

• PPV番組（有料番組）を購入できます。（**96**ページ）
• 複数の映像や音声のある番組を予約したときは、録画する映像・音声を選択したり追加購入の設定ができます。（**93**・**95**ページ）
• i.LINK予約の場合は、録画するi.LINK機器を変更できます。（**95**ページ）
• 予約設定の確認ができます。（**93**・**95**ページ）

6 「戻る」を選び、予約終了

• 予約が設定され、本体前面右下の予約ランプが点灯します。

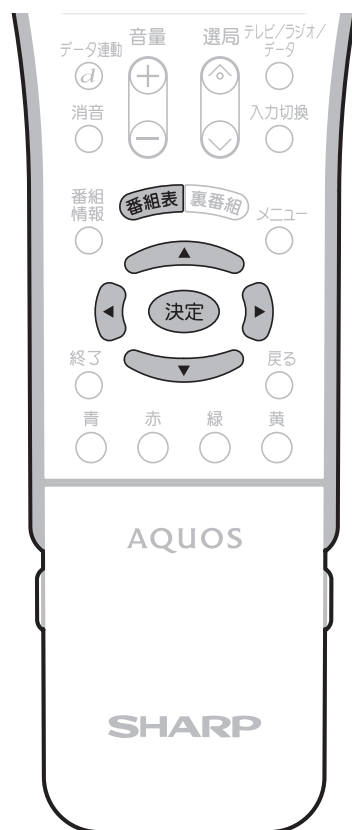
デジタル放送の録画に関するご注意

• デジタル放送のほとんどの番組には「1回だけ録画可能」のコピー制御信号が加えられています。この信号とともに録画された番組は、他のデジタル機器へのダビングができません。

• 有料放送を視聴・予約する場合は、有料放送を行うプラットフォームや放送局とあらかじめ受信契約を済ませてください。契約していない有料放送は、番組表から予約しても予約どおりに視聴や録画ができません。
• 番組が開始する 2 分前までに予約を完了してください。開始 2 分前になると、予約ができません。
（ビデオ連動録画設定（**112** ～ **114** ページ参照）をシャープ 7、8 に設定している場合に限り、2 分前でなく、5 分前までに予約を完了してください。）

デジタル放送の予約手順

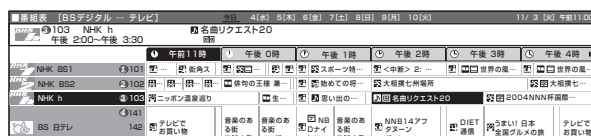
予約操作の前に

- 録画機器の操作方法については、録画機器の取扱説明書をご覧ください。
- 予約録画する前に、必ず試し録りをしてください。
- 番組が開始する2分前までに予約を完了してください。開始2分前になると、予約ができません。（ビデオ連動録画設定（**112**〜**114**ページ参照）をシャープ7、8に設定している場合に限り、2分前でなく、5分前までに予約を完了してください。）
- 有料放送を予約する場合は、有料放送のプラットフォームや放送局と、あらかじめ契約をしておく必要があります。契約をしていないと、予約どおりの視聴や録画はできません。
- 前に入れた予約と日時が重なっている場合は、前の予約を破棄して新たな予約をするか、しないかを選択します。
- 最大16番組まで予約できます。すでに16番組を予約していて、新たな予約をしたい場合は、予約の取り消し（**99**ページ）が必要です。

- 番組の始まる2分前（一部の機器では5分前）までに予約して、電源を切るときは、リモコンで電源を切るのね。
- 有料放送は契約してから予約してね。
- 予約できる番組数は16番組までです。

視聴予約する

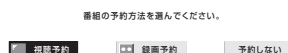
1

① 番組表を押し、電子番組表を表示する

② 予約したい番組を で選び、決定を押す

- 予約選択画面になります。
- 翌日以降の番組を予約したいときは、日時指定（**85**ページ）で番組表を表示させると便利です。

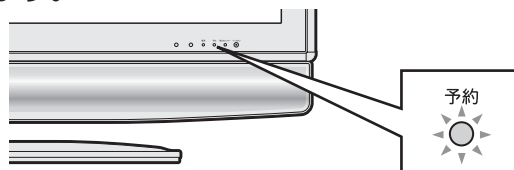
2

で「視聴予約」を選び、決定を押す

3

で「予約する」を選び、決定を押す

4

「戻る」で決定を押す

- 視聴予約が設定され、本体前面右下の予約ランプが点灯します。

視聴予約を設定した後に電源を切るときのご注意

- リモコンの電源ボタンで「切」にしてください。本体の電源スイッチでは切らないでください。本体の電源スイッチで「切」にした場合は、予約が実行されません。

ビデオ予約する(録画予約)

■ ビデオデッキなどの録画機器を使った録画予約のうち、次の3つの場合は「ビデオ予約」を選んで設定します。

- 付属のビデオコントローラーを使い、予約時間に合わせてビデオデッキ(ビデオコントローラー対応)の録画を開始・終了させ、予約したデジタル放送の番組を録画する場合(予約録画の方法 A)
- 外部自動録画(シンクロ予約)機能に対応している録画機器で、予約時間に合わせて録画機器の録画を開始・終了させ、予約したデジタル放送の番組を録画する場合(予約録画の方法 B)
- ビデオコントローラーおよび外部自動録画(シンクロ予約)機能に対応していない録画機器の側で、本機側と同様に日時やチャンネルを予約設定してデジタル放送の番組を録画する場合(予約録画の方法 C)

■ 「i.LINK予約」については、**94**ページをご覧ください。

■ 「HDMIコントロール予約」については**169**ページをご覧ください。

- ビデオ連動録画する場合は、入力4端子設定を「モニター出力(固定)」または「モニター出力(可変)」に設定してください。(**116**ページ参照)

1 ビデオデッキの接続と本機側の設定をする

- 予約録画の方法 A の場合、初めてビデオ予約を行う場合は、あらかじめ録画機器・ビデオコントローラーの接続(**112**ページ)、およびビデオ連動録画設定(**113**ページ)を済ませておいてください。
- 予約録画の方法 B および 予約録画の方法 C の場合、あらかじめ録画機器との接続を済ませてから、**113**ページ手順**4**のビデオ連動録画の設定で、「ビデオコントローラーを使用しない」を選んで(決定)を押します。(ビデオ機器との接続については**110**ページ)
- デジタル固定を「する」に設定しておくと、ビデオ連動録画の設定ができません。設定前にデジタル固定を「しない」に設定してください。(**117**ページ)

2 電子番組表から予約したい番組を選び、(決定)を押す(90ページ手順1参照)

3 ◀▶で「録画予約」を選び、(決定)を押す

番組の予約方法を選んでください。

視聴予約　録画予約　予約しない

4 ◀▶で「ビデオ予約」を選び、(決定)を押す

録画予約の方法を選んでください。

ビデオ予約　i.LINK予約　HDMIコントロール予約　予約しない

- 「i.LINK予約」については、**94**ページをご覧ください。
- 「HDMIコントロール予約」については**169**ページをご覧ください。

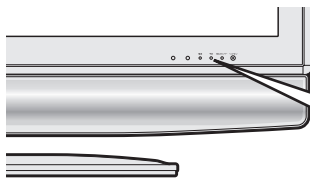
5 ◀▶で「予約する」を選び、(決定)を押す

- 無料放送や契約している有料放送が予約できます。

「詳細を設定する」を選び、(決定)を押したときは

- 映像・音声の詳細の予約設定ができます。視聴制限や購入金額制限の設定によって視聴や購入が制限されている番組の場合は、暗証番号入力画面が表示されます。(**93**・**96**ページ)

6 「戻る」で(決定)を押す

- 番組表に戻ります。通常画面に戻すには(番組表)を押します。
- ビデオ予約が設定され、本体前面右下の予約ランプが点灯します。

次ページへつづく

デジタル放送の予約手順（つづき）

7 予約録画の方法 A の場合

予約操作が完了したら、本機をリモコンで電源「切」（待機状態）にする

- 予約開始時刻になると、ビデオコントローラーからビデオデッキに、電源「入」と録画開始の信号が出ます。また、本機のモニター出力／入力４／（録画出力）端子から映像と音声が出力されます。これに連動してビデオデッキ側で録画が始まります。
- 予約終了時刻になると、ビデオコントローラーからビデオデッキに、電源「切」の信号が出ます。これに連動してビデオデッキの電源が切れます。

7 予約録画の方法 B の場合

① **予約操作が完了したら、本機をリモコンで電源「切」（待機状態）にする**

② **録画機器の外部自動録画（シンクロ予約）を設定し、録画の準備をすませて、録画機器のリモコンで電源を「切」にする**

- 予約開始時刻になると、本機のモニター出力／入力４／（録画出力）端子から録画機器の外部自動録画（シンクロ予約）機能に対応した入力端子に向けて映像と音声が出力されます。これに連動して録画機器側で録画が始まります。
- 予約終了時刻になると、本機の録画出力が停止します。これに連動して録画機器の電源が切れます。
- 予約待機中に本機の電源を入れないでください。予約時間外でも本機の電源を入れると録画機器で録画が始まります。

7 予約録画の方法 C の場合

① **予約操作が完了したら、本機をリモコンで電源「切」（待機状態）にする**

② **録画機器側の設定をする**

- 録画のための接続をし、録画機器のタイマー予約などの予約録画機能で、本機で設定した予約と同じ日付・時刻に設定し、予約するチャンネルは外部入力に設定します。
- 予約開始時刻になると、本機の電子番組表で予約した番組の映像・音声が本機のモニター出力／入力４／（録画出力）端子から出力されます。同時に、録画機器側で設定した予約によって、録画機器側の予約録画が始まります。

ご注意

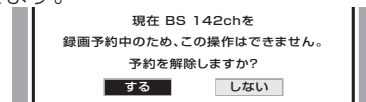
録画予約を設定した後に電源を切るときのご注意

- リモコンの電源ボタンで「切」にしてください。本体の電源スイッチでは切らないでください。本体の電源スイッチで「切」にした場合は、予約が実行されません。

- デジタル放送をビデオデッキで録画する場合は、「デジタル固定」または「ビデオ予約」で録画することをおすすめします。
- テレビの電源が切れている場合は、デジタル音声出力（光）端子からは、出力されません。MDへ予約録音する場合は、視聴予約を設定してください。
- あなたが録画（録音）したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 番組開始の2分前から予約準備が始まります。ビデオ連動録画設定（**112**～**114**ページ）をシャープ7、8に設定している場合に限り、5分前から予約の準備が始まります。
- 録画予約が設定されている場合は、デジタル固定が解除されます。
- 予約した番組が始まるとモニター出力／入力4／（録画出力）端子から映像と音声が出力され、番組が終了すると出力も終了します。（本体の電源が切れていると、出力されません）。
- ラジオ放送をMDで録音するときは、デジタル音声出力（光）端子の設定を「PCM」にしてください。（**133**ページ）
- 有料の放送や番組は、契約しないと予約録画しても録画出力信号が出ません。

実行中の録画予約を解除するには

- 2画面ボタンを押してから、操作切換ボタンで、録画予約実行中の画面を操作画面にします。それから、数字ボタンなどで選局操作をしてください。そのとき画面に表示される「予約を解除しますか？」の選択項目の「する」を左右カーソルボタンで選び、決定ボタンを押すと予約を解除できます。

現在 BS 142chを
録画予約中のため、この操作はできません。
予約を解除しますか?
する　しない

ビデオ予約の詳細設定

■ 映像·音声の詳細の予約設定ができます。
視聴年齢制限のある番組や非契約の有料番組を予約したとき、B-CASカード未挿入で有料番組を予約したときは、メッセージが表示されます。設定を済ませてから、PPV番組の購入予約ができます。(詳しくは**96**ページ)

■ 以下の操作は、**91**ページ手順**5**で「詳細を設定する」を選び、(決定)を押した後からの説明です。

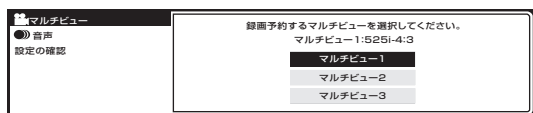
映像の種類を選択する

・映像の種類はつぎのとおりです。それぞれ、表示のあるときのみ選択できます。

「マルチビュー」… いろいろな角度から見た映像
「映像」……… 映像(最大4つ)

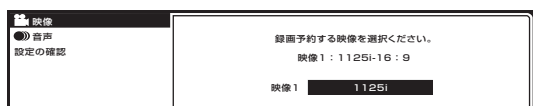
マルチビュー番組を選んでいるとき

① で「マルチビュー」を選び、(決定)を押す

② でマルチビューの種類を選び、(決定)を押す

副映像のある番組を選んでいるとき

① で「映像」を選び、(決定)を押す

② で映像の種類を選び、(決定)を押す

・映像の数は、番組によって異なります。

・予約を完了するときは、右の「予約設定を確認する」に進みます。

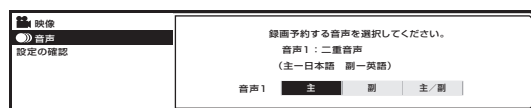
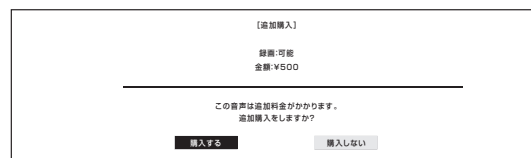
音声の種類を選択する

・音声の種類はつぎのとおりです。それぞれ、表示のあるときのみ選択できます。

「音声」……… 音声(最大8つ)
「二重音声」… 主音声と副音声

① で「音声」を選び、(決定)を押す

② で音声の種類を選び、(決定)を押す

・音声の数は、番組によって異なります。

・映像·音声の購入に追加料金が必要なときは、追加購入のための画面が表示されます。

・「購入する」または「購入しない」を選び、(決定)を押します。
・予約を完了するときは、次の「予約設定を確認する」に進みます。

予約設定を確認する

1 **で「設定の確認」を選び、(決定)を押す**

2 **① 画面に表示された設定内容を確認する**
② 「確認」で(決定)を押す

・番組表に戻ります。通常画面に戻すには(番組表)を押します。
・録画予約が設定されました。(**92**ページ手順**7**を行ってください。)
・「予約しない」を選んで(決定)を押すと、予約を中止して番組表に戻ります。

i.LINK予約する(録画予約)

■ i.LINK予約とは、本体背面のi.LINK端子に接続したD-VHSビデオデッキなどのi.LINK機器を予約時間に合わせて録画開始・終了させ、予約したデジタル放送の番組を録画する方法です。

1 **i.LINK機器の接続(120ページ)とi.LINK設定(122・123ページ)を行う**

2 **電子番組表から予約したい番組を選び、決定を押す(90ページ手順1参照)**

3 **◀▶で「録画予約」を選び、決定を押す**

番組の予約方法を選んでください。
視聴予約　録画予約　予約しない

4 **◀▶で「iLINK予約」を選び、決定を押す**

録画予約の方法を選んでください。
ビデオ予約　i.LINK予約　HDMIコントロール予約　予約しない

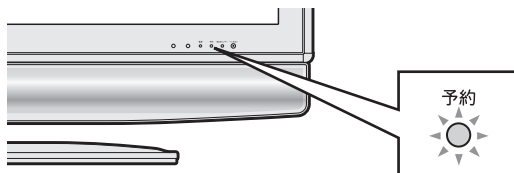
- 「ビデオ予約」については**91**ページをご覧ください。
- 「HDMIコントロール予約」については**169**ページをご覧ください。

5 **◀▶で「予約する」を選び、決定を押す**

この番組をi.LINK録画予約しますか?
予約する　詳細を設定する　予約しない

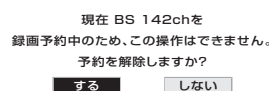
- 無料放送や契約している有料放送が予約できます。

「詳細を設定する」を選び、決定を押したときは
- 追加購入する映像・音声の組合せを選んだり、使用するi.LINK機器を変更できます。視聴制限や購入金額制限の設定によって視聴や購入が制限されている番組の場合は、暗証番号入力画面が表示されます。(**95・96**ページ)

6 **「戻る」で決定を押す**
- i.LINK予約が設定され、本体前面右下の予約ランプが点灯します。

録画予約を設定した後に電源を切るときのご注意
- リモコンの電源ボタンで「切」にしてください。本体の電源スイッチでは切らないでください。本体の電源スイッチで「切」にした場合は、予約が実行されません。

- i.LINK予約をするときは、i.LINK機器を本機と1対1で接続してください。複数のi.LINK機器を接続すると、i.LINK予約の実行に失敗することがあります。
- i.LINK機器によっては、i.LINK録画機器側で接続するテレビの設定が必要な場合があります。
- テレビの電源が切れている場合は、デジタル音声出力(光)端子からは、出力されません。MDへ予約録音する場合は、視聴予約を設定してください。
- あなたが録画(録音)したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 番組開始の2分前から予約準備が始まります。ビデオ連動録画設定(**112**～**114**ページ)をシャープ7、8に設定している場合に限り、5分前から予約の準備が始まります。
- 録画予約が設定されている場合は、デジタル固定が解除されます。
- 予約した番組が始まるとモニター出力／入力4／(録画出力)端子から映像と音声が出力され、番組が終了すると出力も終了します。(本体の電源が切れていると、出力されません)。
- ラジオ放送をMDで録音するときは、デジタル音声出力(光)端子の設定を「PCM」にしてください。(**133**ページ)
- 有料の放送や番組は、契約しないと予約録画しても録画出力信号が出ません。

実行中の録画予約を解除するには
- 2画面ボタンを押してから、操作切換ボタンで、録画予約実行中の画面を操作画面にします。それから、数字ボタンなどで選局操作をしてください。そのとき画面に表示される「予約を解除しますか？」の選択項目の「する」を左右カーソルボタンで選び、決定ボタンを押すと予約を解除できます。

現在 BS 142chを
録画予約中のため、この操作はできません。
予約を解除しますか?
する　しない

i.LINK予約の詳細設定

■ 追加購入する映像･音声の組合せを選んだり、使用するi.LINK機器を変更することができます。視聴年齢制限のある番組や非契約の有料番組を予約したとき、B-CASカード未挿入で有料番組を予約したときは、メッセージが表示されます。設定を済ませてから、PPV番組の購入予約ができます。(詳しくは**96**ページ)

■ 以下の操作は、**94**ページ手順**5**で「詳細を設定する」を選び、決定を押した後からの説明です。

追加購入グループを選択する

・追加購入する映像･音声の組合せ(グループ)が複数あるときのみ必要な手順です。

1 ① **で「追加購入グループ」を選び、決定を押す**

② **で購入グループを選び、決定を押す**

2 **で「購入する」または「購入しない」を選び、決定を押す**

・予約を完了するときは、右の「予約設定を確認する」に進みます。

使用するi.LINK機器を変更する

・使用するi.LINK機器を変えたいときのみ必要な手順です。

1 **で「録画連動機器の変更」を選び、決定を押す**

2 **で、使用するi.LINK機器を選び、決定を押す**

・予約を完了するときは、次の「予約設定を確認する」に進みます。

・i.LINK予約をするときは、i.LINK機器を本機と1対1で接続してください。複数のi.LINK機器を接続すると、i.LINK予約の実行に失敗することがあります。

予約設定を確認する

1 **で「設定の確認」を選び、決定を押す**

2 ① **画面に表示された設定内容を確認する**

② **「確認」で決定を押す**

・番組表に戻ります。通常画面に戻すには番組表を押します。
・録画予約が設定されました。
・「予約しない」を選んで決定を押すと、予約を中止して番組表に戻ります。

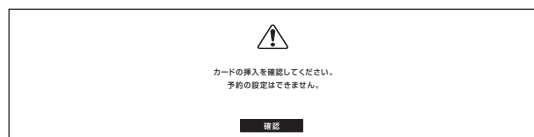
デジタル放送の予約手順（つづき）

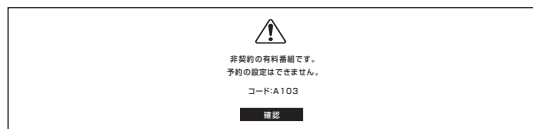
詳細設定時のメッセージについて

■ ここでは詳細設定を選んだときに表示されるメッセージについて説明します。

視聴年齢制限のある番組を予約したとき

- 暗証番号入力画面が表示されます。
- 数字ボタン（1～10/0）で暗証番号を入力してください。（**196**ページ参照）

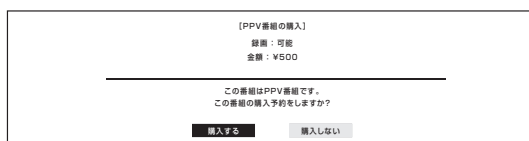
B-CASカード未挿入で有料番組を予約したとき

- 「カードの挿入を確認してください。予約の設定はできません。」のメッセージが表示されます。B-CASカードを挿入（**57**ページ参照）してから、予約をしなおしてください。

非契約の有料番組を予約したとき

- 「非契約の有料番組です。予約の設定はできません。」のメッセージが表示されます。「確認」で決定ボタンを押してください。

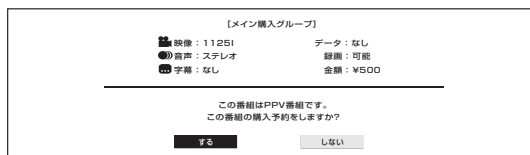
PPV番組（有料番組）を予約したとき

- PPV番組（「番組単位」で購入予約が必要な有料番組のことで、「ペイ・パー・ビュー」とも言います）を選んでいるときのみ必要な手順です。

ビデオ予約の場合

◀▶で「購入する」または「購入しない」を選び、決定を押す

- 「購入しない」を選んだときは、番組表に戻ります。

i.LINK予約の場合

◀▶で「する」または「しない」を選び、決定を押す

- 「しない」を選んだときは、番組表に戻ります。

デジタル放送を録画しながらデジタル放送の裏番組を見る

■ 本機はデジタルダブルチューナーを搭載していますので、デジタル放送を視聴しながら、デジタル放送の裏番組を録画することができます。
■ デジタル放送を録画しながら、インターネットを見ることができます。

1 **録画予約する場合**

① デジタル放送の録画予約(ビデオ予約、i.LINK予約)を設定する(88～95ページ)

- 予約時刻になると録画番組が出力端子から出力されます。
- 視聴中画面は視聴している画面のままとなります。

●録画予約実行中

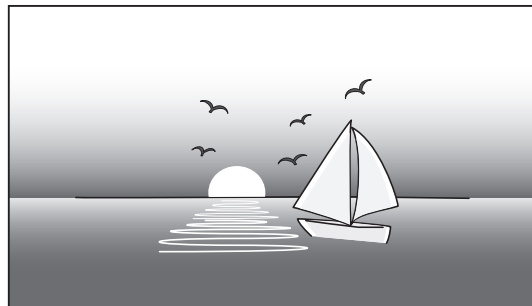
デジタル固定する場合

① 録画したいチャンネルをデジタル固定する(117ページ)
② 視聴中の番組がデジタル固定されて出力端子から出力される
③ 録画機器側で録画の操作を開始する

●デジタル固定中

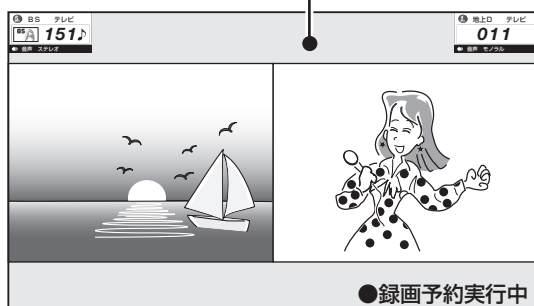
- モニター出力／入力4／(録画出力)端子からデータ放送は出力されません。

録画中に裏番組を見るとき

2 **① 見たいチャンネルを選局する**

- 選局した番組に切り換わり、録画は継続されます。

録画中の画面を確認するとき

2 **① リモコンフタ内の(2画面)を押す**

右側は録画中の画面に固定されます

② 見たいチャンネルを選局する

- ２画面の右側は録画中の画面に固定され、選局などの操作をすると、「予約を解除しますか？」という画面を表示します。

録画中にインターネットを見るとき

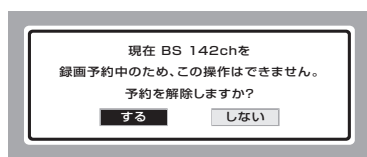
2 **① (AQUOS.jp)を押す**

② (AQUOS.jp)または(▲▼)で「テレビ＋インターネット」「2画面＋インターネット」「インターネット」のいずれかを選び、(決定)を押す

- インターネットの画面が表示されても、録画は継続されます。

予約の確認・取り消し・変更をする

予約を確認したいとき

■ 電子番組表から予約リストを表示させ、予約の確認、取り消しや変更をすることができます。

1 ① 番組表を押し、電子番組表を表示する

② 黄(予約リスト)を押し、予約リストを表示する

▼予約リストの例

- 予約リストで現在の予約内容を確認します。
- 表示内右側に▲▼マークがある場合は、上下カーソルボタンで予約リストの送り・戻しができます。

2 (カーソル)で確認したい予約を選び、決定を押す

- 予約した番組の設定内容が表示されます。

実行中の録画予約を解除するには

- 2画面ボタンを押してから、操作切換ボタンで、録画予約実行中の画面を操作画面にします。それから、数字ボタンなどで選局操作をしてください。そのとき画面に表示される「予約を解除しますか？」の選択項目の「する」を左右カーソルボタンで選び、決定ボタンを押すと予約を解除できます。

現在 BS 142chを
録画予約中のため、この操作はできません。
予約を解除しますか?
する　しない

予約を取り消したいとき

1 ① 番組表 を押し、電子番組表を表示する
② 黄（予約リスト）を押し、予約リストを表示する

2 決定 で取り消したい予約を選び、決定 を押す

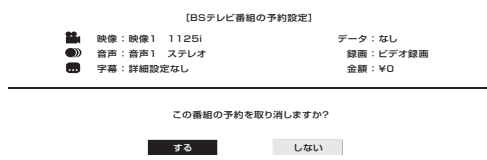
3 決定 で「取り消す」を選び、決定 を押す

4 決定 で「する」を選び、決定 を押す

[BSテレビ番組の予約設定]

映像：映像1　1125i　　データ：なし
音声：音声1　ステレオ　　録画：ビデオ録画
字幕：詳細設定なし　　金額：¥0

この番組の予約を取り消しますか?

する　しない

予約を変更したいとき

1 ① 番組表 を押し、電子番組表を表示する
② 黄（予約リスト）を押し、予約リストを表示する

2 決定 で変更したい予約を選び、決定 を押す

3 決定 で「変更する」を選び、決定 を押す

- 予約選択画面になります。

4 予約操作をやりなおす

- ビデオ予約のときは**91**ページ手順3、i.LINK予約のときは**94**ページ手順3からやりなおします。

デジタル放送の電子番組表からの録画予約、視聴予約について

● 電子番組表から予約した番組の放送時間が変更された場合、本機は変更された放送時間に合わせて、録画あるいは視聴できます。

[例]・録画予約したスポーツ中継が延長された場合
→スポーツ中継が終了するまで録画します。
・録画予約したドラマがスポーツ中継の延長で放送時間が遅れた場合
→遅延した放送時間で録画します。
※ただし、放送局からの情報により、番組の時間変更に対応できない場合もあります。

●録画予約した番組が録画されていなかった場合は、受信機レポート(198ページ)を確認してください。

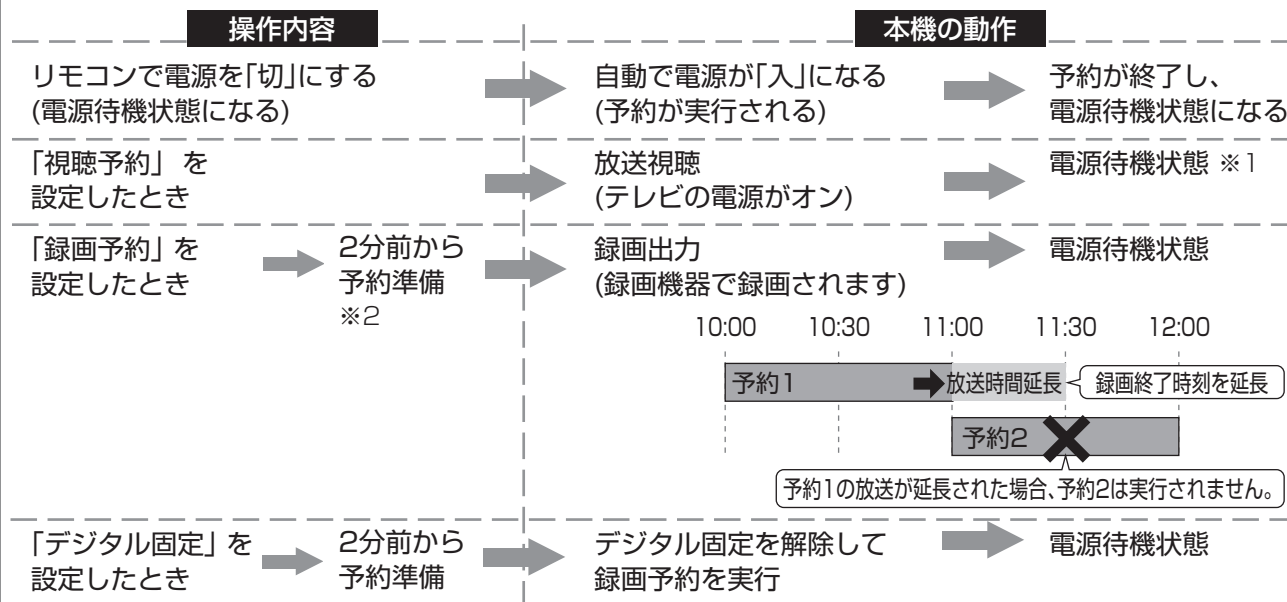
- 「予約の実行に失敗しました。」というレポートがある場合は、予約の実行に失敗しています。
- レポートに「前の予約番組が延長されたため、予約の開始ができませんでした。」または「番組放送時間が変更されました。」と書かれている場合は、番組の放送時間の変更により録画ができなかった事例です。
- レポートに「予約の開始時間に電源が切れていました。」と書かれている場合は、本体天面の電源を切ったり、電源コードを抜いたりして、予約開始時間に電源が入らなかった事例です。録画予約した場合は、必ず、リモコンで電源を切ってください。
- 受信機レポートがない場合は、予約の実行は成功しています。

●ビデオ予約の場合は、下記の点を確認してください。

- **ビデオデッキの電源状態の確認**
録画予約を設定したら、ビデオデッキの電源が「切」であることを確認してください。電源が「入」の状態であったり、ビデオデッキがタイマー録画の状態であるときは、本機で録画予約を設定しても、予約した番組を録画することができません。
- **ビデオデッキの設定の確認**
接続したビデオデッキの入力端子が本機の録画出力(モニター出力／入力4／(録画出力)端子)から録画する状態になっていることを確認してください。ビデオデッキの内蔵チューナーから録画する設定になっていると、予約した番組を録画することができません。
また、ビデオテープが入っていない場合やテープ残量が録画時間分ない場合も、予約した番組を正しく録画することができません。
- **ビデオコントローラーの取り付け位置の再確認**
112〜114ページの手順でビデオデッキの電源が「入」になることを確認してください。

予約動作や出力信号について

電源待機状態からの予約動作について

・デジタル放送を予約したときは、設定や条件によって動作が異なります。

※1 視聴予約実行中に何らかのボタン操作をすると、視聴予約は終了します。この場合、予約した番組が終了しても電源待機状態にはなりません。

※2 ビデオ連動録画設定（**112**～**114**ページ）をシャープ7、8に設定している場合に限り、5分前から予約の準備が始まります。

録画出力／モニター出力から出力される信号について

・モニター出力／入力4／(録画出力)端子は、出力用と入力用に使い分けることができます。切り換えは、メニュー画面の「機能切換」―「入力4端子設定」で行います。（**116**ページ参照）

・モニター出力／入力4／(録画出力)端子は、本機背面にあります。（**102**ページ参照）

・デジタル固定、録画予約を設定したときとしないときとでは、出力される信号が異なります。

設定 ／ 視聴画面	デジタル固定、録画予約ともしていない場合（「モニター出力（固定)」または「モニター出力（可変)」に設定）	デジタル固定または録画予約している場合（「モニター出力（固定)」または「モニター出力（可変)」に設定）
地上アナログ放送	地上アナログ放送	デジタル放送（設定したチャンネル）
デジタル放送	デジタル放送（視聴画面と同じチャンネル※）	デジタル放送（設定したチャンネル）
映像入力（ビデオ 1、2、3）	ビデオ 1、2、3 入力	デジタル放送（設定したチャンネル）
S2 入力（ビデオ 3）	S2 入力（ビデオ 3）	デジタル放送（設定したチャンネル）
D4 入力	映像は出力されません	デジタル放送（設定したチャンネル）
HDMI 入力	映像は出力されません	デジタル放送（設定したチャンネル）
DVI 入力	映像は出力されません	デジタル放送（設定したチャンネル）
i.LINK 入力	i.LINK 入力	デジタル固定：設定できません　録画予約時：デジタル放送
インターネット時	出力されません	デジタル放送（設定したチャンネル）
電源スタンバイ時	出力されません	デジタル放送（設定したチャンネル）

※ 2画面、2画面+インターネット時は操作画面の映像出力になります。テレビ+インターネット時は、1画面時の上記表と同じ映像出力になります。

・有料放送を視聴･予約する場合は、有料放送を行うプラットフォームや放送局とあらかじめ受信契約を済ませてください。契約していない有料放送は、番組表から予約しても予約どおりに視聴や録画ができません。

録画や再生などの機器の接続

他の機器の接続について

AQUOS接続クイックガイドの手順6

接続できる機器

■ 本機には入力1～7端子（うち入力4は出力端子にも設定できます）やi.LINK（TS）端子、デジタル音声出力（光）端子などがあり、以下のように様々な機器と接続できます。

➡ 映像･音声･信号の流れ

▼本体背面

i.LINK（TS）端子

- D-VHSビデオデッキ
- AV-HDDレコーダー
- Blu-ray Disc レコーダー
- ハイビジョンビデオカメラ

120ページ

ハイビジョン映像の録画･再生用端子

入力5･6（HDMI 端子）

HDMI 対応機器

106･166ページ

- HDMIコントロール対応レコーダーとHDMIケーブルで接続した場合、本機のリモコンでHDMIコントロール対応レコーダーを操作できます。（HDMIコントロール）

高画質映像などの入力端子

入力1･入力2
モニター出力／入力4／（録画出力）

ビデオデッキ

HDD/DVDレコーダー

104ページ

モニター出力／入力4／（録画出力）
出力と入力を切り換えることができる端子です。

入力1･入力2
高画質映像などの入力端子

入力3

ビデオカメラ

104ページ

一時的につないで見るときに便利な端子

コントロール（RS-232C）端子

PC（パソコン）

142ページ

パソコンで本機を制御するときの接続端子

ビデオコントロール端子

ビデオコントローラー

112ページ

ビデオ連動録画用

デジタル音声出力（光）端子

シアターシステム

132ページ

モニター音声出力端子

入力7（DVI-I 端子）

DVI対応機器（パソコンなど）

108ページ

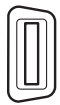
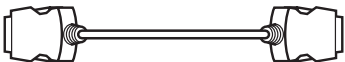
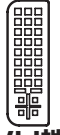
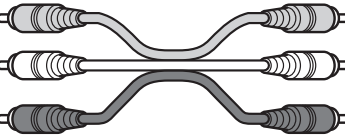
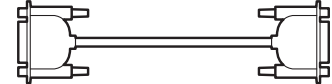
DVI対応パソコンなどの入力端子

接続した機器を使うときは

- 入力1端子に接続した機器の再生画像を見たいときは、リモコンの（入力切換）または本体天面の入力切換ボタンを押し、入力切換メニューで「入力1」を選びます。

- i.LINK機器を使うときは、リモコンの（i.LINK）を押します。

接続した機器の名前を表示させるには

- 入力切換メニューの入力1～7の表示は変更することができます。（**119**ページ）
（例：入力1の表示をビデオに変更した場合）

- i.LINK機器の名前は変更できません。

本機の接続端子と接続の目やす

■ 本機の各接続端子と、各端子に接続するケーブル(市販品)です。

	① 端子の形と呼び方	② 端子の詳細と接続ケーブル		画質など
入力1・2	D(4)端子		・ビデオ機器側のD端子は、D1〜4の種類がありますが、1〜4の番号のいずれでも接続できます。	高精細な映像入力に対応。 D4:高精細映像 D3:高精細映像 D2:高画質映像 D1:標準映像 (数字が大きい順に高精細に対応)
	音声端子（白 左／赤 右）		・D端子は映像専用端子のため、音声は別に接続します。	
入力3・4	S(2)端子		・ビデオ機器側のS端子は、S,S1,S2の種類がありますが、いずれの種類にも接続できます。	高画質な映像入力に対応。
	音声端子（白 左／赤 右）		・S端子は映像専用端子のため、音声は別に接続します。	
入力5・6	HDMI端子 (ハイディフィニション・マルチメディア・インターフェイス)		・映像と音声が1本のケーブルで接続できます。	高精細な映像入力に対応。
入力7	DVI-I端子		・映像専用端子 ※DVI対応のパソコンなどを接続します。	高精細な映像入力に対応。
	音声端子（白 左／赤 右）		・音声は別に接続します。	
i.LINK	i.LINK端子		・映像と音声が1本のケーブルで接続できます。	デジタル放送などハイビジョン映像に対応。
入力1〜4	映像・音声端子（黄・白・赤）		・映像と音声をそれぞれ別に接続します。	標準映像(525i)
コントロール			・パソコンで本機を制御するときの接続端子	—

① 接続するビデオ機器側の端子の形を確認する
※ビデオ機器側の端子の番号は必ずしも本機のものと同じではありません。

② 本機とビデオ機器を専用のケーブルで接続する
※接続ケーブルは付属しておりません。市販品をお求めください。

ビデオやDVDを見る

■ 本機はビデオ入力端子7系統を備えており、ビデオやDVDプレーヤーなどの外部再生機器を7台まで接続することができます。(HDMI接続のしかた…**106**ページ。i.LINK接続のしかた…**120**ページ)
■ 接続する機器に応じて、それぞれの端子に合う接続ケーブルをご用意ください。

■ 接続上のご注意

- 接続をするときは、本機や接続する機器の保護のため電源を切ってください。
- 接続ケーブルのプラグは奥まで完全に差し込んでください。不完全な接続は、画像や音声にノイズや雑音が出る原因となります。
- 接続ケーブルを端子から抜くときは、ケーブルを引っぱらずにプラグを持って抜いてください。
- 複数の機器を接続したときは、お互いの干渉を防ぐため、使わない機器の電源を切っておいてください。
- 接続した機器と本機の画像や音にノイズや雑音が出るときは、お互いを十分に離してください。

ビデオ機器やDVDプレーヤーなどの接続のしかた

■ DVDプレーヤーなどに、D端子、S端子などの高画質映像に対応した出力端子がついている場合は、その出力端子に合った接続をお選びください。より高画質な映像を楽しむことができます。

- 音声ケーブルはそれぞれの音声端子(左/右)に接続してください。
- D端子ケーブルは入力1･2のD4映像入力端子に、S端子ケーブルは入力3･4のS2映像入力端子に、映像･音声ケーブルは入力1〜4の映像･音声入力端子に接続できます。
- 接続する機器の取扱説明書を併せてお読みください。

- D4 端子、S2 端子を使うときは、同じ入力の映像端子に接続する必要はありません。
- D4 端子、S2 端子などは高精細・高画質な画質で入力された映像を同じ画質で再現するための端子です。標準画質で入力された映像は同じ標準画質になります。

映像は映像端子とS映像端子のどちらか1つをつなぐ

▼入力3端子部　▼本体背面

出力
S映像
映像
左－音声－右

S端子付きの機器

- S2端子は映像用です。音声ケーブルも接続してください。

S (S1、S2) 映像出力端子へ
S2映像入力端子へ
S端子ケーブル (市販品)
映像･音声ケーブル (市販品)
黄
白
赤
映像･音声(左/右)出力端子へ
映像･音声(左/右)入力端子へ
入力3
S2映像
映像
左－音声－右

▼入力1・2・4端子部

出力
左－音声－右
D映像
Y
PB
PR
左－音声－右

- D4端子は映像用です。音声ケーブルも接続してください。

音声ケーブル(市販品)
D映像出力端子へ
D4映像入力端子へ
D端子ケーブル (市販品)
コンポーネント出力端子へ
または
D4映像入力端子へ
D-コンポーネント変換ケーブル (市販品)
音声ケーブル(市販品)
音声(左/右)出力端子へ
音声(左/右)入力端子へ
白
赤

D端子またはコンポーネント端子付きの機器

入力1　入力2　出力/入力4(録画出力)
S2映像

- モニター出力/入力４/(録画出力)端子を入力として使用するときは、入力４端子設定を「入力」に設定します。(**116** ページ)

S2映像入力端子について

- S2映像入力端子は、映像端子（ビデオ映像端子）に対し、より高画質な映像で再生するためにS端子ケーブルを使って外部機器を接続するときの端子です。
- 本機は、画面サイズ制御信号（フルモード制御信号、レターボックス制御信号）の入った映像が入力3、入力4のS2映像端子から入力されると、自動的に最適な画面サイズで映し出すように設定することができます。（S2対応…**148**･**149**ページ）
- 本機のS2映像端子に外部機器のS映像出力端子を接続しても、映像を楽しむことができます。（S端子接続の場合、画面サイズ制御信号には対応していません。）

D4映像入力端子について

- 本機のD4映像入力端子は、D1（525i）、D2（525p）、D3（1125i）、D4（750p）の映像の入力に対応しています。
- D4端子を使用するときは、接続端子の種類に応じた画面サイズの判定の設定を行ってください。（D端子識別…**148**･**149**ページ）

ビデオ機器やDVDプレーヤーなどの再生映像を見る

■ 各入力端子に接続した外部再生機器の映像を楽しむことができます。

■ また本体背面の入力1または入力2のD4映像端子にDVDプレーヤーなどの機器を接続して、より高画質の映像を楽しむことができます。
入力5または入力6のHDMI端子に接続するときは、**106**ページをご覧ください。

- 詳しくは、ビデオ機器やDVDプレーヤーの取扱説明書を併せてお読みください。
- 入力4端子設定（**116**ページ）を「モニター出力（固定または可変）」に設定した場合、D4映像端子から入力された映像信号は、モニター出力から出力されません。（音声は出力されます。）
- DVDプレーヤーなどの機器を接続するときは、本機に直接接続してください。ビデオデッキを通して本機で映像を見ると、コピーガード機能の働きにより、映像が正常に映らないことがあります。

入力選択の設定について

- 接続されている映像用端子と、入力選択の設定で選択されている端子が異なり、映像が表示されない場合は、その旨のメッセージが画面に表示されます。このときは、外部機器を接続している入力の入力選択設定を行ってください。（**118**ページ参照）

［例］ 入力1に接続したビデオ機器の再生映像を見る

1 ビデオ機器の準備をする

① 本機背面の入力1にビデオ機器を接続し、電源を入れる

② 再生したいビデオテープを入れる

2 入力切換を押し、入力切換メニューを表示する

- 入力切換メニュー表示中につぎの操作を行います。

3 ① 入力切換または（▲▼）を押し、「入力1」を選ぶ

- 入力1〜入力4は、外部機器が接続されているときのみ選択できます。
- i.LINKは、機器を接続、選択しているときのみ選べます。

※入力4は、入力4端子設定を「入力」にしているときのみ選択できます。（**116**ページ参照）

② 決定を押す

- 決定ボタンを押さなくても、しばらくすると入力切換メニューは消えます。

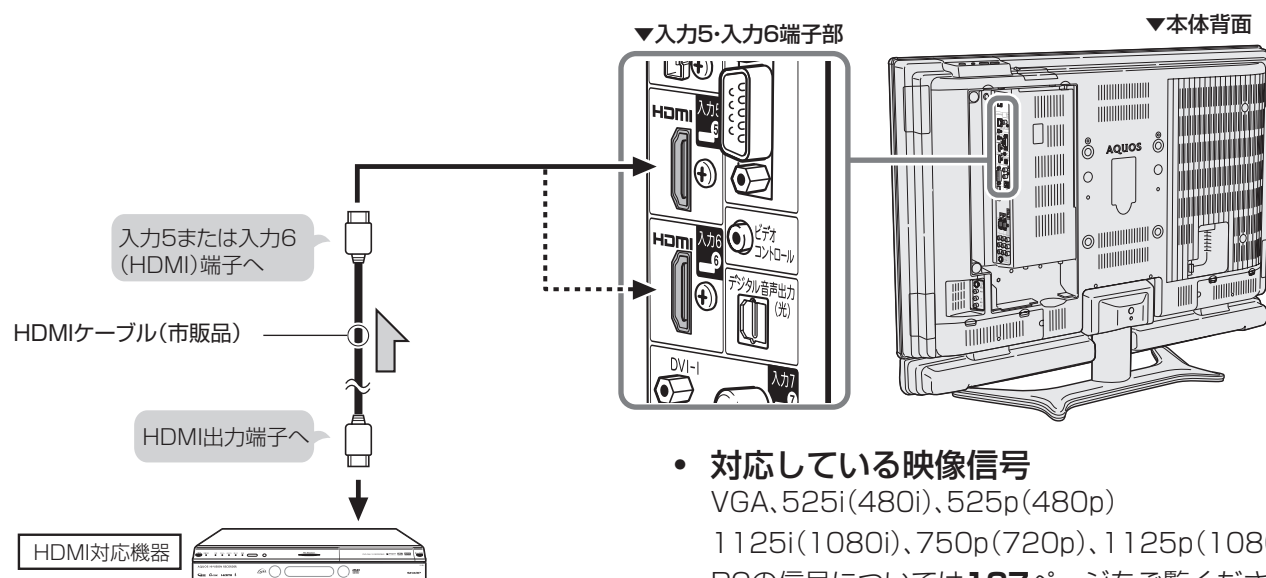
4 ビデオ機器を再生状態にする

HDMI対応機器の映像を見る

HDMI端子付き機器の接続のしかた

■ HDMI端子は、映像と音声の信号を1本のケーブルでつなぐことができる新しい規格の専用端子です。
■ HDMI対応機器の映像や音声を楽しむときは、入力切換で「入力5」または「入力6」を選びます。
■ HDMI対応機器を接続せず、「入力5」または「入力6」を飛ばして入力切換をしたいときは、「入力スキップ設定」を「する」に設定します。（工場出荷時はHDMI対応機器を接続していなくても「入力5」または「入力6」が選べるようになっています。）

■ HDMI出力端子付きビデオ機器との接続

市販のHDMIケーブルを使って接続する

- **対応している映像信号**
  VGA、525i（480i）、525p（480p）
  1125i（1080i）、750p（720p）、1125p（1080p）
  PCの信号については**137**ページをご覧ください。
- **対応している音声信号**
  種類：リニアPCM
  サンプリング周波数：48kHz／44.1kHz／32kHz

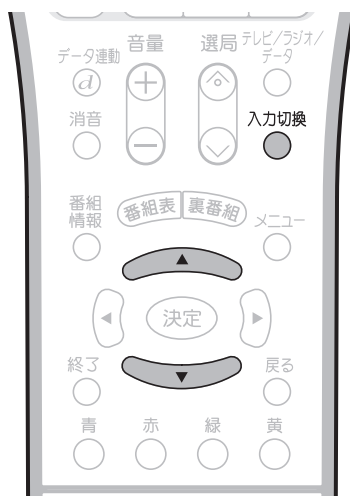
・HDMI入力では、HDMIケーブルによっては、映像にノイズが発生する場合があります。HDMI認証ケーブルを使用してください。

HDMI機器がHDMIコントロール対応AQUOSレコーダーやAQUOSサラウンドなどの場合は、本機のリモコンで操作できます。
詳しくは「HDMI接続した外部機器を本機のリモコンで制御する　HDMIコントロール（AQUOSファミリンク）」（**165**ページ）をご覧ください。

HDMI対応機器の映像を見る

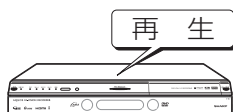
■「入力5」および「入力6」に接続したHDMI対応機器の映像を見るための手順です。

1 HDMI対応機器の準備をする
①本機背面の入力5端子または入力6端子にHDMI対応機器を接続し、電源を入れる
②再生したいディスクを入れる

2 入力切換 を押し、入力切換メニューを表示する

3 入力切換メニュー表示中に、入力切換 または ▲▼ を押し、「入力5」または「入力6」を選ぶ

- 入力1～入力4は、外部機器が接続されているときのみ選択できます。
- i.LINKは、機器を接続、選択しているときのみ選べます。

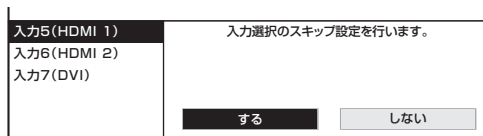
※入力4は、入力4端子設定を「入力」にしているときのみ選択できます。(**116**ページ参照)

4 HDMI対応機器を再生状態にする

HDMI対応機器を接続しないとき(入力スキップ設定)

■「入力5」および「入力6」を飛ばして入力切換ができます。(工場出荷時は、HDMI対応機器を接続していなくても「入力5」および「入力6」を選べるようになっています。)

1 メニュー画面から「本体設定」―「入力スキップ設定」を選び、決定 を押す

2 ▲▼ で「入力5(HDMI1)」または「入力6(HDMI2)」を選び、決定 を押す

3 ◀▶ で「する」を選び、決定 を押す

- 「する」に設定すると入力切換ボタンを押したとき、次のような表示になります。

- 入力5または入力6に⊘が表示され、入力5または入力6を飛ばして入力切換ができます。

- 「入力5」および「入力6」のスキップを解除するには、メニュー画面から「本体設定」―「入力スキップ設定」―「入力5(HDMI1)」または「入力6(HDMI2)」―「しない」を選んでください。

操作終了する場合は

メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

- 1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

DVI対応機器の映像を見る

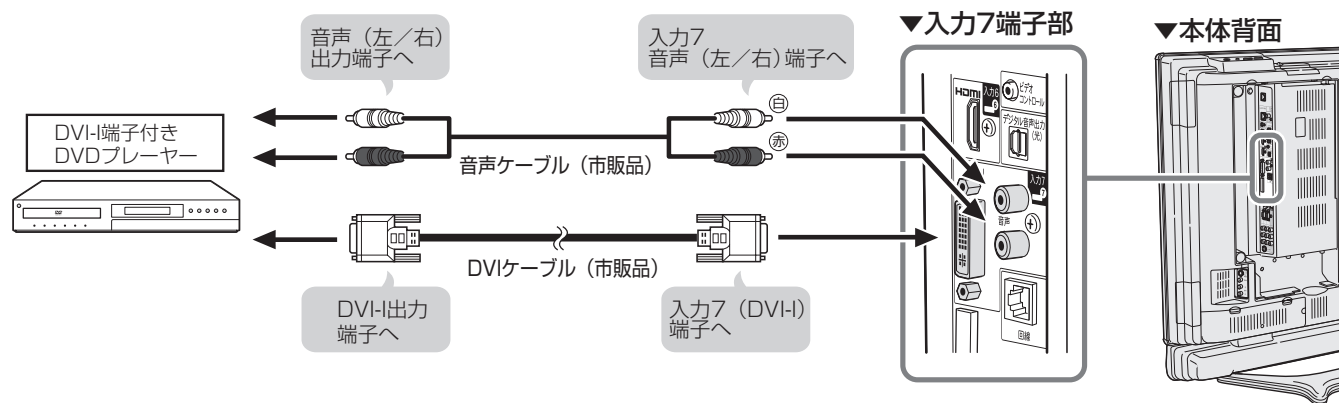
DVI対応機器の接続のしかた

■ DVI対応機器を接続するときは、DVIケーブル（市販品）をご使用ください。DVIケーブルは映像用のケーブルです。DVIケーブルを接続するときは、音声ケーブルも接続してください。

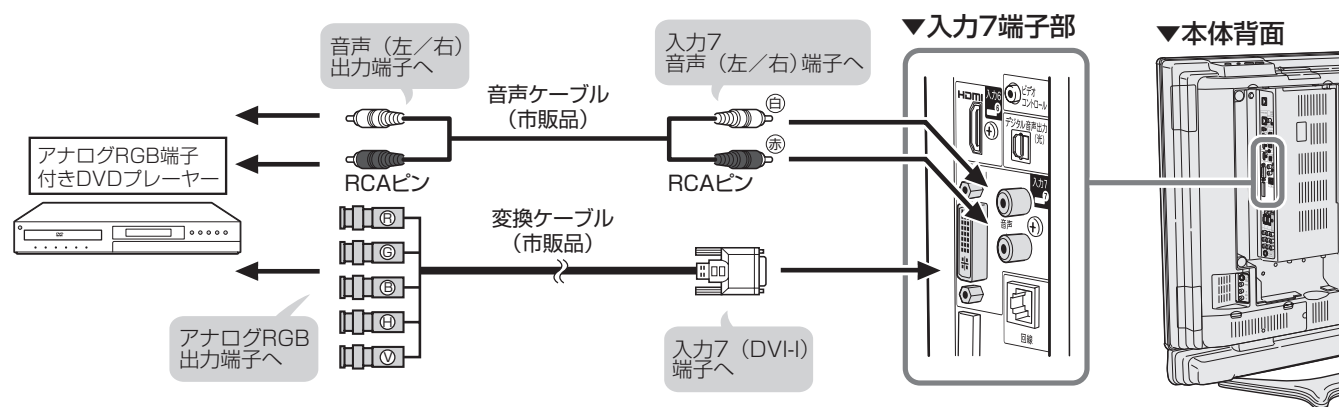
■ DVI対応機器の映像や音声を楽しむときは、入力切換で「入力7」を選びます。

■ DVI対応機器を接続せず、「入力7」を飛ばして入力切換をしたいときは、「入力スキップ設定」を「する」に設定します。（工場出荷時はDVI対応機器を接続していなくても「入力7」が選べるようになっています。）

■ DVI-I出力端子付きビデオ機器との接続

市販のDVIケーブルを使って接続する

・本機のDVI-I端子はHDCP（コピープロテクト機能）に対応しています。

■ アナログRGB出力端子付きビデオ機器との接続

市販の変換ケーブルを使って接続する

入力7に接続した機器に合わせて端子を設定する

・DVI対応AV機器の入力対応信号は、525p、1125i、750pです。（デジタルAV信号のみ1125pに対応します。）

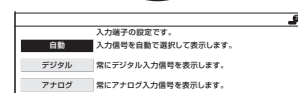
・対応した信号で正しく表示されない場合は、右の手順に従い、接続した信号に合わせて、入力7を「アナログ」または「デジタル」に設定してください。通常は「自動」のままでかまいません。

① 入力切換 を押し、「入力7」を選ぶ

②メニュー画面から「機能切換」ー「入力選択」を選び、決定を押す

③ で接続した信号を選び、決定を押す

入力端子の設定です。

自動	入力信号を自動で選択して表示します。
デジタル	常にデジタル入力信号を表示します。
アナログ	常にアナログ入力信号を表示します。

DVI対応機器の映像を見る

■「入力7」に接続したDVI対応機器の映像を見るための手順です。

1 DVI対応機器の準備をする

① 本機背面の入力7端子にDVI対応機器を接続し、電源を入れる

② 再生したいディスクを入れる

2 入力切換を押し、入力切換メニューを表示する

3 入力切換メニュー表示中に、入力切換または（決定）を押し、「入力7」を選ぶ

入力切換
- テレビ
- 入力1
- 入力2
- 入力3
- 入力4
- 入力5
- 入力6
- 入力7
- i.LINK

• 入力1〜入力4は、外部機器が接続されているときのみ選択できます。
• i.LINKは、機器を接続、選択しているときのみ選べます。

※入力4は、入力4端子設定を「入力」にしているときのみ選択できます。（**116**ページ参照）

4 DVI対応機器を再生状態にする

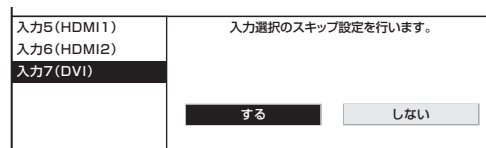
再　生

DVI対応機器を接続しないとき（入力スキップ設定）

■「入力7」を飛ばして入力切換ができます。（工場出荷時は、DVI対応機器を接続していなくても「入力7」を選べるようになっています。）

1 メニュー画面から「本体設定」ー「入力スキップ設定」を選び、（決定）を押す

2 （▲▼）で「入力7(DVI)」を選び、（決定）を押す

3 （◀▶）で「する」を選び、（決定）を押す

• 「入力7」のスキップを解除するには、メニュー画面から「本体設定」ー「入力スキップ設定」ー「入力7(DVI)」ー「しない」を選んでください。

操作終了する場合は

メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

• 1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

デジタル放送の番組をビデオデッキで録画する

接続について

■ お持ちのビデオデッキなどにデジタルチューナーが付いていない場合、本機背面のモニター出力／入力4／(録画出力)端子にビデオデッキなどの録画機器を接続して、デジタル放送を録画することができます。録画予約を設定した場合、モニター出力／入力4／(録画出力)端子から自動的に録画出力信号が出力されます。

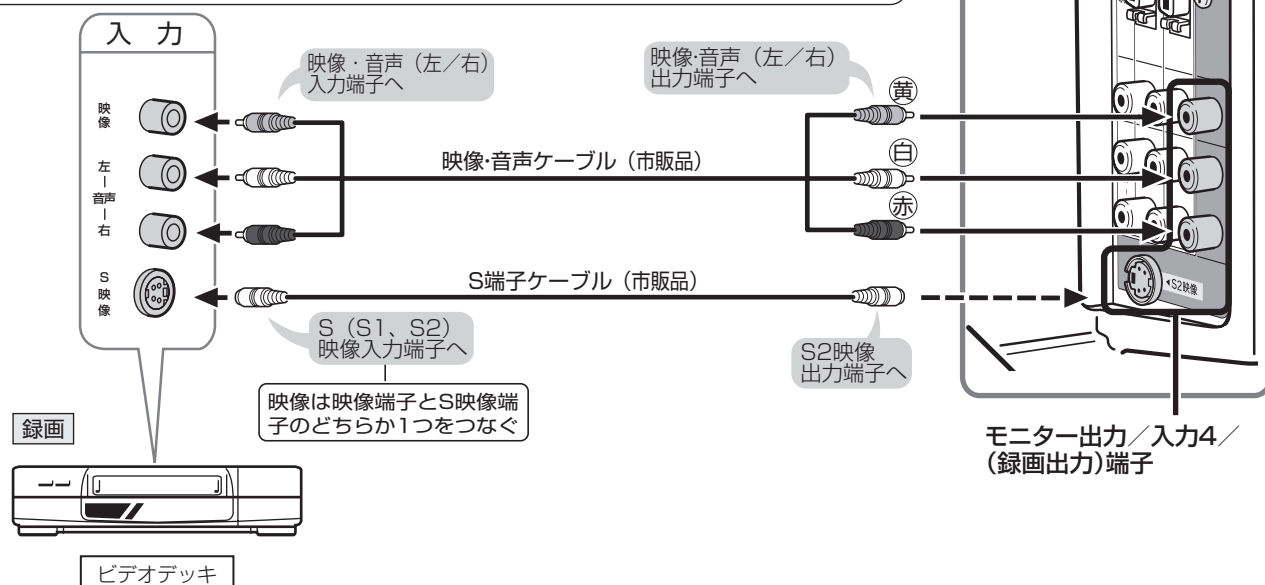
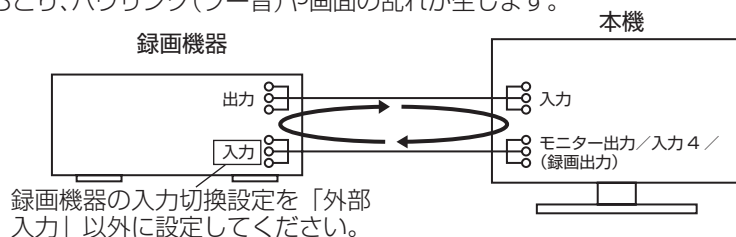
録画出力について

- 電子番組表(EPG)で録画予約した内容が、予約した時刻にモニター出力／入力4／(録画出力)端子から出力されるためには、あらかじめ入力4端子設定で「モニター出力(固定)」に設定しておく必要があります。(**116**ページ)

接続のしかた

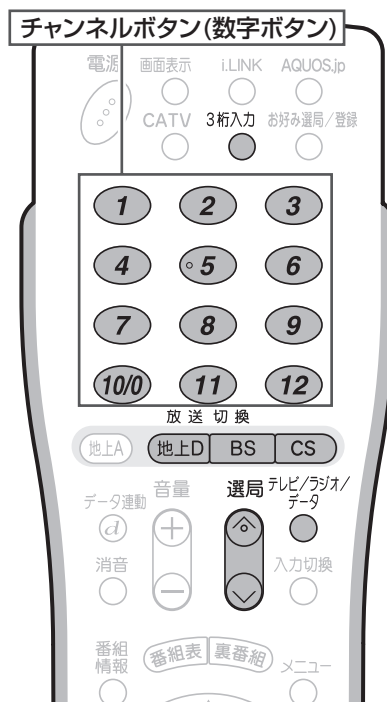
※ ビデオコントローラー(付属品)を使用して予約録画する場合の接続については、**112**ページをご覧ください。

ループ接続による発振にご注意

- 本機の映像をモニター出力を使って、録画機器の入力端子に入力して録画した後、録画した番組を録画機器の出力から本機の入力端子に入力して視聴する際、録画機器の入力を「外部入力」以外に設定してください。「外部入力」のままでは、本機と録画機器の間に信号のループができるため、発振がおこり、ハウリング(ブー音)や画面の乱れが生じます。

- モニター出力／入力4／(録画出力)端子からは、デジタル放送のハイビジョン画質(1125i)の映像を標準画質(525i)に変換して出力します。したがって、**接続された録画機器では標準画質で録画されます。**
- デジタル固定、録画予約、およびモニター出力にはデジタル放送の字幕やデータ放送は出力されません。
- ハイビジョン画質で録画するときは、D-VHSビデオデッキ·AV-HDDレコーダー·Blu-ray Discレコーダーなどのi.LINK機器をi.LINK接続して行ってください。(**120**〜**131**ページ参照)
- 番組により、録画·録音が制限されている場合などがあります。
- 著作権保護された番組をビデオデッキなどで録画する際、著作権保護のための機能が働き、正しく録画できません。また、この機能により、再生目的でもビデオデッキを介してモニター出力した場合には画質劣化する場合がありますが、機器の問題ではありません。著作権保護された番組を視聴する場合は本製品とモニターを直接接続してお楽しみください。

録画の操作について

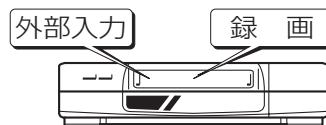
■ デジタル放送は、チャンネルを固定して録画することができます。（デジタル固定…**117**ページ）

■「デジタル固定」を「する」にしておくと、リモコンで電源を切ってもモニター出力／入力4／（録画出力）端子から映像と音声が出力されますので、録画を続けることができます。

[例] NHKハイビジョンの番組を録画するとき

1 入力4を「モニター出力（固定）」または「モニター出力（可変）」に切り換える

- 入力4を「モニター出力（固定）」または「モニター出力（可変）」に切り換えるための「入力4端子設定」を行ってください。（**116**ページ）

2 ① BS を押し、BSデジタル放送（テレビ）を受信する
② チャンネルボタン 3 を押し、NHKハイビジョンを選局する

3 ビデオデッキを外部入力に切り換え、録画のボタンを押す

- 録画が始まります。

- あなたが録画（録音）したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

ビデオ予約のタイプ別接続について

■ 録画予約から「ビデオ予約」（**91**ページ）を選ぶときは、下の図にしたがって接続方法を選びます。

予約録画の操作の前に、「ビデオコントローラーを使うための設定」が必要です。（**113** ページ）

A	C	B	C
付属のビデオコントローラーを使って予約する場合（ビデオ連動録画）（**112**ページ）	録画機器がビデオコントローラー、外部自動録画（シンクロ予約）機能に対応していない場合（**115**ページ）	録画機器の外部自動録画（シンクロ予約）機能を使う（**115** ページ）	録画機器がビデオコントローラー、外部自動録画（シンクロ予約）機能に対応していない場合（**115** ページ）

- 録画機器の操作方法については、録画機器の取扱説明書をご覧ください。
- 予約録画する前に、必ず、試し録りをして、正しく録画されることを確認してください。
  このとき、予約録画の方法 A、予約録画の方法 B でうまくいかないときには、予約録画の方法 C を行ってください。

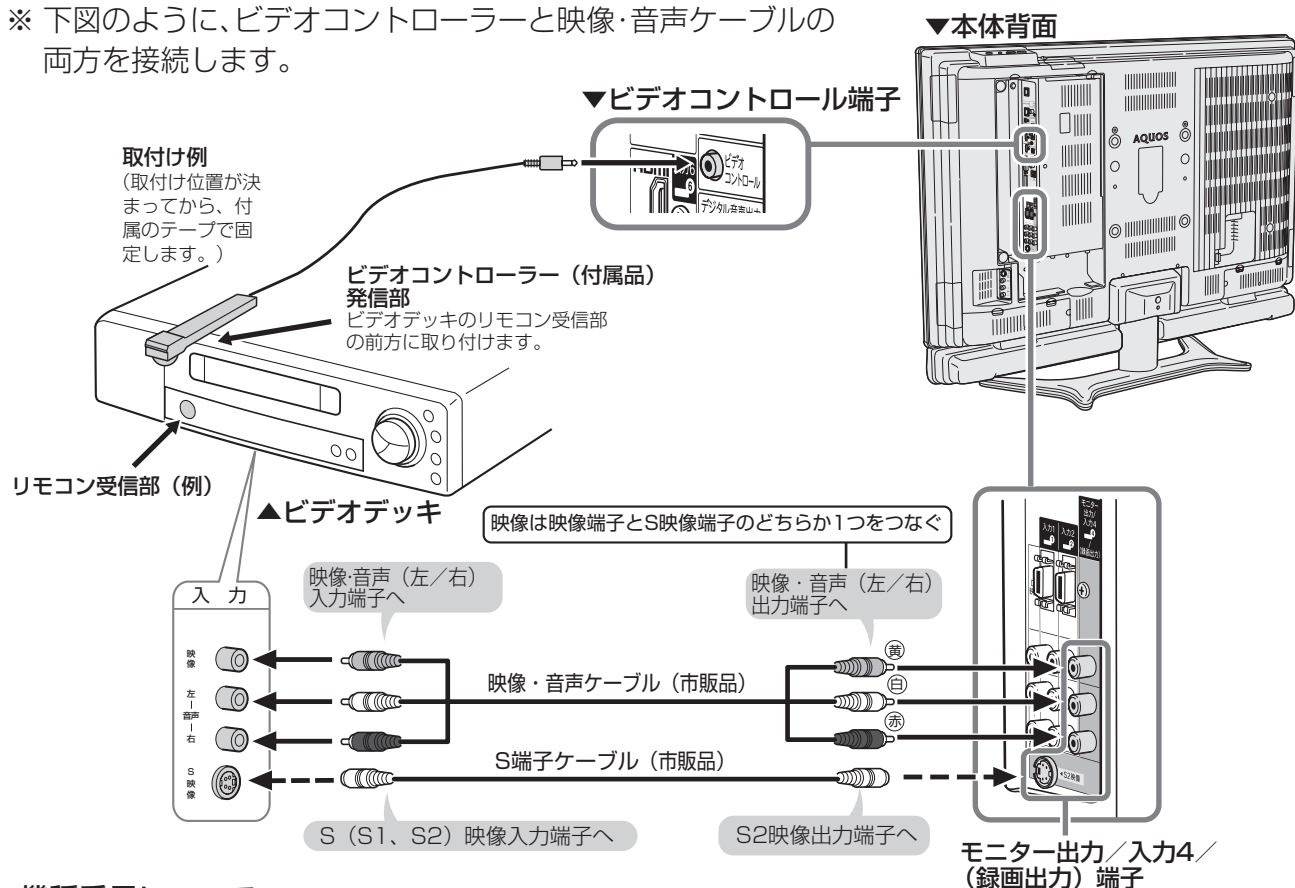
- i.LINK予約の接続については**120**ページ、HDMIコントロール予約の接続については**166**ページをご覧ください。

ビデオ予約をするための接続と設定

ビデオコントローラーを使って予約する場合(予約録画の方法 A の場合)の接続

付属のビデオコントローラーを使うと、予約した時刻にビデオコントローラーからビデオデッキにリモコン信号が送信され、ビデオデッキの電源の入／切や録画の開始／停止を行い、本機の予約機能と連動して**デジタル放送の番組**を録画(ビデオ連動録画)することができます。この場合、ビデオデッキの予約設定は必要ありません。(録画可能なテープなどの基本的な準備は必要です。)

※ ビデオデッキの機種によっては、リモコン信号が異なるため動作しない場合があります。そのときは、ビデオコントローラーは使用できません。また、ビデオデッキ内蔵型テレビにも録画できません。

※ 下図のように、ビデオコントローラーと映像･音声ケーブルの両方を接続します。

機種番号について

■ メーカーにより複数のリモコン信号を採用しており、つぎの機種番号で区分されます。

メーカー	機種番号
シャープ	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8
アイワ	1, 2, 3, 4
NEC	1, 2, 3, 4
サンヨー	1, 2, 3, 4
ソニー	1, 2, 3, 4, 5, 6
東芝	1, 2, 3, 4, 5, 6
ビクター	1, 2, 3, 4
日立	1, 2, 3
フナイ	1
松下	1, 2, 3, 4, 5, 6
三菱	1, 2, 3, 4
パイオニア	1, 2, 3

工場出荷時の設定：未設定

※入力4端子の設定について

- ビデオ連動録画をするときは、メニューで入力4端子設定を「モニター出力(固定)」または「モニター出力(可変)」に設定してください。(**116**ページ)

ビデオコントローラー取付けの際のご注意

- リモコン受信部の位置は、ビデオデッキのメーカーや機種によって異なります。一般的には、液晶表示部に隣接して丸いものがうすく見えます。
- ビデオコントローラーの発信部がビデオデッキのリモコン受信部に確実に向いていることをご確認ください。
- ビデオコントローラーを取り付けるときは、はじめから任意の位置に固定しないで、**113**･**114**ページ「ビデオコントローラーを使うための設定をする」のテストでビデオデッキの電源が「入」になる位置を探し、その位置に固定してください。

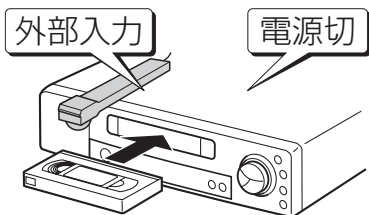
ビデオコントローラーを使うための設定をする

- ビデオ連動録画設定が必要なのは初回のみです。（ただし接続している機器を変更したときは、再度設定が必要になります。）
- ビデオ連動録画できるのは、デジタル放送のみです。地上アナログ放送、CATV放送などはビデオ連動録画ができません。

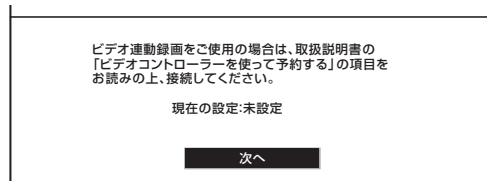
操作の前に

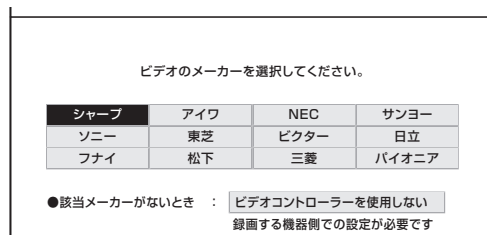
- **録画出力信号について**
  ビデオ連動録画設定で、リモコン信号が異なり動作しない場合でも、モニター出力／入力4／（録画出力）端子からは、映像と音声信号が出力されます。（この場合は録画する機器側にもタイマー予約を設定し、録画予約設定を行ってください。）
- **ビデオデッキの準備について**
  ビデオデッキ側は起動時に選局しているチャンネルの映像を録画しますので、外部入力チャンネルに切り換えた上でビデオのリモコンで電源を「切」にして待機してください。他のチャンネルでのタイマー録画が先に実行されると外部チャンネルが変更されてしまい、他のチャンネルが録画されます。
- **本機の設定について**
  「デジタル固定」を「する」に設定しておくと、ビデオ連動録画の設定ができません。設定前に「デジタル固定」を「しない」にしてください。（**117**ページ）

1 ビデオデッキの準備をする

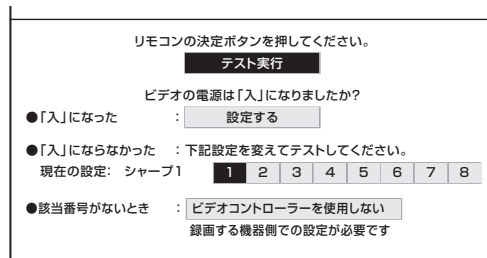
① 本機につなぐ（**112**ページ参照）
② ビデオコントローラーを取り付ける（**112**ページ参照）
③ 本機とつないだ外部入力に切り換える
④ 録画用ビデオテープを入れる
⑤ ビデオのリモコンで電源を「切」にする

2 メニュー画面から「デジタル設定」―「ビデオ連動録画設定」を選び、（決定）を押す

リモコンのボタン

3 ビデオコントローラーの接続を確認し、「次へ」で（決定）を押す

4 お使いのビデオデッキのメーカーを（▲▼◀▶）で選び、（決定）を押す

シャープ	アイワ	NEC	サンヨー
ソニー	東芝	ビクター	日立
フナイ	松下	三菱	パイオニア

- 該当するビデオメーカーがない場合や外部自動録画機能（シンクロ予約機能）を使用して録画する場合は、「ビデオコントローラーを使用しない」を選択してください。

⇨ 予約録画の方法 B または 予約録画の方法 C に進みます。（**115**ページ）

5 「テスト実行」で（決定）を押し、テストを開始する

テストの結果

- ビデオデッキの電源が「入」になったとき（正常）
  ⇨手順**8**の②に進みます。
- ビデオデッキの電源が「入」にならなかったとき
  ⇨ビデオデッキの接続、ビデオコントローラーの取付け、メーカーを確認し、手順**6**に進みます。

- ビデオコントローラーの取付け位置が適切でないために、ビデオデッキの電源が「入」にならないことがあります。その場合は、手順**6**･**7**でテストをくり返しながらビデオデッキの電源が「入」になる位置を見つけ、その位置にビデオコントローラーを固定してください。

次ページへつづく

6

① でカーソルを機種番号の欄に移動する

② でメーカーの機種番号を選び、決定を押す

- **112**ページ左下にある「機種番号について」の表を参考に機種番号を選んでください。機種番号が複数あるメーカーの場合は、お使いのビデオデッキが操作できるようになるまで手順**6**・**7**をくり返してください。

7

決定を押し、テストを実行する

- テストの結果、該当する機種番号がない場合は、「ビデオコントローラーを使用しない」を選択して、ビデオ予約を行う際はビデオデッキにもタイマー予約を設定してください。

8

① ビデオデッキの電源が「入」になったことを確認する

② 「設定する」で決定を押す

- これでビデオ連動録画の設定は完了です。

操作終了する場合は

メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

- 1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

設定が終了したら、再度ビデオデッキの電源を「切」にします。(ビデオのリモコンで切ります。)

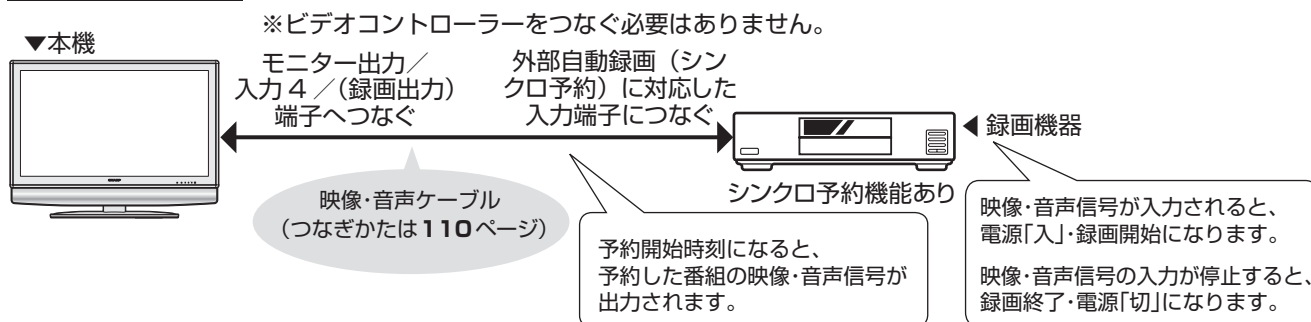
- 予約した時刻になると、ビデオコントローラーからの信号によってビデオデッキの電源が入り、録画が開始されます。
- 録画予約を設定する前に、モニター出力/入力4/(録画出力)端子を「モニター出力(固定)」または「モニター出力(可変)」に設定してください。(**116**ページ)
- 録画予約のしかたについては、**91**ページをご覧ください。

- ビデオコントローラーのテストで、どの機種番号を選んでもビデオデッキの電源が「入」にならない場合は、ビデオコントローラーの発信部がビデオデッキのリモコン受信部に確実に向いているか、再度ご確認ください。

外部自動録画(シンクロ予約)機能を使用する場合(予約録画の方法 B)の接続

■ お持ちの録画機器に外部録画機能(シンクロ予約機能)が付いている場合、ビデオコントローラーをつながずに予約録画することができます。

■ シンクロ予約とは、録画機器側で録画出力信号を受信すると、これに連動して電源が入り、録画を開始する機能です。(詳しくは録画機器の取扱説明書をご覧ください。)

接続のしかた

接続が終了したら、**113**ページの手順**4**で「ビデオコントローラーを使用しない」に設定してから、本機の録画予約を設定し、本機の電源を「切」にします。(リモコンで切ります。)そして録画機器の外部自動録画(シンクロ予約)を設定し、録画の準備をすませて、録画機器のリモコンで録画機器の電源を「切」にします。

- 予約開始時刻になると、本機のモニター出力／入力4／(録画出力)端子から映像と音声が外部自動録画(シンクロ予約)機能に対応した入力端子へ出力されます。これに連動して録画機器側で録画が始まります。
- 録画予約を設定する前に、モニター出力／入力4／(録画出力)端子を「モニター出力(固定)」または「モニター出力(可変)」に設定してください。(**116**ページ)
- 録画予約のしかたについては、**91**ページをご覧ください。

- 録画機器の外部自動録画(シンクロ予約)を設定しているときに本機の電源を入れると、モニター出力／入力4／(録画出力)端子から信号が出力されるため、録画機器で録画が始まります。不要な録画を避けるためには、録画予約が終了したあとは、録画機器の外部自動録画(シンクロ予約)を「しない」状態にしてください。

録画機器がビデオコントローラー・外部自動録画(シンクロ予約)機能に対応していない場合(予約録画の方法 C)の接続

■ お持ちの録画機器がビデオコントローラーおよび外部自動録画(シンクロ予約)機能に対応していないなど、予約録画の方法 A・予約録画の方法 Bが使えない場合でも、本機側と合わせて録画機器側でも日時やチャンネルを予約設定しておけば録画が可能になります。

接続が終了したら、**113**ページの手順**4**で「ビデオコントローラーを使用しない」に設定してから、本機の録画予約を設定し、本機の電源を「切」にします。(リモコンで切ります。)そして録画機器のタイマー予約などの予約録画機能で、本機で設定した予約と同じ日付・時刻に設定し、予約するチャンネルは本機と接続した外部入力に設定します。

- 録画機器との接続については、**110**ページをご覧ください。
- 録画機器の操作方法については、録画機器の取扱説明書をご覧ください。
- 予約開始時刻になると、本機の電子番組表で予約した番組の映像・音声がモニター出力／入力4／(録画出力)端子から出力されます。同時に、録画機器側で行った設定により、録画機器側の予約録画が始まります。
- 録画予約を設定する前に、モニター出力／入力4／(録画出力)端子を「モニター出力(固定)」または「モニター出力(可変)」に設定してください。(**116**ページ)
- 録画予約のしかたについては、**91**ページをご覧ください。

他の機器を使って録画するための設定

入力4端子を出力用または入力用に設定する

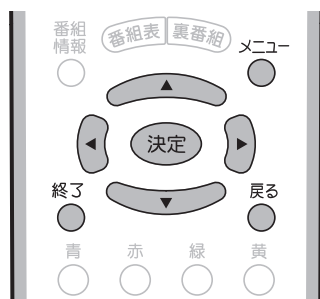
■ 本機背面のモニター出力／入力4／(録画出力)端子は、出力用と入力用に使い分けることができます。
■「モニター出力(固定)」または「モニター出力(可変)」に設定しているとき、予約録画の実行またはデジタル固定をすると、録画出力信号が出力されます。

操作の前に

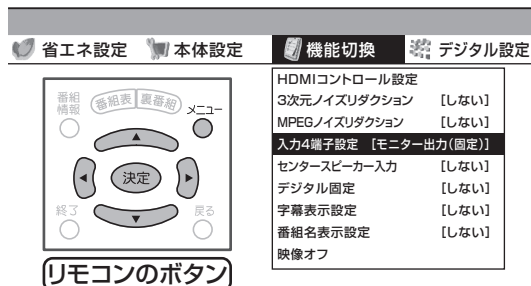
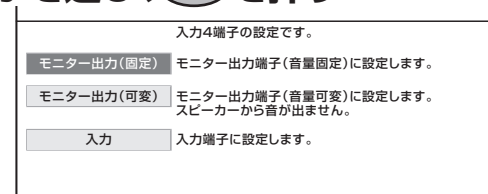
他の機器を接続して録画するときの設定

- **モニター出力(固定)**
  音声出力端子から出力される音量レベルは一定で、スピーカーの音量を調整しても端子の出力レベルは変化しません。
- **モニター出力(可変)**
  スピーカーからは音声が出ません。音声出力端子から出力される音量レベルを、音量ボタンで調整することができます。

ビデオやDVDを見るときの設定

- **入力**
  ビデオ再生機器をつなぐなど、入力端子として使うときに選びます。

•モニター出力／入力4／(録画出力)端子から出力される映像信号について

出力	予約録画もデジタル固定もしていないとき「モニター出力(固定)」または「モニター出力(可変)」設定時		予約録画実行中またはデジタル固定中
	S2	映像	S2／映像
地上アナログ放送	×	○	×
デジタル放送	○	○	○
ビデオ入力	×	○	×
D4入力	×	×	×

1 メニュー画面から「機能切換」ー「入力4端子設定」を選び、(決定)を押す

2 (▲▼)で「モニター出力(固定)」「モニター出力(可変)」「入力」のいずれかを選び、(決定)を押す

- 「モニター出力」に設定すると、音量を調整したとき、次のような音量表示が画面に表示されます。

「モニター出力(固定)」にしたときの音量表示

「モニター出力(可変)」にしたときの音量表示

おしらせ

- 「モニター出力(可変)」に設定し、モニター音声出力レベルを調整する場合は、スピーカーの音量を変えるときと同じように、音量(大／小)ボタンで調整します。
- 「モニター出力(固定)」「モニター出力(可変)」のいずれを選んだ場合でも、ヘッドホン端子からの音声出力は可能です。
- 「モニター出力(可変)」に設定しているとき、音声調整の設定はできません。

操作終了する場合は

(メニュー)または(終了)を押し、通常画面に戻す

- 1つ前に戻る場合は(戻る)を押してください。

デジタル固定の設定

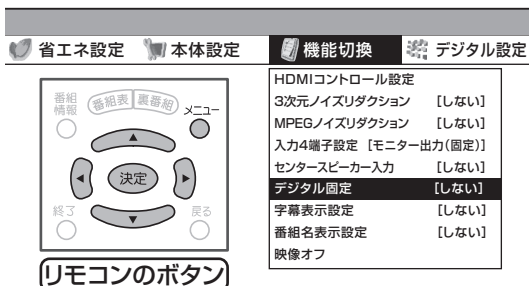
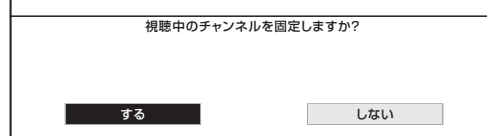
■「デジタル固定」とは、現在受信しているデジタル放送のチャンネルに固定する機能です。

操作の前に

こんなときに便利です

- デジタル放送の番組を録画しているとき、誤ってチャンネルを変えてしまうのを防ぐことができます。
- デジタル放送の番組を録画しながら他のチャンネルを視聴したりすることができます。
- デジタル固定を「する」に設定しているときは、リモコンで電源を「切」(電源待機状態)にしても、モニター出力／入力4／(録画出力)端子からデジタル放送の映像・音声が出力されますので、録画を続けることができます。

1 固定したいデジタル放送のチャンネルを選局する

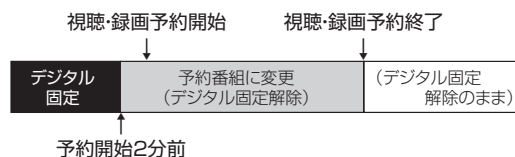
2 メニュー画面から「機能切換」－「デジタル固定」を選び、決定を押す

3 **で「する」を選び、決定を押す**

- 視聴中のデジタル放送のチャンネルに固定されます。

操作終了する場合は

メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

- 1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

おしらせ

- デジタル固定中に視聴・録画予約時間の2分前(ビデオ連動録画設定(**112**～**114**ページ)をシャープ7、8に設定している場合に限り、5分前)になると、デジタル固定が自動的に解除されます。また、視聴・録画予約が終了してもデジタル固定は解除されたままとなります。

- 予約録画実行中やi.LINK入力時は、デジタル固定にできません。
- デジタル放送をビデオデッキで録画する場合は、「デジタル固定」または 予約録画の方法 A (**91**・**112**ページ)で録画することをおすすめします。

録画や再生などの機器の接続

他の機器を使って録画するための設定

入力選択の設定

■ 入力1〜4に外部機器を接続しているとき、複数の映像用端子(例えば、入力1では「D4映像」「映像」の2種類)のどれを使用するかを設定することができます。
■ 工場出荷時の状態では、入力1〜4は「自動」に設定されています。通常の使用方法の場合、特に設定を変更する必要はありません。

入力選択の項目について

■ 入力1〜4のそれぞれにつき、選択できる入力項目はつぎのとおりです。

入力1　入力2

自動
D端子
ビデオ映像

入力3　入力4

自動
S端子
ビデオ映像

■ 入力7の入力選択については、**108**ページを参照してください。

映像入力端子選択の優先順位について

• 入力1〜4の入力選択を「自動」に設定したときは、つぎの優先順位で映像入力端子が選択されます。

入力1・入力2	D端子→ビデオ映像
入力3・入力4	S端子→ビデオ映像

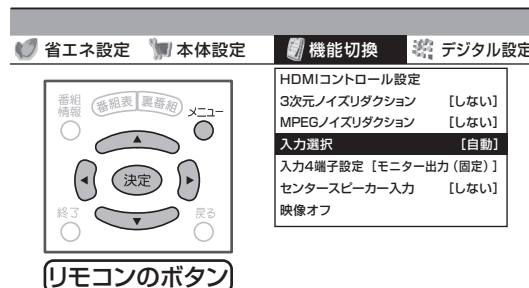
[例] 外部機器を入力1に接続しているとき、D4映像端子からの入力を選択する

1 入力切換 で「入力1」を選ぶ

• 入力1〜入力4は、外部機器が接続されているときのみ選択できます。
• i.LINKは、機器を接続、選択しているときのみ選べます。

※入力4は、入力4端子設定を「入力」にしているときのみ選択できます。(**116**ページ参照)

2 メニュー画面から「機能切換」ー「入力選択」を選び、決定を押す

• テレビ、入力5、入力6、i.LINK入力のとき、「入力選択」はメニューに表示されません。

3 で「D端子」を選び、決定を押す

操作終了する場合は

メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

• 1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

外部機器のなまえを表示させる

■ 入力1～7に接続している外部機器に合わせて、入力切換メニューや画面表示（チャンネルサイン）に表示される機器の名称を選択することができます。

■ 機器の名称をおこのみの名称に変更することもできる「ユーザー設定」があります。

表示できる名称について

入力1／入力2

入力1　※	ビデオ1　※	ビデオ
コンポーネント1　※	コンポーネント	D端子1　※
D端子	CATV	CS
DVD	ゲーム	ムービー
D-VHS	HDD	DVR
BD		

※「入力2」選択時は、入力2 ビデオ2 などの表示になります。

入力3／入力4

入力3　※	ビデオ3　※	ビデオ
CATV	CS	DVD
ゲーム	ムービー	D-VHS
HDD	DVR	BD

※「入力4」選択時は、入力4 ビデオ4 の表示になります。

入力5／入力6

（自動）入力5 ※	入力5　※	ビデオ5　※
ビデオ	HDMI	HDMI1　※
DVD	DVR	HDD
BD		

※「入力6」選択時は、（自動）入力6 入力6 ビデオ6 HDMI2 の表示になります。

- HDMIコントロール対応のAQUOSレコーダー接続時、「（自動）入力5」または「（自動）入力6」の表示に設定されている場合は、「AQUOSレコーダー」と表示されます。
- 他メーカーのHDMI機器を接続し、「（自動）入力5」または「（自動）入力6」の表示に設定されている場合、表示の内容が変わることがあります。
- AQUOSサラウンド接続時、「（自動）入力5」または「（自動）入力6」の表示に設定されている場合は、「入力5」または「入力6」と表示されます。
- AQUOSサラウンドにHDMIコントロール対応レコーダーが接続されていて「（自動）入力5」または「（自動）入力6」の表示に設定されている場合は、「AQUOSレコーダー」と表示されます。

入力7

入力7	ビデオ7	ビデオ
DVI-I	DVD	PC

消音　入力切換　番組情報　番組表　裏番組　メニュー　決定　終了　戻る

［例］入力2の表示を「ゲーム」に変える

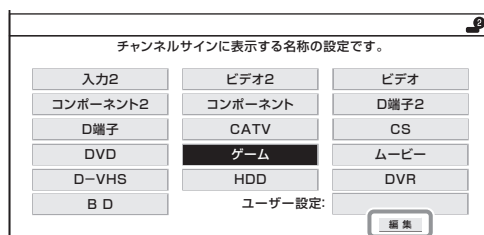
1 入力切換で「入力2」を選ぶ

- 入力1～入力4は、外部機器が接続されているときのみ選択できます。
- i.LINKは、機器を接続、選択しているときのみ選べます。

※入力4は、入力4端子設定を「入力」にしているときのみ選択できます。（**116**ページ参照）

2 メニュー画面から「本体設定」ー「入力表示選択」を選び、決定を押す

- テレビ入力およびi.LINK入力のとき、「入力表示選択」はメニューに表示されません。

3 ◀▶▲▼で「ゲーム」を選び、決定を押す

ユーザー設定について

- おこのみで機器の名称を入力したいときは、「編集」を選んで決定します。文字入力のしかたについては、**182**ページをご覧ください。
- 入力できる文字は全角で5文字まで、半角で10文字までです。

4 メニューまたは終了を押し、通常画面に戻す

- 入力切換ボタンを押すと、入力切換メニューに「ゲーム」が表示されます。

ゲーム機との接続について

- ゲームの種類の中で、ピストルを使ったシューティングゲームはできません。

i.LINK機器を使う

i.LINK(アイリンク)について

■ i.LINKは、i.LINK端子を持つ機器間で、デジタル映像やデジタル音声などのマルチメディア系のデータ転送や、接続した機器の操作ができるシリアル転送方式のインターフェースで、i.LINKケーブル1本で接続することができます。
i.LINKは、IEEE1394の呼称で、IEEE(米国電子電気技術者協会)によって標準化された国際標準規格です。現在、100Mbps/200Mbps/400Mbpsの転送速度があり、それぞれS100/S200/S400と表示されます。本機では最大400Mbpsの転送が可能です。

本機に接続できるi.LINK機器について

■ 本機が対応しているi.LINK機器

- D-VHSビデオデッキ(D-VHS)
- AV-HDDレコーダー(AV-HDD)
- Blu-ray Discレコーダー(BD)
- HDV方式ハイビジョンビデオカメラ(HDV)

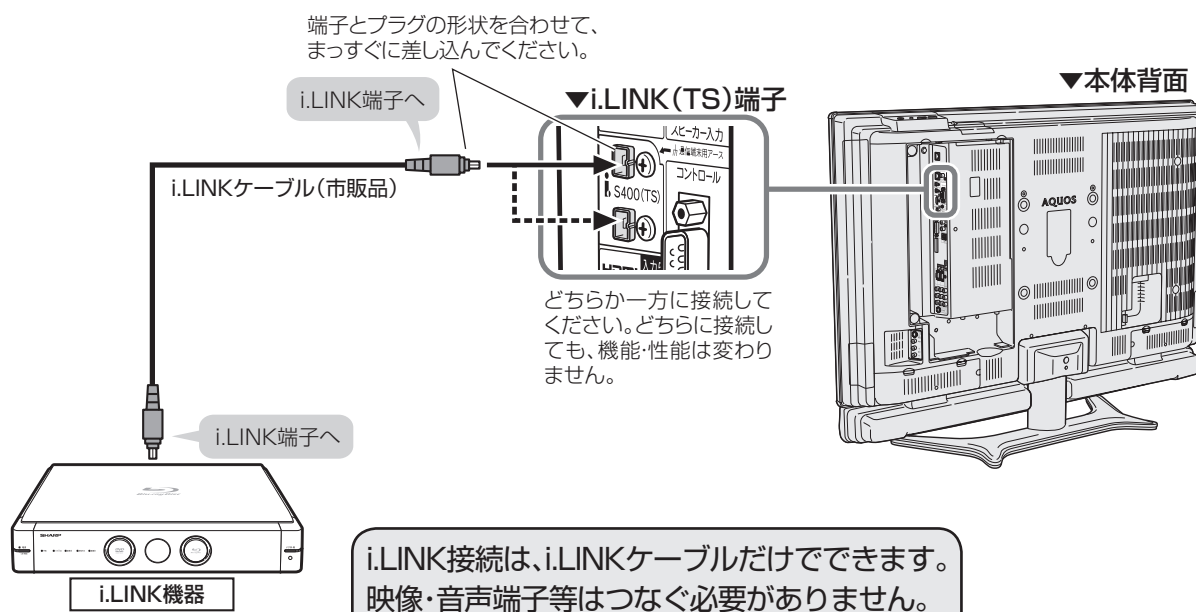
※上記のi.LINK機器でも、機器によっては機器の認識やコントロール、録画や再生ができない場合があります。

※DVDレコーダーやDV機器、PC(パソコン)、PC周辺機器などは、仕様が異なりますので接続できません。

i.LINKで録画できる内容について

■ 本機とi.LINK機器をi.LINK接続して録画できるのは、**デジタル放送のみ**です。それ以外のテレビ(地上アナログ放送)、外部入力(入力1～7)は、i.LINK録画ができません。また、ハイビジョンビデオカメラでは、本機のデジタル放送をi.LINK録画することができません。

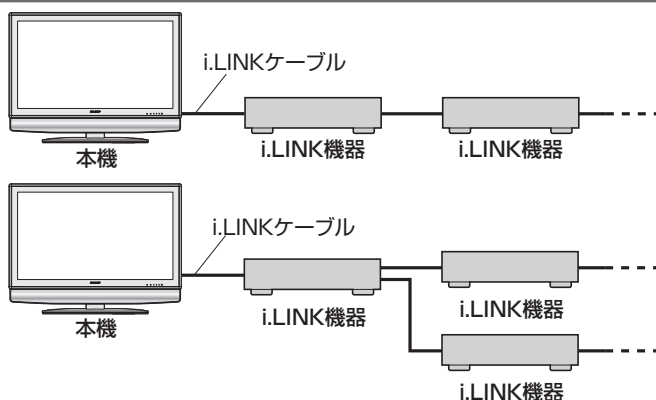
i.LINK接続のしかた

[例] 接続するi.LINK機器が1台の場合

- 接続の際は、「S400」タイプのi.LINKケーブルをご使用ください。

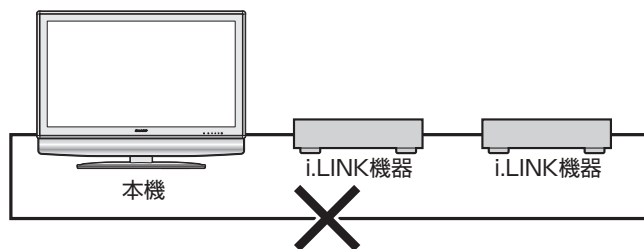
- 1つのレコーダーをi.LINKとHDMIで同時に接続するときは、「i.LINK自動切換」を「しない」にしてください。(**121**ページ)

i.LINK機器(D-VHS/AV-HDD/BD)が2台以上のとき

■ i.LINKケーブルを使い、デイジー・チェーン(数珠つなぎ)で接続します。この接続では、i.LINK機器を最大16台までつなぐことができます。

■ i.LINK端子が3つ以上ある機器の場合は、分岐をしてつなぐこともできます。分岐接続する場合は、i.LINK機器を最大62台までつなぐことができます。

接続に関するご注意

- 一部のi.LINK機器では、その機器の電源が切られているとデータを中継できない場合があります。この場合は、その機器を終端に接続してください。
- 図のようなループ(輪)接続をしないでください。

- i.LINK機能使用中は、使用していないi.LINK機器であっても、ケーブルを抜いたり、電源を切ったりしないでください。映像・音声が乱れることがあります。
- DVDレコーダーやDV機器、PC(パソコン)、PC周辺機器など、本機が対応していない機器を同時に接続していると、誤動作することがあります。
- 接続したi.LINK機器の認識やコントロール、録画・再生が正しくできなくなったときは、i.LINKケーブルの抜き差しを行うことで、復帰する場合があります。
- 複数のi.LINK機器を接続して使用する場合、接続機器の仕様や相互接続性により、動作が安定しない場合があります。この場合、使用していない機器の接続を外したり、接続のしかたを変更すると安定する場合があります。

i.LINK機器を操作するための準備について

i.LINK操作パネルを表示させる

■i.LINK操作パネルからi.LINK機器を操作するための準備です。

1 本機のi.LINK端子にi.LINK機器を接続し、i.LINK機器の電源を入れる

2 本機の電源を入れる

3 (i.LINK)を押して、i.LINK操作パネルを表示する

- 詳しくは123ページの「i.LINK機器の選択」をご覧ください。

i.LINK自動切換を設定する

■i.LINKで接続した録画機器を再生状態にしたとき、自動的に入力が「i.LINK」に切り換わるように設定することができます。

1 メニュー画面から「デジタル設定」ー「i.LINK設定」を選び、(決定)を押す

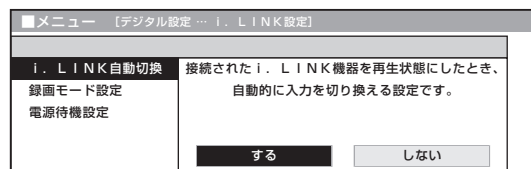
2 (▲▼◀▶)で「i.LINK自動切換」を選び、(決定)を押す

3 (▲▼◀▶)で「する」を選び、(決定)を押す

■メニュー [デジタル設定 … i.LINK設定]

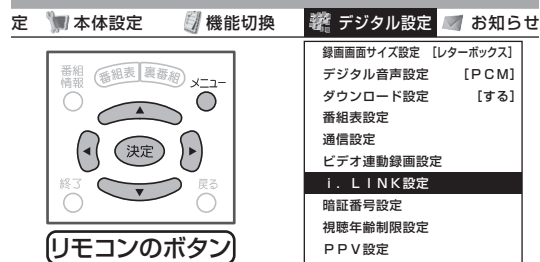
i.LINK自動切換
録画モード設定
電源待機設定

接続されたi.LINK機器を再生状態にしたとき、自動的に入力を切り換える設定です。

する　しない

i.LINK設定について

- 複数のi.LINK機器をi.LINKケーブルで接続した場合、本機の「電源待機設定」を「しない」に設定して電源を待機状態（電源ランプ赤色点灯）にすると、本機を中継して接続されているi.LINK機器間のデータのやりとりができなくなります。本機をi.LINK機器の中間に接続している場合は、本機の「電源待機設定」を「する」に設定するか、下図のように本機をi.LINK機器の末端に接続してください。

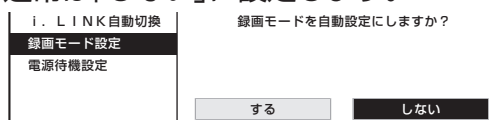
- 現在発売されているi.LINK機器のほとんどは、記録している映像・音声の伝送レートを自動認識し録画モードを制御するため、**本機の「録画モード設定」は通常「しない」に設定してください。**
- i.LINK機器の種類や、i.LINK機器で記録しようとしている放送の内容によっては、本機から録画モードを正常に制御できない場合があります。この場合は、本機の「録画モード設定」を「しない」に設定してください。
- 本機の電源が待機状態（電源ランプ赤色点灯）のときは、外部機器からのi.LINK制御コマンドを受けつけることができません。これは「電源待機設定」を「する」に設定しても同じです。外部機器から本機をi.LINK制御する場合は、本機の電源を「入」（電源ランプ緑色点灯）にしてから行ってください。

1 メニュー画面から「デジタル設定」－「i.LINK設定」を選び、決定を押す

録画モードの設定

- 本機には、録画時にi.LINK機器の録画モードを自動的に制御する機能があり、その機能を有効に「する」か「しない」かを選ぶことができます。

2
① ▲▼で「録画モード設定」を選び、決定を押す

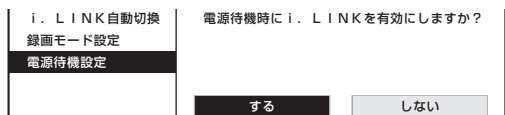
② ◀▶で「する」または「しない」を選び、決定を押す

- 通常は「しない」に設定します。

i.LINK電源待機の設定

- 本機では、i.LINK電源待機の設定により電源待機時の消費電力を少なくすることができます。
- i.LINK機器を接続していない場合は、消費電力が小さくなる「しない」を選択してください。

2
① ▲▼で「電源待機設定」を選び、決定を押す

② ◀▶で「する」または「しない」を選び、決定を押す

「する」……電源待機時にもi.LINK回路を通電し、データの中継ができるようにします。
「しない」…電源待機時の消費電力を少なくします。ただし、データの中継はできません。

操作終了する場合は

メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

- 1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

i.LINK機器の選択と解除について

■ i.LINK機器を選択したり解除するには、機器選択画面から操作を選びます。

i.LINK機器の選択

・本機からi.LINK機器を操作するためには、使用するi.LINK機器を選択する必要があります。
・最大16台のi.LINK機器から、使用する1台を選択できます。
・接続されたi.LINK機器は、自動的に機器選択画面のリストに登録されます。

1 **i.LINK を押し、i.LINK操作パネルを表示する**

・「操作できるi.LINK機器がありません」のメッセージが表示されたときは、i.LINK機器が正しく接続されているか確認してください。(**120**ページ参照)
・i.LINK機器が選択されていないときは、機器選択画面になります。手順**3**に進んでください。

2 **で「機器選択」を選び、決定を押す**

・機器選択画面が表示されます。

現在選択されている機器のマーク

使用する機器を選んでください

	機器名	メーカー	形名
01	D-VHS	○○	○○○○
02	D-VHS	○○	○○○○
03	D-VHS	○○	○○○○
04	BD	○○	○○○○

3 **操作したい機器をで選び、決定を押す**

使用する機器を選んでください

	機器名	メーカー	形名
01	D-VHS	○○	○○○○
02	D-VHS	○○	○○○○
03	D-VHS	○○	○○○○
04	BD	○○	○○○○

・選んだi.LINK機器の操作パネルが表示されます。

i.LINK機器の使用解除

・登録されたi.LINK機器の使用を解除できます。
・i.LINK機器の使用を解除することにより、その機器を別のi.LINK機器から使用できるようになります。

1 **「i.LINK機器の選択」の手順1・2を行う**

2 **で、リストの一番下にある「機器使用解除」を選び、決定を押す**

・i.LINK機器の使用が解除されます。

・本機で使用しているi.LINK機器を他のi.LINK機器で使用するためには、本機の機器選択画面から「機器使用解除」を行ってください。

i.LINK機器の登録削除

・機器選択画面に登録されているi.LINK機器を、リストから削除できます。
・接続されているi.LINK機器は、削除できません。

1 **「i.LINK機器の選択」の手順1・2を行う**

2 **削除したいi.LINK機器をで選び、決定を押す**

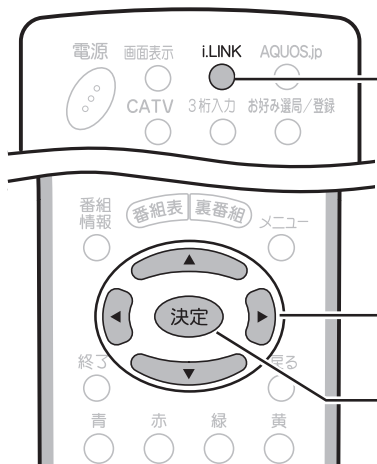
3 **で「削除する」を選び、決定を押す**

• 選んだi.LINK機器がリストから削除されます。
• 削除しないときは、「キャンセル」を選んで決定ボタンを押します。

・本機で認識することができない機器は、機器選択画面のリストに表示されません。
・接続したi.LINK機器によっては、メーカー名や機器名が正しく表示されないことがあります。
接続したi.LINK機器のメーカー名や機器名が正しく表示されない場合は、i.LINKケーブルを抜き、「i.LINK機器の登録削除」の手順により、一度登録されているi.LINK機器を削除してからi.LINKケーブルを接続し直してください。
・機器選択画面のリスト項目に⃠マークがついているi.LINK機器は、本機が対応していない機器であり、使用することができません。

i.LINK機器を使う（つづき）

i.LINK機器の操作のしかた

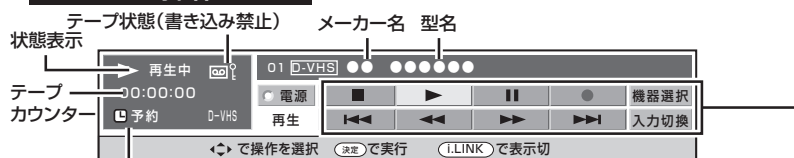
基本操作

■ i.LINKに対応した録画機器の操作ができます。画面にi.LINK操作パネルを表示させ、パネル上のボタンで操作します。
■ 操作を始める前に、**122**･**123**ページの設定を済ませておいてください。
■ 本機で操作するi.LINK機器の取扱説明書をあらかじめご覧ください。

1　i.LINKボタンを押し、i.LINK操作パネルを表示する
• 操作パネルを終了するときも、このボタンを押します。

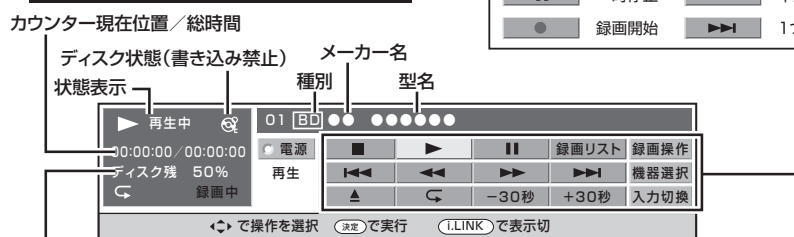
2　操作したい機能をカーソルボタンで選ぶ

3　決定ボタンを押し、選んだ機能を実行する

i.LINK操作パネルの見かた

D-VHSの操作パネル

▼操作ボタンの機能

■	停止	◀◀◀	1つ前に戻って頭出し	機器選択	機器選択画面へ
▶	再生	◀◀	巻戻し	入力切換	入力切換え i.LINK入力とその前の画面（テレビまたは外部入力）との切換えに使用します。
❚❚	一時停止	▶▶	早送り		
●	録画開始	▶▶▶	1つ先に進んで頭出し	電源	電源の入／切

AV-HDD･BDの操作パネル

▼操作ボタンの機能

■	停止	◀◀◀	1つ前に戻って頭出し	▲	イジェクト（BDの場合のみ、AV-HDDは非表示）	機器選択	機器選択画面へ
▶	再生	◀◀	巻戻し再生（押すごとに早さが変わります）	↻	リピート設定（リピート状態では再生状態のときに1つの番組を繰り返し再生します）	入力切換	入力切換え i.LINK入力とその前の画面（テレビまたは外部入力）との切換えに使用します。
❚❚	一時停止	▶▶	早送り再生（押すごとに早さが変わります）	−30秒	30秒後戻し	録画操作	録画操作パネルへ
録画リスト	録画リスト画面へ	▶▶▶	1つ先に進んで頭出し	+30秒	30秒先送り	電源	電源の入／切

録画中表示:録画中の再生操作パネルで表示されます。

• IEEE1394は、米国電子電気技術者協会（IEEE）によって標準化された国際標準規格です。
• i.LINK（アイリンク）とi.LINKロゴは、ソニー株式会社の登録商標です。
• 著作権保護に対応したi.LINK対応機器には、デジタルデータのコピー･プロテクション技術が採用されています。この技術は、DTLA（The Digital Transmission Licensing Administrator）というデジタル伝送における著作権保護技術の管理運用団体から許可を受けているものです。このDTLAのコピー･プロテクション技術を搭載している機器間では、コピーが制限されている映像、音声、データにおいて、i.LINKでのデジタルコピーができない場合があります。また、DTLAのコピー･プロテクション技術を搭載している機器と搭載していない機器との間では、映像、音声、データのやりとりができない場合があります。

D-VHSビデオで録画・再生する

デジタル放送を録画する

■ 以下の操作をする前に、**122**･**123**ページの設定を済ませてください。

■ 本機で操作するi.LINK機器の取扱説明書をあらかじめご覧ください。

1 **録画したいデジタル放送の番組を選局する**

2 **i.LINK を押し、i.LINK操作パネルを表示する**

3 **で ● (録画ボタン)を選び、決定を押す**

・録画が開始します。

・録画を止めるときは、■(停止ボタン)を選んで決定ボタンを押します。

・録画中は、リモコンまたは本体天面の入力切換ボタンで「i.LINK」を選ぶことはできません。

録画した番組を再生する

1 **i.LINK を押し、i.LINK操作パネルを表示する**

2 **開始地点まで巻き戻し、で ▶ (再生ボタン)を選び、決定を押す**

・再生が開始します。

・再生中に特殊再生するときは、▶▶(早送りボタン)、◀◀(巻戻しボタン)、❚❚(一時停止ボタン)を選び、決定ボタンを押します。

・停止するときは、■(停止ボタン)を選んで決定ボタンを押します。

デジタル放送をi.LINKで録画予約したい場合は、**94**･**95**ページをあわせてご覧ください。

おしらせ

D-VHSビデオデッキの録画、再生について

・D-VHSビデオデッキによっては、本機のi.LINK操作パネル上の操作ボタンで操作できなかったり、D-VHSビデオデッキが再生している映像･音声を視聴することができない場合があります。

・D-VHSビデオデッキによっては、VHSテープやS-VHSテープ、またはアナログで記録されているD-VHSテープの再生映像･音声を本機のi.LINK入力で視聴することができない場合があります。この場合は、D-VHSビデオデッキのアナログ出力を本機のアナログ外部入力(入力1～4)に接続し、本機を外部入力に切り換えてから視聴してください。

・D-VHSビデオデッキのタイマー録画予約中に本機のi.LINK操作パネルで操作すると、タイマー録画予約に失敗することがありますので、D-VHSビデオデッキのタイマー録画予約中はi.LINK操作パネルを操作しないでください。

・本機のi.LINK操作パネルの録画ボタンによる録画では、本機が受信しているデジタル放送の映像･音声がD-VHSビデオデッキに記録されます。

・本機で受信しているデジタル放送の映像･音声をD-VHSビデオデッキで記録するときは、D-VHSテープを使用してください。VHSテープやS-VHSテープでは記録することができません。

・番組の内容によっては、D-VHSビデオデッキで録画･録音ができない場合があります。

・使用しているD-VHSビデオデッキによっては、特殊再生時(送り再生や戻し再生など)に、映像･音声が出なかったり、映像の品位が悪くなる場合があります。

ハイビジョンビデオカメラで撮影・再生する

ハイビジョンビデオカメラの映像・音声をAQUOSで楽しむ

■ HDV方式のハイビジョンビデオカメラには、「HDVフォーマット」の信号だけでなく、「DVフォーマット」の信号も扱えるものがあります。本機で視聴することができる信号は「HDVフォーマット」で撮影された信号のみです。

本機に接続したハイビジョンビデオカメラの操作パネル

ハイビジョンビデオカメラをビデオモードにしたときの操作パネル

ハイビジョンビデオカメラをカメラモードにしたときの操作パネル

・操作できるボタンは接続している機器により異なります。ボタンが表示されていても、操作できない場合があります。
・ビデオモードとカメラモードの切換えは、ハイビジョンビデオカメラ側の操作により行います。

操作ボタンの機能

■ 停止	▶ 再生	❚❚ 一時停止
◀◀ 巻戻し	▶▶ 早送り	● 撮影

※ **入力切換ボタンについて**

・i.LINK操作パネルの入力切換ボタンは、i.LINK入力とその前の画面（テレビまたは外部入力）との切り換えを行います。

i.LINK自動切換を「する」に設定している場合は、

・ハイビジョンビデオカメラを選択した状態で再生を開始すると自動的にi.LINK入力になります。
・ハイビジョンビデオカメラを選択した状態でハイビジョンビデオカメラをカメラモードに切り換えると、自動的にi.LINK入力になります。

※ **撮影ボタンについて**

・i.LINK操作パネルの撮影ボタンは、ハイビジョンビデオカメラのカメラで映している映像・音声の撮影（録画）を開始します。
・本機でテレビや外部入力を視聴しているときは、撮影ボタンは無効になります。

- 本機で受信している放送または外部入力をハイビジョンビデオカメラで録画することはできません。
- 電子番組表（EPG）から録画予約するとき、ハイビジョンビデオカメラを録画連動機器として選択することはできません。
- ハイビジョンビデオカメラが「DV互換モード」に設定されていると、i.LINK機器選択の画面（**123**ページ）でハイビジョンビデオカメラを選択することができません。詳しくはハイビジョンビデオカメラの取扱説明書をご覧ください。
- i.LINK操作パネルでハイビジョンビデオカメラの電源操作はできません。
- ハイビジョンビデオカメラの電源が「切」のときは、本機からハイビジョンビデオカメラの操作はできません。

再生する

■ ハイビジョンビデオカメラを本機とi.LINK接続し、本機から操作して再生する手順です。

1 ① **ハイビジョンビデオカメラを本機に接続する**
② **ハイビジョンビデオカメラを「ビデオモード」にする**

- ハイビジョンビデオカメラが「カメラモード」になっていると、ハイビジョンビデオカメラの映像を本機で見ることができません。

2 **リモコンの(i.LINK)を押し、i.LINK操作パネルを表示する**

3 **(方向ボタン)でi.LINK操作パネル上の［▶］(再生ボタン)を選び、(決定)を押す**

- 再生が始まります。
- 再生中に特殊再生するときは、［▶▶］(早送りボタン)、［◀◀］(巻戻しボタン)、［❚❚］(一時停止ボタン)を選んで、(決定)を押します。
- 停止するときは、［■］(停止ボタン)を選んで(決定)を押します。

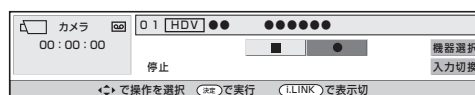
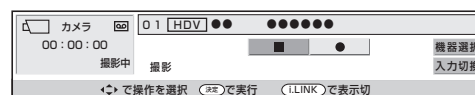
- 「DVフォーマット」で撮影された信号は、本機で視聴することができません。
- 「HDVフォーマット」と「DVフォーマット」が混在したテープを使用した場合などにDVフォーマットの信号が本機に入力されることがあります。この場合、「この信号を本機で再生することはできません。HDV機器の設定を確認してください。」というメッセージが表示されます。
- 本機からハイビジョンビデオカメラの頭出し操作はできません。

撮影する

■ ハイビジョンビデオカメラを本機とi.LINK接続し、本機から操作して撮影する手順です。

1 ① **ハイビジョンビデオカメラを本機に接続する**
② **ハイビジョンビデオカメラを「カメラモード」にする**

- ハイビジョンビデオカメラを「ビデオモード」から「カメラモード」に切り換えると、自動的にi.LINK入力に切り換わります。

2 **リモコンの(i.LINK)を押し、i.LINK操作パネルを表示する**

3 **(方向ボタン)でi.LINK操作パネル上の［●］(撮影ボタン)を選び、(決定)を押す**

- 撮影が始まります。
- 停止するときは、［■］(停止ボタン)を選んで(決定)を押します。

- ハイビジョンビデオカメラによっては、静止画を記録する機能として「フォトモード」を備えたものがあります。ハイビジョンビデオカメラが「フォトモード」になっていると、本機のi.LINK操作パネルでハイビジョンビデオカメラを操作することができません。詳しくはハイビジョンビデオカメラの取扱説明書をご覧ください。
- ハイビジョンビデオカメラによっては、カメラモードで撮影していない状態のまましばらく放置すると、自動的に待機状態に移行し、i.LINKからの制御を受け付けなくなる機器があります。この場合、本機のi.LINK操作パネルでハイビジョンビデオカメラを操作することはできませんので、ハイビジョンビデオカメラ本体を直接操作してください。
- 本機で受信している放送または外部入力をハイビジョンビデオカメラで録画することはできません。

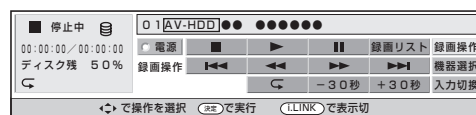
AV-HDDやBlu-ray Discレコーダーで録画・再生する

デジタル放送を録画する

- AV-HDDやBlu-ray Discレコーダーでデジタル放送を録画・再生するための手順です。
- 以下の操作をする前に、**122**・**123**ページの設定を済ませてください。
- 本機で操作するi.LINK機器の取扱説明書をあらかじめご覧ください。

1 **録画したいデジタル放送の番組を選局する**

2 **i.LINKを押し、i.LINK操作パネルを表示する**

3 **で 録画操作 (録画操作ボタン)を選び、決定を押す**

4 **で ● (録画ボタン)を選び、決定を押す**

・録画が開始します。

・録画を止めるときは、録画停止(録画停止ボタン)を選んで決定ボタンを押します。

録画した番組を再生する

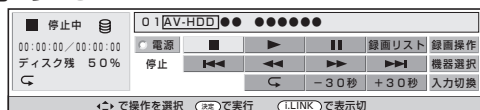
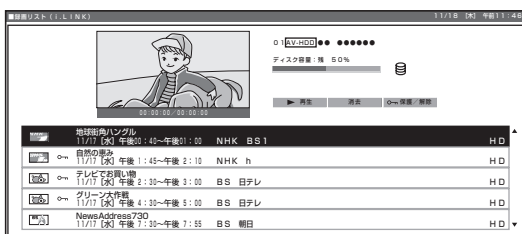
・ディスク機器の場合、録画が終了すると録画リストが作成されますので、複数の録画番組から再生したい番組を選ぶことができます。(**129**ページ)

デジタル放送を i.LINK で録画予約したい場合は、**94**・**95** ページをあわせてご覧ください。

録画した番組を再生する

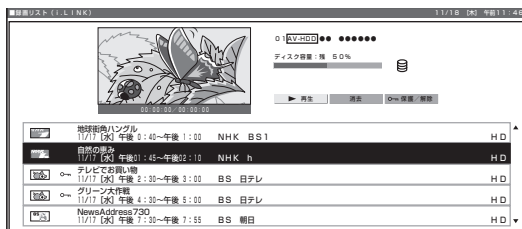
■ ディスク機器の場合、録画リストから再生する番組を選ぶことができます。

1 i.LINK を押し、i.LINK操作パネルを表示する

■ 停止中
00:00:00／00:00:00
ディスク残 50%
01 AV-HDD ●● ●●●●●●
電源 ■ ▶ ❚❚ 録画リスト 録画操作
停止 ⏮ ◀◀ ▶▶ ⏭ 機器選択
−30秒 ＋30秒 入力切換
で操作を選択 決定で実行 i.LINKで表示切

2 で 録画リスト（録画リストボタン）を選び、決定を押す

・録画リストが表示されます。
・録画中は、i.LINK操作パネルの録画リストボタンを操作できません。録画リストボタンの操作は、録画を停止してから行ってください。

3 ① で再生したいタイトルを選び、決定を押す

② で「再生」を選び、決定を押す

③「先頭から再生」または「続きから再生」を選び、決定を押す

・再生中に特殊再生するときは、▶▶（早送りボタン）、◀◀（巻戻しボタン）、❚❚（一時停止ボタン）を選び、決定ボタンを押します。
・停止するときは、■（停止ボタン）を選んで決定ボタンを押します。

おしらせ

AV-HDDレコーダー（i.LINK）の録画、再生について

- AV-HDDレコーダーによっては、本機のi.LINK操作パネル上の操作ボタンで操作できなかったり、AV-HDDレコーダーが再生している映像・音声を視聴できない場合があります。
- 本機のi.LINK操作パネルの録画ボタンによる録画では、本機が受信しているデジタル放送の映像・音声がAV-HDDレコーダーに記録されます。
- 番組の内容によっては、AV-HDDレコーダーで録画・録音ができない場合があります。
- AV-HDDレコーダーによっては、特殊再生時（送り再生や戻し再生）に、映像・音声が出なかったり、映像の品位が悪くなる場合があります。
- AV-HDDレコーダーによっては、録画中の再生、および録画中の録画リスト画面の表示などの機能を操作できない場合があります。
- AV-HDDレコーダーによっては、他のi.LINK機器に切り換えたときに自動的に再生を停止する場合があります。
- AV-HDDレコーダーによっては、機器の動作モードがD-VHSモードのとき、AV-HDDレコーダーはD-VHSビデオデッキとして認識されます。

Blu-ray Discレコーダー（i.LINK）の録画、再生について

- Blu-ray Discレコーダーによっては本機のi.LINK操作パネル上の操作ボタンで操作できなかったり、Blu-ray Discレコーダーが再生している映像・音声を視聴できない場合があります。
- 本機のi.LINK操作パネルの録画ボタンによる録画では、本機が受信しているデジタル放送の映像・音声がBlu-ray Discレコーダーに記録されます。
- 番組の内容によっては、Blu-ray Discレコーダーに録画・録音ができない場合があります。
- Blu-ray Discレコーダーによっては、特殊再生時（送り再生や戻し再生）に、映像・音声が出なかったり、映像の品位が悪くなる場合があります。
- Blu-ray Discレコーダーによっては、録画中の再生、および録画中の録画リスト画面の表示などの機能を操作できない場合があります。
- Blu-ray Discレコーダーによっては、他のi.LINK機器に切り換えたときに自動的に再生を停止する場合があります。
- Blu-ray Discレコーダーが搭載しているチューナーやアナログ外部入力をBlu-ray Discレコーダー単体で記録した場合、Blu-ray Discレコーダーの設定によっては、音声がAC3フォーマットで記録されることがあります。本機はAC3フォーマットに対応していないため、このようなコンテンツを本機とi.LINK接続して再生した場合、音声が出力されません。

AV-HDDやBlu-ray Discレコーダーで録画・再生する（つづき）

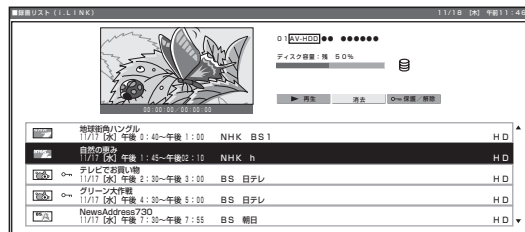
録画した番組の消去・保護について

■ 録画リストから録画番組の保護や消去の操作ができます。

録画した番組を消去する

1 **129ページの手順1・2を行い、録画リストを表示する**

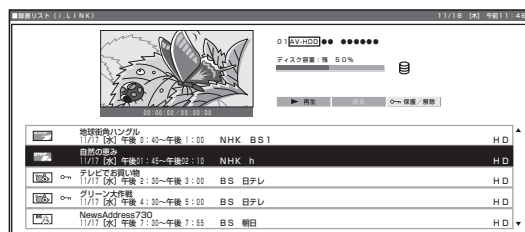
2 **で消去する番組を選び、決定を押す**

3 **で「消去」を選び、決定を押す**

4 **で「消去する」を選び、決定を押す**

録画した番組を保護する

1 **129ページの手順1・2を行い、録画リストを表示する**

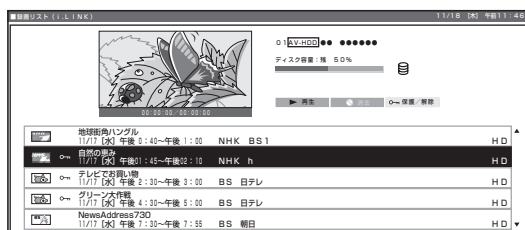
2 **で消去禁止（保護）する番組を選び、決定を押す**

3 **で「保護／解除」を選び、決定を押す**

・選んだタイトルに鍵マークが表示され、消去禁止（保護）されたことが分かります。

保護を解除する

1 **129ページの手順1・2を行い、録画リストを表示する**

2 **鍵マークのあるタイトルを選び、決定を押す**

3 **◀▶で「保護／解除」を選び、決定を押す**

- 選んだタイトルの鍵マーク表示が消え、保護が解除されたことが分かります。

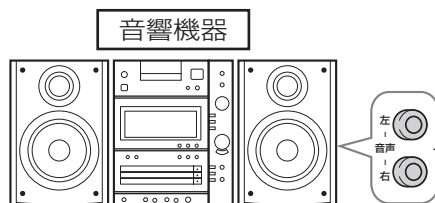
録画リストについて

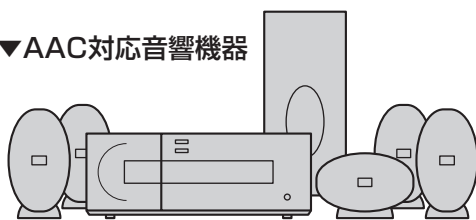
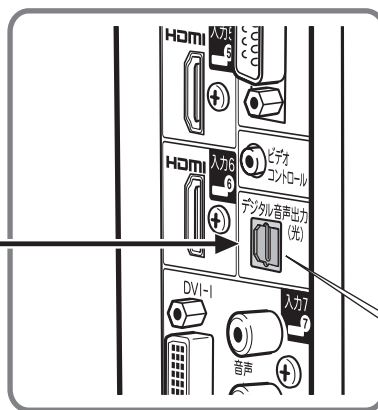
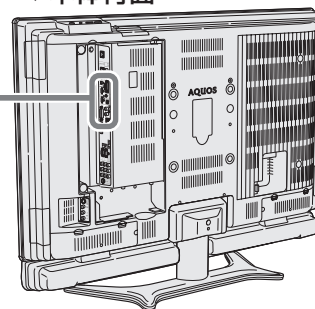
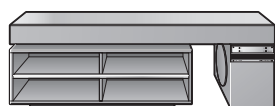
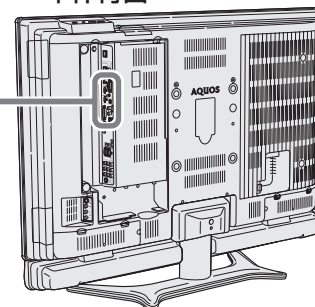
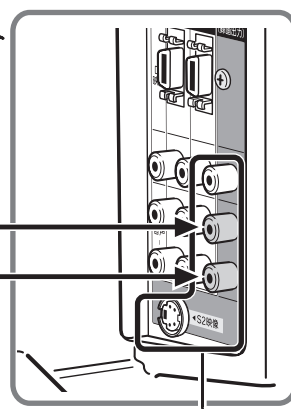
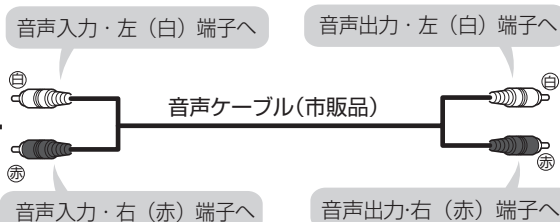
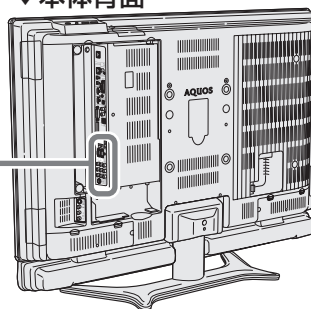
- 接続している機器によっては、再生小画面にカーソルで選択している番組の映像･音声が表示されない場合があります。
- 接続している機器によっては、録画中に録画リストを表示したとき、録画を停止する場合があります。
- タイトルに表示されている番組情報（番組名や日時）は、録画開始した時点の放送の番組情報から取得して記録したものを表示しています。
- 複数の番組を続けて録画した場合には、最初に録画開始した時点の番組情報が表示されます。
- 録画リストに表示される再生小画面では、データ放送の操作、字幕の表示はできません。
- 選局直後に録画開始した場合、タイトルの番組情報が記録されない場合があります。
- 他の機器で録画した番組の場合、タイトルの番組情報が正しく表示されない場合があります。
- 録画中のタイトルには、録画中マーク「●」（赤丸）が表示されます。
- 本機には、録画したタイトルを編集する機能はありません。
- Blu-ray Discレコーダーによっては、録画したタイトルを編集する機能があり、編集されたタイトルには、プレイリストマーク「★」が表示されます。（編集されたタイトルは、「プレイリスト」と呼ばれます。）
- プレイリストの場合、本機による消去と保護／解除ができません。

音響機器をつないで音声を楽しむ

アナログ音声の音響機器を接続する

■ 本体背面のモニター出力／入力4／（録画出力）端子（「モニター出力（固定または可変）」に設定時）は、録画機器をつなぐ使いかた（**110**ページ参照）以外に、お手持ちの音響機器をつないで音声を楽しむなどの使いかたができます。

- 接続する機器の取扱説明書を併せてお読みください。
- モニター出力の音声端子（「モニター出力」に設定時）から出力される音声の出力レベルを「固定」にするか「可変」にするか選択することができます。操作のしかたなど、詳しくは**116**ページをご覧ください。

デジタル音声（光）の音響機器を接続する

■ 本機のデジタル音声出力（光）端子は、MPEG2 AAC音声フォーマットを出力することができます。AAC対応の音響機器を接続すると、サラウンド放送の番組を迫力ある音声で楽しめます。

■ HDMIコントロール対応のAVアンプ（AQUOSサラウンド）をHDMIケーブルとデジタル音声ケーブルで接続すると、HDMIコントロール機能で操作できます。（**165**ページ）

デジタル音声出力（光）端子の設定について

■ 本機背面のデジタル音声出力（光）端子の出力信号形式を、接続する音響機器に合わせて選択できます。

- 接続する機器がAAC／PCMの自動切換えに対応していない場合は、機器側の設定を手動で切り換えてください。
- 「AAC」に設定した場合でも、地上アナログ放送（VHF、UHF）やCATV放送の音声、ビデオ入力の音声は、「PCM」で出力されます。
- 「AAC」に設定した場合、字幕放送や一部のデータ放送の音声が出力されません。

- 詳しくは、接続する音響機器の取扱説明書をご覧ください。
- 接続する前に本機と音響機器の電源を切ってください。
- 本機では通常、デジタル音声出力の内容はスピーカー音声出力の内容と同じです。
- テレビの電源が切れている場合は、デジタル音声出力（光）端子からは出力されません。

1 メニュー画面から「デジタル設定」ー「デジタル音声設定」を選び、決定を押す

2 接続する機器に合わせて「PCM」または「AAC」を▲▼で選び、決定を押す

「PCM」… 音声AACに対応していない音響機器に接続するとき
視聴音声と同じもの（主、副、または主／副）が出力されます。

「AAC」… 音声AAC対応のAVアンプなどに接続するとき
主と副の両方の音声（主／副）が同時に出力されます。

操作終了する場合は

メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

- 1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

録画や再生などの機器の接続

音響機器をつないで音声を楽しむ

外部スピーカーから音が出るようにする

■ ここでは、本機に外部スピーカーを接続し、外部スピーカーから音を出す方法を説明します。

1 本体天面の電源スイッチを押し、電源を「切」にする

2 本機の専用スピーカーケーブルを外す

• 外部スピーカーとの同時使用はできません。

3 外部スピーカーのケーブルを本機に接続する

▼本体背面

接続する外部スピーカーについて

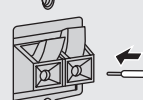
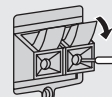
インピーダンス:4Ω	入力:15W以上

• 上記の仕様のスピーカーを接続してください。
• 同じ仕様のスピーカーがないときは、インピーダンス4Ω以上、入力15W以上のスピーカーを接続してください。

• インピーダンスが4Ω未満のスピーカーは接続しないでください。本機が故障する原因となります。
• 定格入力15W未満のスピーカーは接続しないでください。スピーカーが故障する原因になります。
• 4Ω以上のスピーカーでは、同じ音量でも小さな音で聞こえる原因になります。（6Ω時は最大出力10W相当、8Ω時は最大出力7.5W相当になります。）

スピーカーケーブルのつなぎかた

① ツマミを押す

② ツマミを押したまま、ケーブルの先端を穴に差し込む

③ ツマミをもとの位置に戻す

• スピーカー接続端子とスピーカーケーブルには⊕（プラス）と⊖（マイナス）があります。接続するときは、それぞれ⊕（プラス）どうし、⊖（マイナス）どうしをつないでください。
• スピーカーリードは接続端子の穴に対してまっすぐに挿入されるようご注意ください。リード線先端の金属部が端子の金属部に確実に接触するよう差し込んでください。

4 スピーカーの設定をする

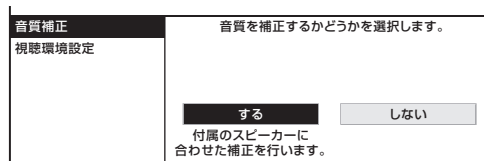
① **本体天面の電源スイッチを押し、電源を「入」にする**

② **メニュー画面から「本体設定」－「スピーカー設定」を選び、決定を押す**

③ **▲▼で「音質補正」を選び、決定を押す**

④ **◀▶で「しない」を選び、決定を押す**

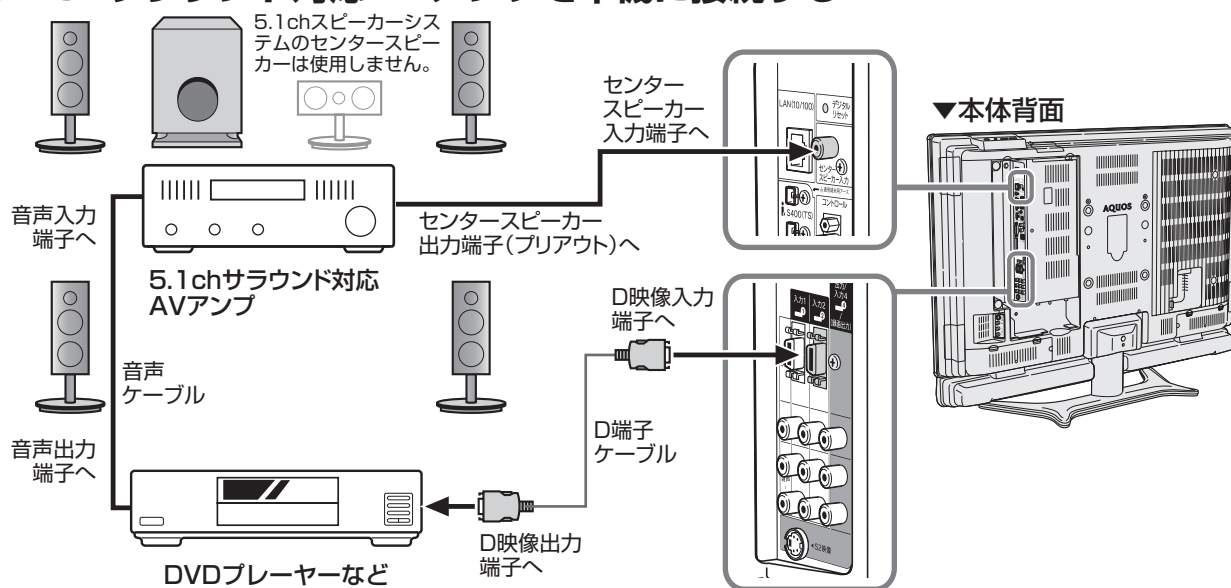
• 音質補正を行わず、フラットな出力を行います。
• 「する」に設定すると、付属のスピーカーに適した音質補正を行います。

• スピーカーを接続したあと、「音声の出力を停止しました。電源コードを抜いてから、接続や設置状態を確認してください。」と表示されたときは、表示にしたがって一度電源を切ってから接続を確認し、再度電源を入れてください。

本機を5.1chサラウンド対応AVアンプのセンタースピーカーとして使う

■ 本機に内蔵している音声アンプとスピーカーを5.1chサラウンド対応AVアンプのセンター音声用として使用することができます。5.1chサラウンドスピーカーと合わせて、DVDなどを臨場感あふれる音で再生することができます。

- 接続する前に、必ず接続する機器の電源を切ってください。
- 接続できる5.1chサラウンド対応AVアンプは、センター出力端子（プリアウト）を持っている機器のみです。また、接続について詳しくは、各機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

1 本体天面の電源スイッチを押し、電源を「切」にする

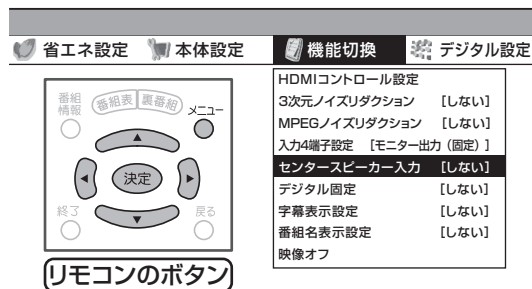
2 5.1chサラウンド対応AVアンプを本機に接続する

- 本機で受信したサラウンド放送をAAC対応の音響機器で楽しむ場合には、「デジタル音声（光）の音響機器を接続する」（**132**ページ）の接続も必要です。

3 センタースピーカー入力の設定をする

① 本体天面の電源スイッチを押し、電源を「入」にする

② メニュー画面から「機能切換」－「センタースピーカー入力」を選び、決定を押す

③ ◀▶で「する」を選び、決定を押す

おしらせ

センタースピーカー入力を「する」に設定すると

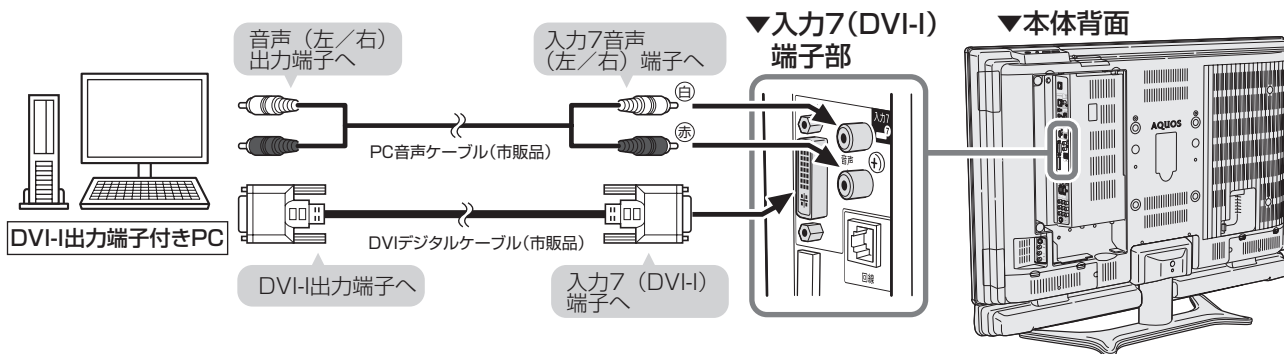
- チャンネルサインの下に「センタースピーカー」と表示されます。

- 音量表示に「センタースピーカー」と表示されます。

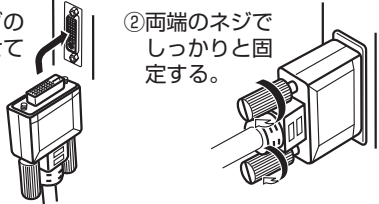
PC(パソコン)の画面を表示する

接続について

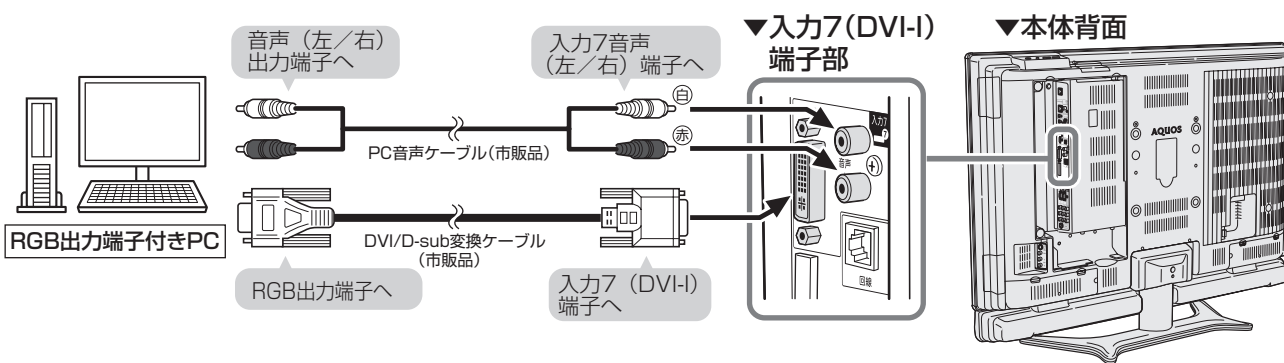
DVI-I出力端子付きPCとの接続(デジタル接続)

■ DVI-I出力端子付きPCの画像と音声を入力します。

DVIデジタルケーブルの取扱いについて

①端子とプラグの形状を合わせて差し込む。

②両端のネジでしっかりと固定する。

- 本機のDVI-I端子はHDCP(コピープロテクト機能)に対応しています。

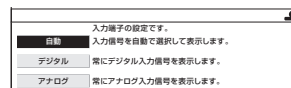
RGB出力端子付きPCとの接続(アナログ接続)

■ RGB出力端子付きPCの画像と音声を入力します。

入力7に接続した機器に合わせて端子を設定する

- PC接続時の入力対応信号については、**137**ページの「PC入力対応表」をご覧ください。
- 対応された信号で正しく表示されない場合は、右の手順に従い、接続した信号に合わせて、入力7を「アナログ」または「デジタル」に設定してください。通常は「自動」のままでかまいません。

① 入力切換 を押し、「入力7」を選ぶ

②メニュー画面から「機能切換」ー「入力選択」を選び、決定を押す

③ ▲▼ で「入力7」に接続した機器を選び、決定を押す

PC入力対応表

■ 本機が対応しているPC入力です。

解像度		水平周波数(kHz)	垂直周波数(Hz)	VESA規格
VGA	720×400	31.5	70	
	640×480	31.5	60	○
		37.9	72	○
		37.5	75	○
SVGA	800×600	35.1	56	○
		37.9	60	○
		48.1	72	○
		46.9	75	○
XGA	1024×768	48.4	60	○
		56.5	70	○
		60	75	○
WXGA	1360×768	47.7	60	○
SXGA	1280×1024	64	60	○
※SXGA+	1400×1050	65	60	○

※ デジタル入力信号時のみ表示可能

- PC接続時の表示設定は、自動同期調整で最良に近い状態に設定されます。（自動同期調整……**139**ページ参照）
- PC入力信号により、選べる画面サイズが異なる場合があります。画面サイズの種類については、**138**ページ「**PC入力の画面サイズの種類と切換えについて**」をご覧ください。

入力解像度の選択について

■ PC入力時、入力信号によっては画面が正しく表示されない（縦横比が正しく表示されない、一部が切れるなどの）場合があります。この場合、入力解像度を手動で選択してください。

■ 入力された信号が下記の解像度の場合は自動的に判別ができません。このときは、「入力解像度」の設定で、どの信号（解像度）として表示するかを手動で選択します。一度選択すると、それ以降、同じ信号が入力されたとき、最後に選択した信号（解像度）として表示します。

1024×768　1360×768

※ 垂直ライン数（非表示期間を含む）が特殊な一部の信号の場合は、解像度を正しく判別できないことがあります。

1 入力切換 をくり返し押し、入力7（PC入力）にする

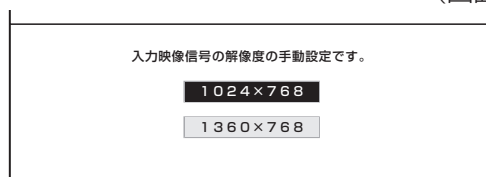
2 メニュー画面から「本体設定」ー「入力解像度」を選び、決定 を押す

3 で入力解像度を選び、決定 を押す

（画面例）

入力映像信号の解像度の手動設定です。

1024×768

1360×768

操作終了する場合は

メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

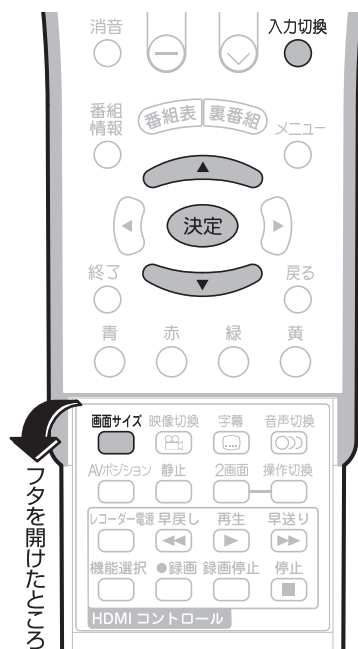
- 1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

PC入力の画面サイズの種類と切換えについて

■ PC(パソコン)を接続しているときの画面サイズの種類と切換え方法です。

Dot by Dot(ドット・バイ・ドット)とは

・接続したPC(パソコン)からの入力信号の解像度どおりのパネル画素数で表示する機能です。(**137**ページ「PC入力対応表」参照)

・縦横比16:9の映像が入力されたときの表示サイズについては、**「入力解像度の選択について」**(**137**ページ)をご参照ください。

● 操作を行う前に、本機とPC(パソコン)を接続しておいてください。(**136**ページ参照)

1 **入力切換を押し、入力7(PC入力)を選ぶ**

2 **画面サイズを押し、画面サイズ切換メニューを表示する**

・メニュー表示中につぎの操作を行います。

3 **画面サイズまたは◀▶で、お好みの画面サイズを選び、決定を押す**

画面サイズ切換
ノーマル
シネマ
フル
Dot by Dot

■つぎの画面サイズから選択できます。(入力信号により、選べる画面サイズが異なる場合があります。)

入力信号	ノーマル	シネマ	フル	Dot by Dot
4:3映像 640×480、800×600 1024×768 1280×1024など	入力信号の縦横比をくずさずに、図のように映します。	入力信号の縦横比をくずさずに、画面の左右いっぱいまで拡大して映します。映像の上下が切れます。	画面いっぱいに映します。	入力信号の解像度どおりのパネル画素数で映します。
16:9映像 1360×768など	入力信号の縦横比をくずさずに、図のように映します。		画面いっぱいに映します。	入力信号の解像度どおりのパネル画素数で映します。

自動同期調整で最適な画面にする

■「自動同期調整」は、PC（パソコン）をアナログ接続しているときにメニューで選ぶことができます。

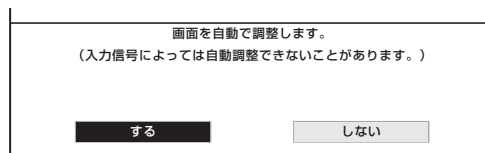
「自動同期調整」とは

・最適なコンピューター画面表示を得るための調整機能です。自動的にクロック周波数、クロック位相などが調整されます。

● 操作を行う前に、本機とPC（パソコン）を接続しておいてください。（**136**ページ参照）

1 入力切換を押し、入力7（PC入力）を選ぶ

2 メニュー画面から「本体設定」ー「自動同期調整」を選び、決定を押す

3 ◀▶で「する」を選び、決定を押す

• 「自動同期調整中」が表示され、自動同期調整が実行されます。
• 自動調整が終了すると、「映像を調整しました。」と表示されます。
正常に終了しないと、何も表示されずメニューに戻ります。

操作終了する場合は

メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

• 1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

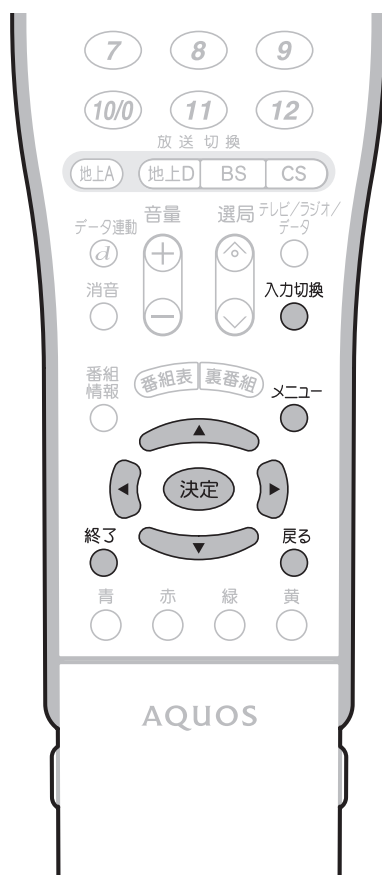
• つぎのような映像信号では自動調整により最適な画面にならないことがあります。
－動きのある映像
－画面全体が1色になっているなど、起伏の少ない映像
• 映像信号、PCによっては自動調整だけでは最適な画面にならないことがあります。その場合は、手動で調整してください。（**140**ページ参照）
• 入力信号によっては、入力解像度を手動で選択する必要がある場合があります。（**137**ページ参照）

手動で最適な画面に調整する

■「画面調整」は、PCを接続しているときにメニューで選ぶことができます。

「画面調整」とは

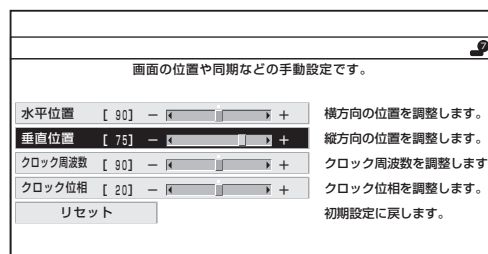
- コンピューター画面の表示位置や映り具合を最適化するための機能で、つぎの調整項目があります。
  「水平位置」…… 画像が右寄り、または左寄りの状態にあるときに調整します。
  「垂直位置」…… 画像が上がり過ぎ、または下がり過ぎの状態にあるときに調整します。
  「クロック周波数」… 縦じま状のチラツキがあるときに調整します。※
  「クロック位相」… 文字などを表示したときに、映像のチラツキが出たり、コントラストがつかないときに調整します。※

※「クロック周波数」、「クロック位相」は、PCからアナログ信号を入力している場合のみ設定できます。

工場出荷時の設定に戻したいとき
- 手順**3**の①で「リセット」を選び、決定ボタンを押します。

［例］ 画面の垂直位置を調整する

1 ① **本機とPC(パソコン)の接続を確認する(136ページ参照)**
② **入力切換 を押し、入力7(PC入力)を選ぶ**

2 **メニュー画面から「本体設定」ー「画面調整」を選び、決定 を押す**

3 ① **▲▼ で「垂直位置」を選ぶ**
② **◀▶ で適切な位置に調整する**

各項目の調整範囲

水平位置	0 ～ 180
垂直位置	0 ～ 100
クロック周波数	0 ～ 180
クロック位相	0 ～ 40

操作終了する場合は

メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す
- 1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

省エネ機能を設定する

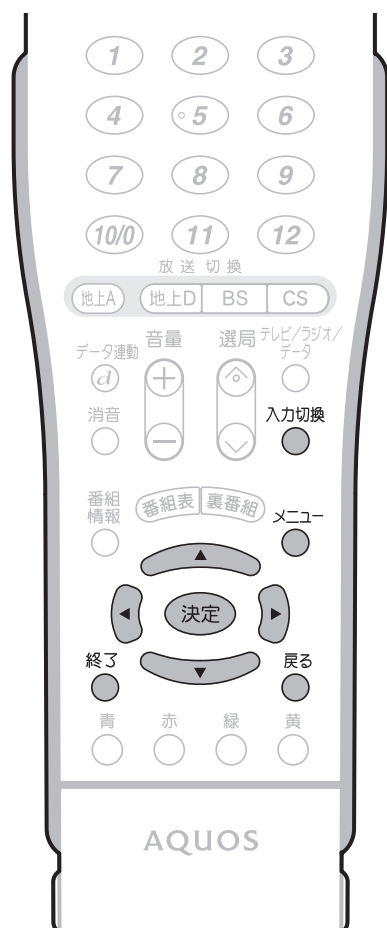
■ PC入力のとき、映像信号がなくなってからしばらくすると自動的に電源が切れるように設定することができます。(パワーマネージメント)

※「パワーマネージメント」は、入力7を選択しているときに選ぶことができます。

しない
パワーマネージメントを行いません。

モード1
無信号になったとき、約8分後に自動的に電源が切れる機能です。
電源が切れる5分前から、画面左下に残り時間が表示されます。

パワーマネージメント　残り　5分

モード2
無信号の状態が8秒続くと、自動的に電源が切れる機能です。
この機能で電源が切れたときは、PCの映像信号が入力されると電源が入ります。

［例］ パワーマネージメントを「モード1」に設定する

1 ① **本機とPC(パソコン)の接続を確認する(136ページ参照)**
② 入力切換 **を押し、入力7(PC入力)を選ぶ**

2 **メニュー画面から「省エネ設定」ー「パワーマネージメント」を選び、** 決定 **を押す**

3 決定 **で「モード1」を選び、** 決定 **を押す**

操作終了する場合は

メニュー **または** 終了 **を押し、通常画面に戻す**

• 1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

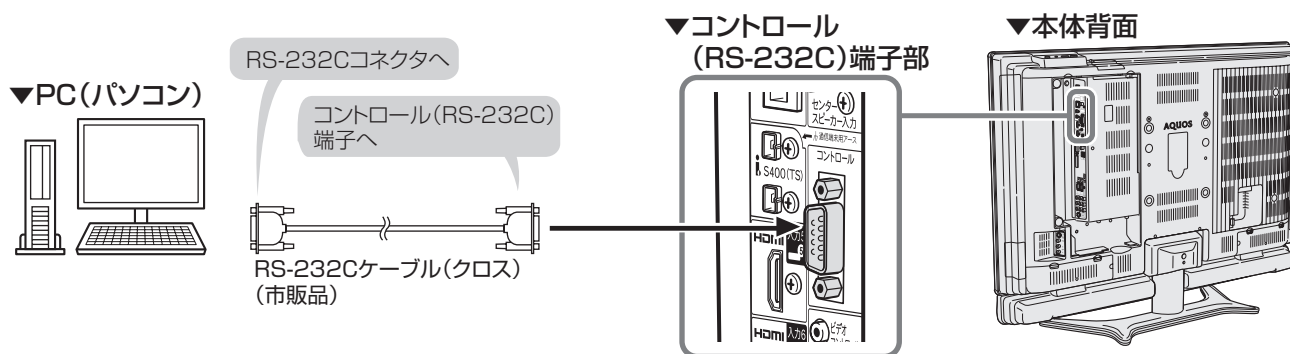
• パワーマネージメントを「モード2」に設定しているとき、コンセントを抜くなどして電源をしゃ断すると、再度電源を復帰させても正常に機能しない場合があります。このときは、リモコンの電源ボタンを押してください。
• デジタルPC入力時、パワーマネージメントを「モード2」に設定した場合、スタンバイ状態に入った後に映像信号が入力されても自動復帰しないことがあります。

PC(パソコン)で本機を制御する

PC(パソコン)による本機の制御について

この操作システムはPC(パソコン)を使い慣れたかたのご利用をお願いいたします。

■ターミナルソフトなどを利用して、RS-232CコネクタでつないだPC(パソコン)から本機を制御することができます。チャンネル切換え、入力切換え、音量調整などの操作を行うことができます。
■接続には、市販のRS-232Cケーブル(クロス)をご用意ください。

接続のしかた

通信仕様

■PC側のRS-232C通信仕様を、本機の通信仕様に合わせてください。
■本機の仕様は、以下のとおりです。

ボーレート	9600bps
データ長	8ビット
パリティ	なし

ストップビット	1ビット
フロー制御	なし

通信手順

■PCからRS-232Cコネクタを通じて、制御コマンドを送信します。本機は、送られたコマンドに応じて動作し、レスポンスメッセージをPC側に送ります。
■複数のコマンドを同時に送信しないでください。正常時のレスポンス(OK)を受けとってから、つぎのコマンドを送信するようにしてください。

コマンド(PCから本機へ)

レスポンス(本機からPCへ)

・正常時

・異常発生時(通信エラーまたはコマンドに誤りがあったとき)

RS-232Cコマンド一覧

■下の表に掲載されている以外のコマンドについては動作保証範囲外です。

機　能		“A”part	“B”part	Part動作説明	備　考
電源		POWR	0		スタンバイへ移行
入力切換	トグル	ITGD	－※1※2	（トグル）	トグルで入力切換（入力切換ボタンと同じ）
	テレビ	ITVD	－		テレビに入力切換（チャンネルはそのまま［ラストメモリー］）
	入力1～7	IAVD	1～7※2	（入力端子番号）	入力1～入力7に入力切換
	i.LINK	LINK	－		i.LINKに入力切換
	放送切換（デジタル）	IDEG	－	（トグル）	デジタル放送のネットワーク切換
チャンネル切換	地上アナログ	CAIR	1～20	テレビのチャンネル番号	UV表示でなかったら入力切換含む（リモコン番号選択）
	CATV	CATV	13～63	CATVのチャンネル番号	CATV表示でなかったら入力切換含む
	BSデジタル3桁入力	CBSD	0～999	BSデジタルチャンネル番号	デジタル放送表示でなかったら入力切換含む
	CS1デジタル3桁入力	CCSD	0～999	CS1デジタルチャンネル番号	デジタル放送表示でなかったら入力切換含む
	CS2デジタル3桁入力	CCSD	0～999	CS2デジタルチャンネル番号	デジタル放送表示でなかったら入力切換含む
	地上デジタル	CTBD	0～999	地上デジタルチャンネル番号	枝番入力が必要な場合にはラスト枝番、同一チャンネル選択時は順に枝番を選択
	選局順	CHUP	－	テレビのチャンネル番号＋1	リモコン選局順と同じ動作（入力切換含む）
	選局逆	CHDW	－	テレビのチャンネル番号－1	リモコン選局逆と同じ動作（入力切換含む）
入力選択	入力1	INP1	0	自動	入力切換含む。入力5、入力6以外で有効
	入力2	INP2	1	D端子	入力1、入力2のみ有効
	入力3	INP3	3	S端子	入力3、入力4のみ有効
	入力4	INP4※3	5	デジタル	入力7のみ有効
	入力7	INP7	6	アナログ	入力7のみ有効
AVポジション		AVMD	0	（トグル）	現在選択できるものの中でトグル動作
			1	標準	
			2	映画	
			3	ゲーム	
			4	AVメモリー	
			5	ダイナミック固定	
			6	ダイナミック	
			7	PC	
音量		VOLM	0～60	音量値	
位置調整・画面調整	水平位置	HPOS	−10～+10	移動値	テレビ／AV入力時
			0～180	移動値	PC入力時
	垂直位置	VPOS	−20～+20	移動値	テレビ／AV入力時
			0～100	移動値	PC入力時
	クロック周波数	CLCK	0～180	移動値	PC入力時のみ有効
	クロック位相	PHSE	0～40	移動値	PC入力時のみ有効
画面サイズ		WIDE	0	（トグル）	
			1	ノーマル	（AV系／PC系）
			2	スマートズーム	（AV系）
			3	ワイド	（AV系）
			4	シネマ	（AV系／PC系）
			5	フル	（AV系／PC系）
			6	フル1	（AV系1125i）
			7	フル2	（AV系1125i）
			8	アンダースキャン	（AV系1125i以上）
			9	Dot by Dot	（PC系）
消音		MUTE	0	（トグル）	消音オン、オフのトグル
			1	消音	
			2	消音解除	
サラウンド		ACSU	0	（トグル）	トグル動作
			1	入	
			2	切	
音声切換		ACHA	－	（トグル）	
オフタイマー		OFTM	0	解除	
			1	オフタイマー30分	
			2	オフタイマー1時間	
			3	オフタイマー1時間30分	
			4	オフタイマー2時間	
			5	オフタイマー2時間30分	

※1 “B”part欄の「－」はスペースを意味します。
※2 入力4は、入力4端子設定が「入力」に設定されているときのみ有効。
※3 入力4端子設定が「入力」に設定されているときのみ有効。

通信内容

■ 通信設定

ボーレート	9600bps
データ長	8ビット
パリティ	なし

ストップビット	1ビット
フロー制御	なし

■コマンド形式

アスキー8文字+CR

"A" part......コマンド(テキスト4文字)
"B" part......引数(0~9、ー、空白、?)

■ 引数

"B"partには左詰めで入力し、残りはスペースで埋めます。(必ず4文字になるようにしてください。)
設定可能範囲外の場合、「ERR」が返ります。(「返り値」参照)
表中で引数が「ー」になっているものは、数値であれば何を書いてもかまいません。

0			

0	0	0	9

ー	3	0	

1	0	0	

0	0	5	5

いくつかのコマンドは、引数に「?」を与えることにより、現在の設定値を返します。

?			

?	?	?	?

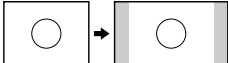
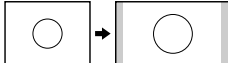
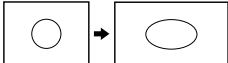
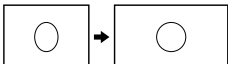
■ 返り値

コマンドの実行が終了したら、下記戻り値を返します。

O	K	(CR)

コマンドが実行できなかったり、コマンド表になかったりした場合は、下記戻り値を返します。

E	R	R	(CR)

画面や映像・音声の調整

ページ

画面サイズを設定する前に

画面サイズについて

■ 手動でお好みの画面サイズを選べるだけでなく、放送やソフトの内容によって画面サイズが自動的に切り換わるように設定することができます。

■ つぎの6つの画面サイズから選択できます。

ノーマル	スマートズーム
通常のテレビ(4:3サイズ)の映像をそのまま映します。	通常の4:3映像をより自然に拡大して映します。
ワイド	**シネマ**
通常の4:3映像を画面いっぱいに映します。	シネスコまたは16:9サイズの映画ソフトを画面いっぱいに映します。
フル	**Dot by Dot/アンダースキャン**
16:9から4:3に圧縮された映像をもとの16:9に戻して画面いっぱいに映します。	入力信号どおりの映像で映します。 16:9　16:9

画面サイズの設定には手動と自動があります。
・手動で選ぶ→画面サイズボタンで切り換えます。
・自動設定→オートワイド機能で設定します。

■ 選択できる画面サイズは、映像の種類によって異なります。

映像の種類	選択できる画面サイズ
525i 地上アナログ放送 ビデオ映像など 525p	→ノーマル →スマートズーム フル ← シネマ ← ワイド ←
1125i ハイビジョン	→フル1 →フル2 → Dot by Dot (1080i)※ (1035i)※ シネマ ← ワイド ← スマートズーム ←
750p ハイビジョン	→ フル → アンダースキャン シネマ ← ワイド ← スマートズーム ←

画面表示▶

映像の種類

※1080iと1035iは、本機の画面表示(チャンネルサイン)ではどちらも「1125i」と表示されます。

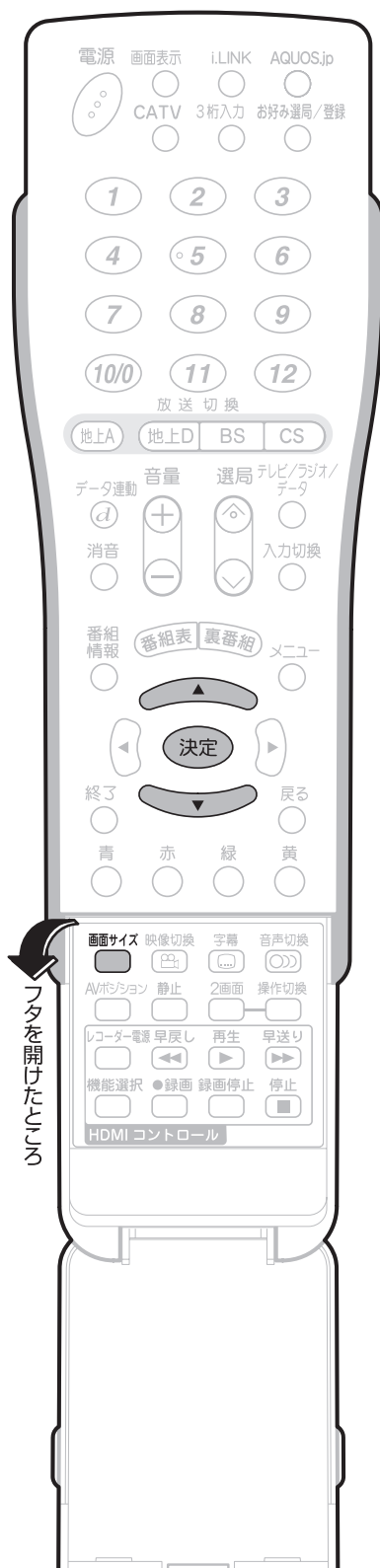
オートワイド機能について

・画面サイズ制御信号を識別して、ディスプレイに表示される画面サイズを自動で設定する機能です。
(☞148ページ)

・本機の画面サイズ切換え機能を使うとき、テレビ番組やビデオソフトなど、オリジナル映像の画面比率と異なる画面サイズを選択すると、本来の映像とは見えかたが変わります。この点にご留意の上、画面サイズをお選びください。
・ワイド映像でない通常(4:3)の映像を、画面サイズ切換え機能を利用して画面いっぱいに表示してご覧になると、画像周辺部分が一部見えなくなったり、変形して見えます。制作者の意図を尊重したオリジナルな映像をご覧になるときは、画面サイズを「ノーマル」にしてください。
・画面サイズ変更前の映像信号の縦横比によっては、「シネマ」に切り換わっても画面の上下に黒い帯が残る場合があります。
・市販ソフトによっては、字幕など画像の一部が欠けることがあります。このようなときは、画面サイズ切換え機能で最適なサイズに切り換え、位置調整(**150**ページ)で垂直位置を調整してください。このとき、ソフトによっては画面の端や上部にノイズや曲がりが生じることがありますが、故障ではありません。
・テレビを営利目的または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等にて、画面サイズ切換機能(オートワイド機能を含む)を利用して画面の圧縮や引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

画面サイズを設定する

画面サイズを手動で設定する（テレビ／ビデオ入力時）

■ 本機は手動でお好みの画面サイズを選ぶことができます。

1 **リモコンフタ内の画面サイズを押し、画面サイズ切換メニューを表示する**

• 表示中につぎの操作を行います。

2 **画面サイズまたは▲▼で、お好みの画面サイズを選ぶ**

• 映像の種類により、表示される画面サイズの種類は異なります。

3 **決定を押す**

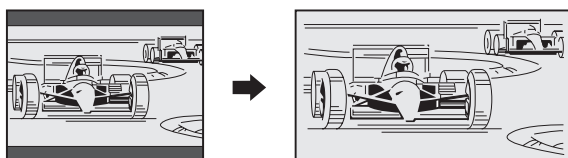
画面サイズを設定する(つづき)

自動的に最適な画面サイズに設定する(オートワイド機能)

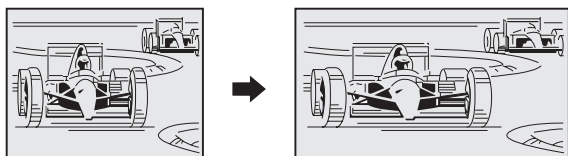
■ オートワイドとは、受信している放送や外部入力されたソフトの映像を自動的に最適な画面サイズに切り換える機能です。
■ オートワイド機能には4つの項目があります。詳しくは次のページをご覧ください。各項目はメニューの操作で設定します。
※ オートワイド機能は、デジタル放送視聴時には選択できません。

オートワイド機能を働かせたときの画面表示例

上下に黒い帯の入った映像

・映像判別　・D端子識別
・S2対応　・HDMI識別

横方向に圧縮された映像(スクイーズ映像)

・S2対応　・D端子識別　・HDMI識別

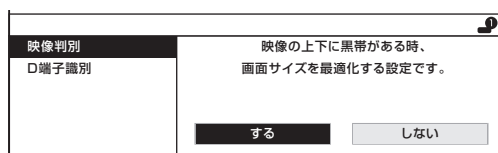
1

•「S2対応」を設定する場合は
入力切換を押し、S端子ケーブルを接続している入力(3または4)を選びます。

•「D端子識別」を設定する場合は
入力切換を押し、D端子ケーブルまたはD-コンポーネント変換ケーブルを接続している入力(1または2)を選びます。

•「HDMI識別」を設定する場合は
入力切換を押し、入力5または入力6を選びます。

2 メニュー画面から「本体設定」ー「オートワイド」を選び、決定を押す

3
① ▲▼で設定したい項目を選び、決定を押す
② ◀▶で「する」または「しない」を選び、決定を押す

(映像判別の画面例)

操作終了する場合は

メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

• 1つ前に戻る場合は戻るを押してください。

映像判別

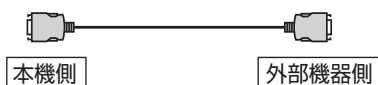
■ 受信している放送や外部入力されたソフトの映像の上下に黒い帯があるとき、画面サイズを自動的に「シネマ」にする機能です。
- 映像判別機能は、テレビを受信しているときおよび入力1～6のときに働きます。
- 入力が1125i、750pの信号に対しては働きません。
- デジタル放送の映像に対しては働きません。

S2対応

■ S2映像端子から入力された映像に画面サイズ制御信号が含まれているとき、自動的に最適な画面サイズで表示する機能です。
- S2対応機能は、入力3･4のとき（入力選択が「S端子」または「自動」でS2映像が表示されているとき）に働きます。
- S2対応を「する」に設定しても、S2映像端子から入力された映像によっては、最適な画面サイズにならない場合があります。

D端子識別

■ D4 映像端子と外部機器との接続に使う映像ケーブルの種類により、画面サイズの判定方法を変えることができます。
- D端子識別機能は、入力1･2のとき（入力選択が「D端子」または「自動」でD映像が表示されているとき）に働きます。

「する」： 外部機器との接続に使うケーブルがD端子ケーブルのときは、「する」に設定します。

「しない」： 外部機器との接続に使うケーブルがD-コンポーネント変換ケーブルのときは、「しない」に設定します。

HDMI識別

■ HDMI 端子から入力された映像に画面サイズ制御信号が含まれているとき、自動的に最適な画面サイズで表示する機能です。
- HDMI 識別機能は、入力5･6のときに働きます。

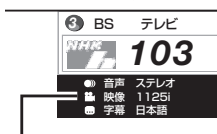
オートワイド機能が働かないようにするには

・オートワイド機能が働いているとき画面が大きくなったり小さくなったりすることがあります。
これは表示している映像に最適な画面サイズを探そうとしているために起こる現象で、故障ではありません。
気になる場合は、つぎの手順を行い、オートワイド機能が働かないようにしてください。

① メニューボタンを押し、メニュー画面を表示する。
② 左右カーソルボタンで「本体設定」を選ぶ。
③ 上下カーソルボタンで「オートワイド」を選び、決定ボタンを押す。
④ 画面に表示されているすべての項目（「映像判別」「S2対応」「D端子識別」「HDMI識別」のうち表示されているもの）を「しない」に設定する。
・詳しい操作方法については、**148**ページをご覧ください。
⑤ メニューボタンまたは終了ボタンを押し、通常画面に戻す。

・ビデオ機器やゲーム機などをS2映像端子やD映像端子で接続した場合でも、機器やソフトなどによってオートワイド機能が働かない場合があります。

▼画面表示

BS テレビ
103
音声 ステレオ
映像 1125i
字幕 日本語

映像の種類	呼び方	画質
1125p※	1125プログレッシブ	高精細
750p	750プログレッシブ	高精細
1125i	1125インターレース	高精細
525p	525プログレッシブ	高画質
525i	525インターレース	標準

※ 1125pはHDMI/DVI入力の場合

画面表示の映像の種類を見れば放送中の映像の種類がわかるのね。

画面の位置を調整する

画面位置の調整のしかた

■ 画面の位置を調整することができます。

「水平位置」……画像が右寄り、または左寄りの状態にあるときに調整します。

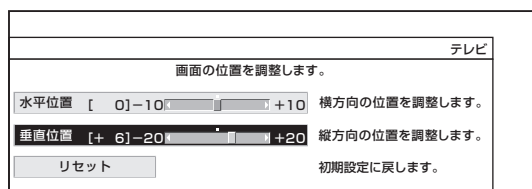
「垂直位置」……画像が上がり過ぎ、または下がり過ぎの状態にあるときに調整します。

［例］ 画面の垂直位置を調整する

1 **メニュー画面から「本体設定」ー「位置調整」を選び、決定を押す**

2 **① 決定で「垂直位置」を選ぶ**

② 決定で適切な位置に調整する

- 水平位置は、－10～0～＋10の範囲で調整できます。
- 垂直位置は、－20～0～＋20の範囲で調整できます。

操作終了する場合は

メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

- 1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

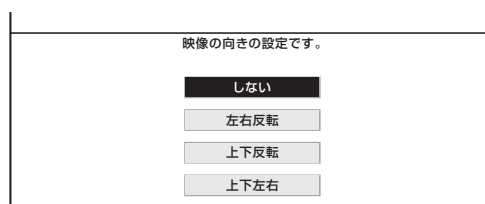
工場出荷時の設定に戻したいとき

- 手順**2**の①で「リセット」を選び、決定ボタンを押します。

映像の向きを変える(映像反転)

■ 設置のしかたに応じて、映像の左右、上下、上下左右を反転して映すことができます。
映像を鏡に映してご覧になるときなどに便利な機能です。

1 **メニュー画面から「本体設定」ー「映像反転」を選び、決定を押す**

2 **決定で「しない」「左右反転」「上下反転」「上下左右」のいずれかを選ぶ**

- 「しない」を選んだときは、反転しません。
- 「しない」以外を選んだときは、メニューも反転表示されます。
- 「左右反転」「上下左右」を選んだとき、音声は左右反転しません。

操作終了する場合は

メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

- 1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

映像反転の表示のされかた

お好みの映像・音声で楽しむ

■ お好みの映像・音声を設定する方法には、次の2つがあります。
- AVポジションを選ぶ
- 映像・音声を個別の設定項目ごとに設定する

記憶されたお好みの映像・音声設定を選ぶ(AVポジション)

AVポジションとは

■ 部屋の明るさや再生ソフトの内容に合わせて、記憶されたお好みの映像・音声レベルに設定する機能です。

「ダイナミック」
くっきりと色鮮やかな映像で、スポーツ番組などを迫力あふれたものにします。(工場出荷時の設定です。)

「標準」
画質・音質の設定がすべて標準値になります。

「映画」
コントラスト感を抑えることにより、暗い映像を見やすくします。(インターネット画面では選択できません。)

「ゲーム」
テレビゲームなどの映像を、明るさを抑えて目にやさしい映像にします。(インターネット画面では選択できません。)

「PC」
PC用の画面モードです。(このポジションは入力5〜7選択時のみ表示されます。)

「AVメモリー」
各入力ごとにお好みの調整内容を記憶させることができます。

「ダイナミック(固定)」
くっきりと色鮮やかな映像で、スポーツ番組などを迫力あふれたものにします。(このポジションを選んだときは、映像・音声調整ができません。)

1 リモコンフタ内の AVポジション を押す
- 画面左下に現在のAVポジションが表示されます。

AVポジション:ダイナミック

AVポジション表示

2 表示が出ている間に再び AVポジション を押し、お好みの設定を選ぶ
- ボタンを押すたびに、AVポジションがつぎのように切り換わります。

→ダイナミック → 標準 → 映画 → ゲーム
ダイナミック(固定) ← AVメモリー ← PC ←

- AVポジションは各入力ごとに別のものを選ぶことができます(例えば、テレビは「標準」、入力1は「ダイナミック」....など)が、「i.LINK」は「テレビ」と同じ設定になります。また、「AVメモリー」の設定も「テレビ」と同じになります。

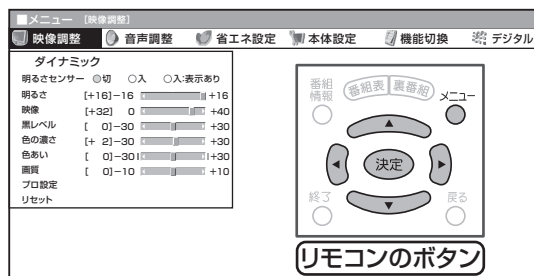
手動で映像を調整する

■「映像調整」とは、映像の濃淡や明るさ、色のぐあいなどを、お好みの状態に調整する機能です。
現在視聴している入力により、別の調整項目になっています。

■ AVポジションごとに、お好みの映像に調整し、調整内容を記憶させることができます。映像調整は、さきにAVポジションを選んでから行ってください。（**151**ページ参照）

■ AVポジション「ダイナミック（固定）」では、映像調整ができません。

■「プロ設定」では映像の状態をお好みに応じてさらにきめ細かく調整できます。

1 メニュー画面から「映像調整」を選ぶ

2 ① （上下ボタン）で調整したい項目を選ぶ

② （左右ボタン）でお好みの設定にする

• ①で「プロ設定」を選んだ場合は（上下ボタン）でプロ設定の項目を選び、（決定）を押します。

工場出荷時の設定に戻したいとき

① 手順**2**の①で「リセット」を選び、決定ボタンを押します。
② 左右カーソルボタンで「する」を選び、決定ボタンを押します。
「初期設定に戻しました。」と表示されます。
この場合、プロ設定もすべて工場出荷時の設定に戻ります。

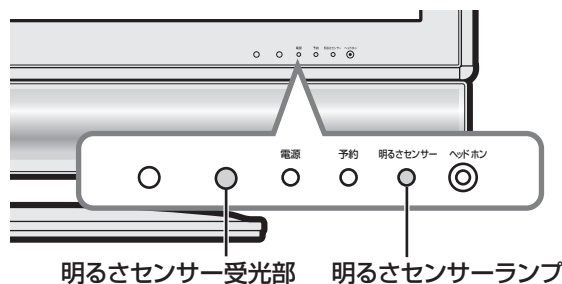
映像調整の項目

明るさセンサー

• 室内の照明状況など周囲の明るさに応じて画面の明るさが自動的に調整されるよう設定することができます。（明るさセンサー機能）
明るさセンサーの動作する明るさの範囲を手動で設定することもできます。（プロ設定項目の「明るさセンサー設定」**153**ページ参照）
• 放送や再生ソフトの映像内容に合わせ、画面をお好みの明るさに手動調整することができます。（映像調整の項目「明るさ」参照）

明るさセンサー ●切 ●入 ●入:表示あり

設定項目	設定内容
切	明るさセンサー機能が働かなくなります。
入	周囲の明るさが変化すると明るさセンサー機能が働いて、画面の明るさを自動調整します。
入:表示あり	自動調整中、明るさセンサー機能の効果が画面に表示されます。 明るさセンサー: ※メニュー表示中は表示されません。

• 明るさセンサー受光部の前にものを置いたりすると、明るさを感知できなくなります。
• 明るさセンサーを「入」または「入：表示あり」に設定すると、明るさセンサーランプが点灯します。

明るさ

- 放送番組や再生ソフトなど映像内容に合わせて、画面をお好みの明るさに手動調整することができます。

- 調整を行うと、明るさセンサー機能は「切」になります。

映像

- 映像の強弱を手動調整することができます。

黒レベル

- 画面を見やすい明るさに調整することができます。

色の濃さ

- 映像の色の濃さを手動調整することができます。

色あい

- 肌色を手動調整することができます。

画質

- 画面をお好みの画質に手動調整することができます。

プロ設定の項目

項　目	内　容	設　定
カラーマネージメント※1	色の構成要素となる6つの系統色のそれぞれを調整し、色相・彩度・明度を変化させます。	－30～0～+30
色温度	青みがかった白（高）にするか、赤みがかった白（低）にするかの調整です。	高/高-中/中/中-低/低
ディテール強調	微小信号レベルを検出し、細部を強調します。	0～+15
QS駆動	動きの速い映像をくっきりと、より見やすくする機能です。（QS…クイックシュート）	スタンダード／アドバンス
アクティブコントラスト	シーンに応じて映像のコントラストを自動的に調整します。	する/しない
I／P設定※2	動画より（通常のテレビ放送やビデオ等をきめ細かい映像で楽しむモード）と静止画より（静止画やグラフィック等の画像を、チラツキのないなめらかな映像で楽しむモード）を切り換えます。	動画より/静止画より
フィルムモード※3	フィルム収録のDVDなど、元信号が24コマ/秒の映像を高画質に再生します。	する/しない
3次元設定※4	映像素材に応じた設定にすると、画質が改善されます。	標準/動画より/静止画より
モノクロ	白黒映像にします。	する/しない
明るさセンサー設定※5	明るさセンサー「入」時の、稼動範囲の上限と下限をおこのみの値に設定できます。	最大値設定※6 －16～0～+16 最小値設定※7 －16～0～+16

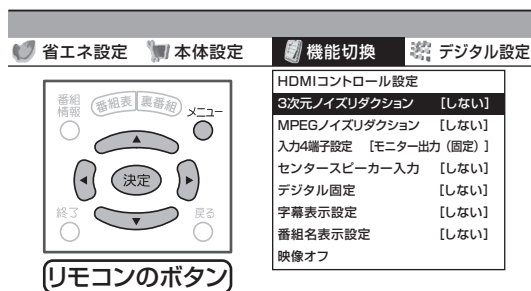
※1 **カラーマネージメントの調整項目について**
例: 色相の調整の場合

系統色	調　整 －30……………0……………+30
R(赤)	マゼンタに近づく ⟷ 黄に近づく
Y(黄)	赤に近づく ⟷ 緑に近づく
G(緑)	黄に近づく ⟷ シアンに近づく
C(シアン)	緑に近づく ⟷ 青に近づく
B(青)	シアンに近づく ⟷ マゼンタに近づく
M(マゼンタ)	青に近づく ⟷ 赤に近づく

※2 元がプログレッシブの映像（525p、750p、1125p）およびPC入力では、プロ設定の「I／P設定」は選択できません。
※3 AVポジションが「ゲーム」のとき、元がプログレッシブの映像（525p、750p、1125p）およびPC入力では、プロ設定の「フィルムモード」は選択できません。
※4 地上アナログ放送、ビデオ映像以外を視聴しているときは、プロ設定の「3次元設定」は選択できません。
※5 周囲の明るさにもよりますが、設定範囲が少ない場合は、明るさセンサーが働きません。
※6 最大値は最小値より小さい値にできません。
※7 最小値は最大値より大きい値にできません。

その他の映像関連の設定

■ [機能切換]メニューから、その他の映像関連の設定ができます。

共通操作

1 メニュー画面から で「機能切換」を選ぶ

2 で設定したいメニュー項目を選び、決定を押す

メニュー項目	設定画面

映像をすっきりさせる(3次元ノイズリダクション)

■ ビデオなどの再生映像を、すっきりさせる機能です。設定は「しない」「強」「弱」の3種類があります。
■ テレビ、ビデオ各入力ごとに個別に設定できます。

MPEGノイズを低減する(MPEGノイズリダクション)

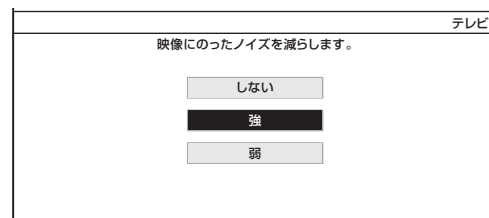
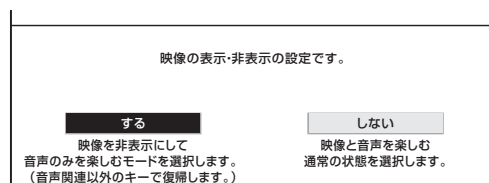
■ デジタル圧縮で発生したブロックノイズや文字のエッジ部分に発生しやすいモスキートノイズを低減します。設定は「しない」「強」「弱」の3種類があります。
■ テレビ、ビデオ各入力ごとに個別に設定できます。

[例] 3次元ノイズリダクションを「強」に設定する

3 で「強」を選び、決定を押す

• 操作終了する場合は メニュー または 終了 を押してください。

音声だけを楽しむ(映像オフ)

■ 映像を消して、音声だけを楽しむことができます。
- 映像オフを「する」にしているとき、オフタイマー残り時間などのメッセージが表示されると、映像が復帰します。
- 操作により映像が復帰したり、一度電源「切」の状態にすると、自動的に設定が「しない」になります。
- 映像を復帰させたいときは、音量調整、消音、音声切換え以外の操作を行ってください。

3 で「する」または「しない」を選び、決定を押す

• 操作終了する場合は メニュー または 終了 を押してください。

お好みの音声に調整する（音声調整）

■「高音」「低音」「バランス」の3つの項目を、AVポジションごとに、お好みに合わせて調整することができます。
調整したいAVポジションを選んでから、音声調整の操作を行います。（**151**ページ参照）
※ AVポジション「ダイナミック（固定）」では、音声調整ができません。

音声調整の基本操作

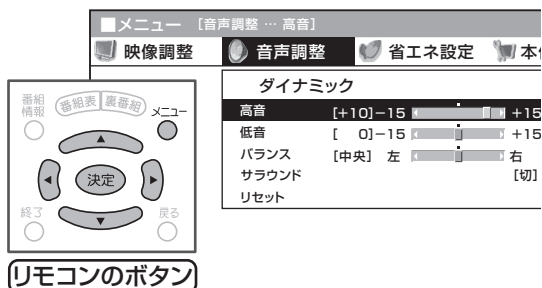
［例］ AVポジション「ダイナミック」の「高音」を調整する

1 AVポジションを何回か押し、AVポジションを「ダイナミック」に設定する

2 メニュー画面から「音声調整」を選ぶ

3 ① ▲▼で「高音」を選ぶ

② ◀▶で、お好みの位置に調整する

リモコンのボタン

・続けて他の項目を調整したいときは、手順**3**をくり返します。

操作終了する場合は

メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

• 1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

・ヘッドホンを接続しているときや入力4端子設定を「モニター出力（可変）」に設定しているときは、音声調整ができません。

工場出荷時の設定に戻したいとき

① 手順**3**の①で「リセット」を選び、決定ボタンを押します。
② 左右カーソルボタンで「する」を選び、決定ボタンを押します。
「初期設定に戻しました。」と表示されます。

音声調整の項目

・お客様が実際にお使いの音量で調整してください。

高音

・お好みに合わせて、高音を調整することができます。

高音 ［+10］−15 +15

低音

・お好みに合わせて、低音を調整することができます。

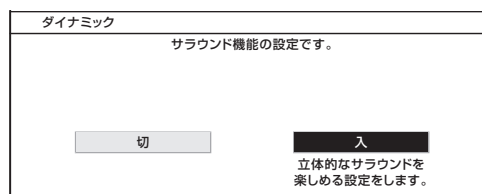
低音 ［ 0］−15 +15

バランス

・お好みに合わせて、左右のスピーカー音声のバランスを調整することができます。

バランス ［中央］ 左 右

サラウンド

・2本のスピーカーで臨場感あふれるマルチチャンネルサラウンド空間を実現します。

• ヘッドホンで音声を聴いているときは、サラウンドの効果が得られません。
• モニター出力／入力4／（録画出力）端子からの音声出力、デジタル音声出力（光）端子からの出力では、サラウンドの効果が得られません。
• 放送やDVDなどのコンテンツによっては、サラウンドの効果が得られないことがあります。その際はサラウンドを「切」にしてお楽しみください。

お好みの映像・音声で楽しむ（つづき）

二重音声放送やステレオ放送を楽しむ

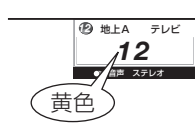
■ 二重音声放送やステレオ放送のとき、音声切換ボタンで音声モードを切り換えることができます。

チャンネル表示の色について

・二重音声放送やステレオ放送、モノラル放送は、チャンネル表示の色で区別することができます。（地上アナログ放送のみ）

▼画面表示

二重音声放送のとき

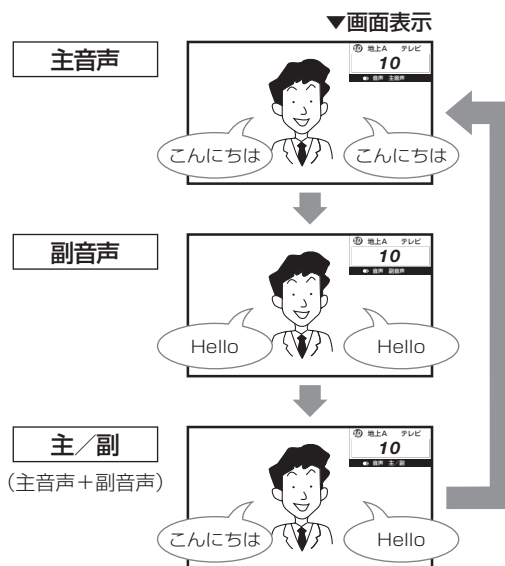
ステレオ放送のとき

モノラル放送のとき

主音声と副音声について

・ニュースや洋画などの二ヵ国語放送で、吹き替えの日本語（主音声）と英語などの外国語（副音声）の2種類の音声が楽しめます。

二重音声放送の音声切換

リモコンフタ内の音声切換を押し、お好みの音声を選ぶ

・ボタンを押すたびに、つぎのように切り換わります。

ステレオ放送の音声切換

・ステレオ放送のときは、自動的に「ステレオ」になります。

雑音が多いときは、音声切換で「モノラル」にする

・画面右上のチャンネル表示内に「モノラル」と表示されます。
・「モノラル」にすると雑音が減って聞きやすくなることがあります。

・音声切換ボタンを押して「モノラル」にすると、ステレオ放送を受信してもモノラル音声になります。
ステレオ音声で聞くときは、再度音声切換ボタンを押して「ステレオ」に切り換えてください。
・デジタル放送は「モノラル」への切換えができません。
・デジタル放送視聴時の音声切換えについては、**79**ページをご覧ください。

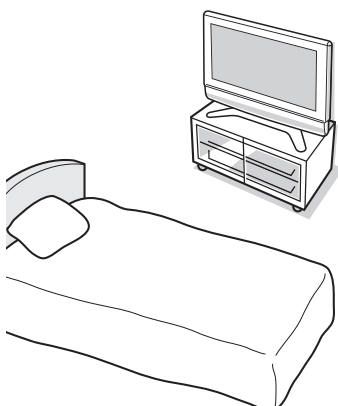
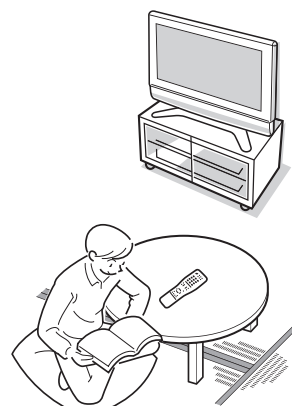
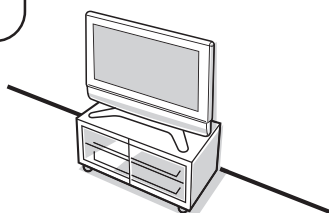
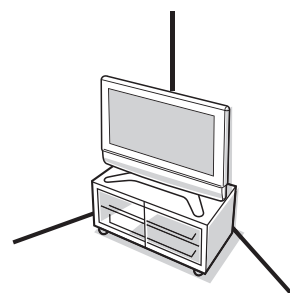
視聴環境に適した音質にする

視聴環境設定機能とは

■ 本機のスピーカーから出力される音声を、本機を視聴する環境に適した音質に設定する機能です。

- 視聴環境設定を使うには、「本体設定」－「スピーカー設定」－「音質補正」を「する」に設定してください。
- 視聴環境設定機能はAudyssey Laboratoriesにより開発された“Audyssey EQ”を採用しています。

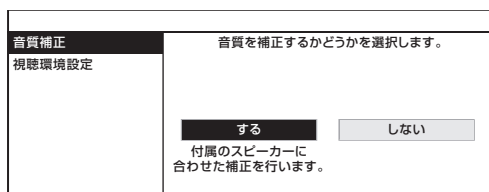
視聴環境設定機能を使うには

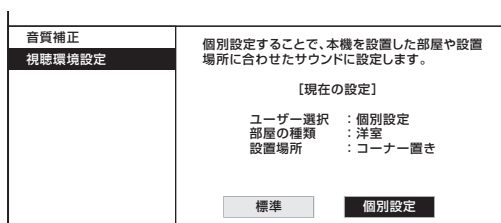
■ 「本体設定」－「スピーカー設定」－「視聴環境設定」－「個別設定」を選び、本機を視聴する部屋の種類と設置場所を選びます。

視聴環境に適した音質にする（つづき）

1 **メニュー画面から「本体設定」ー「スピーカー設定」を選び、決定を押す**

2 ① **で「音質補正」を選び、決定を押す**

② **で「する」を選び、決定を押す**

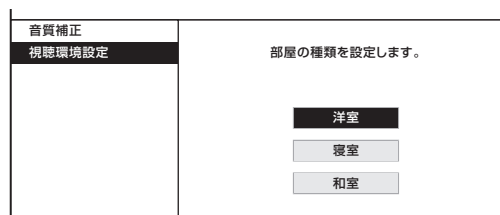
音質補正
視聴環境設定
音質を補正するかどうかを選択します。
する　しない
付属のスピーカーに
合わせた補正を行います。

3 ① **で「視聴環境設定」を選び、決定を押す**

② **で「個別設定」を選び、決定を押す**

- 「標準」とは、“Audyssey EQ”オフの設定です。
- 視聴環境設定は、一般的な洋室、寝室、和室を目安に音を設定していますが、部屋によっては効果が分かりにくい場合があります。その場合は、音声調整にて調整してください。

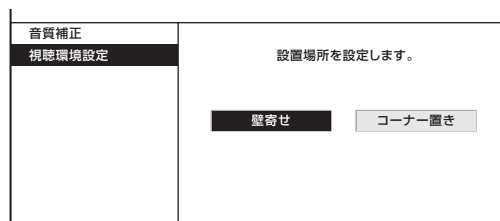
部屋の種類を選ぶ

4 **で視聴している部屋の種類を選び、決定を押す**

「洋室」.......... フローリングの床のように反響の大きい部屋の場合
「寝室」.......... ベッドなどの音声を吸収するものがある部屋の場合
「和室」.......... 畳部屋で音声を吸収する大きな家具がない部屋の場合

音質補正
視聴環境設定
部屋の種類を設定します。
洋室
寝室
和室

部屋の中の設置場所を選ぶ

5 **で本機の設置場所を選び、決定を押す**

「壁寄せ」................部屋の壁面に平行に本機を設置している場合
「コーナー置き」.....部屋の角に本機を設置している場合

6 **メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す**

- 視聴環境設定を使わないときは、手順3の②で「標準」を選びます。

この製品は、Audyssey Laboratoriesによるライセンスの基で製造されています。
Audyssey EQは、Audyssey Laboratoriesの登録商標です。

音響のプロフェッショナルたちによるサウンド
南カリフォルニア大学Integrated Media System Centerにはオーディオ界のトップエキスパートや研究者が所属しています。彼らがNational Science Foundation（国家科学財団）の資金提供を受け、サウンドの音質を下げる室内音響のネガティブ要素を全てのオーディオシステムから取り除くための新しいテクノロジー開発を立ち上げ、5年にわたる研究の末、従来の家庭や車でのサウンドの楽しみ方を変えるソリューションが生み出されました。それがAudyssey EQです。

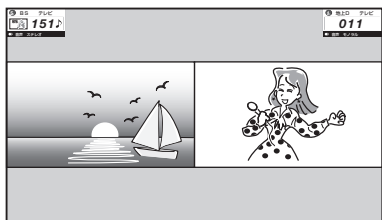
便利な機能

HDMIコントロール（AQUOSファミリンク）機能

インターネットを見る

2画面で見る

■ 本機は2つの異なる映像を同時に表示して見ることができます。
■ デジタル放送を視聴中に、2つの番組を左右に表示して見ることができます。
■ テレビとインターネットを同時に表示して見ることもできます。(**161**ページ)
■ 2画面のとき、「♪」マークのある画面(操作画面)のチャンネルや入力を切り換えたり、音量を調整することができます。

- 2画面機能を入／切すると、まれに画面や録画出力の映像が一瞬途切れた状態になることがありますが、異常ではありません。
- 2画面表示中は、画面サイズボタンによる画面サイズの切換えができません。
- 2画面のとき、メニュー操作はできません。
- 2画面になった映像がハイビジョン信号(1125i、750p、1125p)のときは、16:9表示になります。

- 2画面のとき、電子番組表、i.LINK操作パネルは表示できません。
- 録画予約実行中、デジタル固定中、i.LINK録画中に2画面にすると、右画面は録画中の画面となります。右画面を他の放送や外部入力に切り換えることはできません。

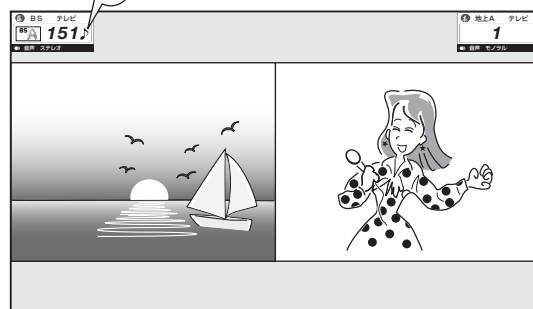
2画面で見られる映像の組合せ

左画面＼右画面	地上アナログ放送	デジタル放送	外部入力
地上アナログ放送	×	○	○※1·5
デジタル放送	○	○ ※4	○※1·5
外部入力	○ ※2·5	○※2·5	○※1·2·3·5

※1 右画面には525i信号(地上アナログ放送と同じ画質)のみ表示できます。外部入力で高解像度信号(525p/1125i/750p)が入力されている場合は、表示できません。
※2 入力5,6は左画面にのみ表示されます。
※3 同じ外部入力どうしの2画面表示はできません。
※4 デジタル放送どうしの2画面のときは、データ放送画面は左画面のみ表示されます。データ放送を表示できる画面には「♪」マークの隣に「(d)」マークが表示されます。
※5 入力7は2画面表示できません。

2画面で見るには

[例] BS放送と地上放送を2画面で見る

リモコンフタ内の 2画面 を押す

- 2画面表示中に予約録画が開始されたときは、1画面(操作画面)に戻ります。
- 操作画面を切り換えるには、リモコンフタ内の 操作切換 を押し、操作したい画面に「♪」を移動します。
- 1画面に戻すには 2画面 をもう一度押すか、終了 を押します。

2画面時の音声と音量調整について

- 音量(＋／−)ボタンで、操作画面の音量を調整できます。
- ヘッドホン接続時は「♪」マークのある操作画面の音声を聞くことができます。

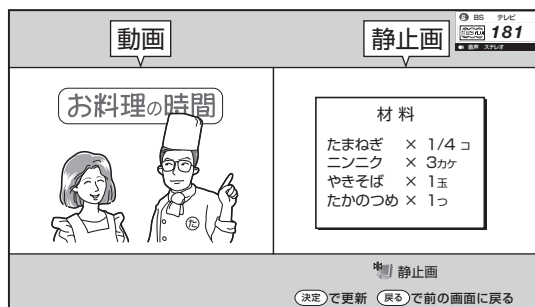
操作画面のチャンネルや入力を切り換えるには

- 地上A 地上D BS CS のいずれかを押して放送を選びます。
- 選局(∧順／∨逆)ボタンを押すたびに、操作画面のチャンネルが選局されます。
- 入力切換 を押すたびに、操作画面の入力が切り換わります。

画面を静止させてメモをとる

- いま見ている放送や映像を静止することができます。料理番組などのメモをとったりするときに便利です。

映像を静止させたいところで、静止を押す

- 2画面表示となり、左側が動画、右側が静止画になります。

- 静止画表示中に決定ボタンを押すと、静止画が更新されます。
- 1画面に戻すには戻るを押すか、終了または静止を押します。

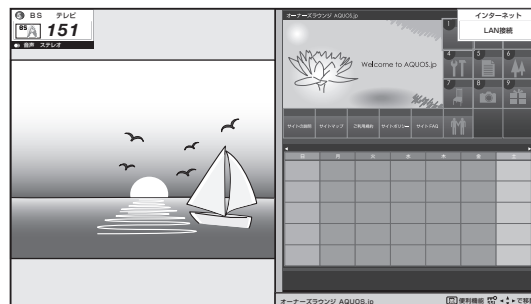
- 静止画表示中に選局や入力切換えをすると、1画面に戻ります。
- 静止画表示中の画面サイズ切換えはできません。
- 静止画表示中にメニューボタンを押すと、1画面に戻ります。
- 静止画表示中にi.LINKボタンを押すと、静止画が解除されます。
- 静止画表示後、30分経過すると自動的に1画面に戻ります。

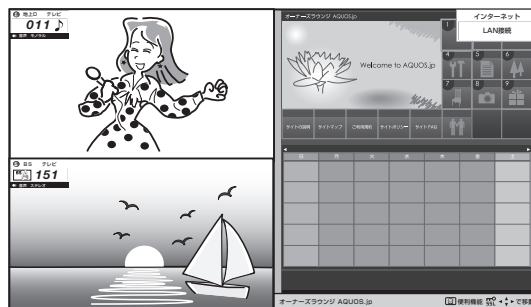
テレビ画面とインターネット画面を同時に表示する

- AQUOS.jp機能の設定が済んでいれば、TV放送や外部機器の映像を表示させたまま、インターネット画面を表示できます。
- 2画面表示させたまま、インターネット画面を表示することもできます。

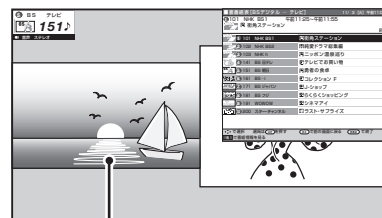
1 リモコンのAQUOS.jpを押す

2 (▲▼◀▶ 決定)で表示方法を選ぶ

「テレビ+インターネット」を選んだ場合の表示例

「2画面+インターネット」を選んだ場合の表示例

- 1画面表示に戻すには終了または2画面を押します。

- 操作画面を切り換えるには、操作切換を押して「♪」マークを操作したい画面に移動します。
- インターネット画面の表示方法を変えるには、上の手順**1, 2**を繰り返します。
- テレビとインターネットを同時に表示しているときは、チャンネルボタン(数字ボタン)で選局することはできません。選局ボタンでチャンネルを切り換えてください。
- テレビとインターネットを同時に表示しているときは、データ放送画面を表示することはできません。

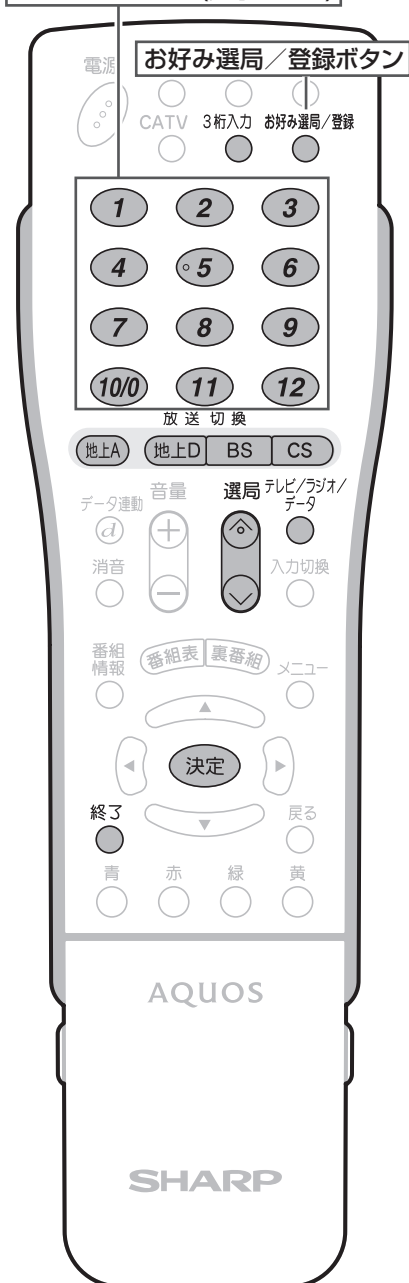
- 2画面表示中に裏番組ボタンを押すと、裏番組表が非操作画面側に表示されます。操作画面を見ながら裏番組を確認することができます。裏番組表で見たい番組を選択して決定ボタンを押すと、操作画面に選択した番組を表示します。

2画面状態での裏番組表の表示例

お好みのチャンネルを登録する

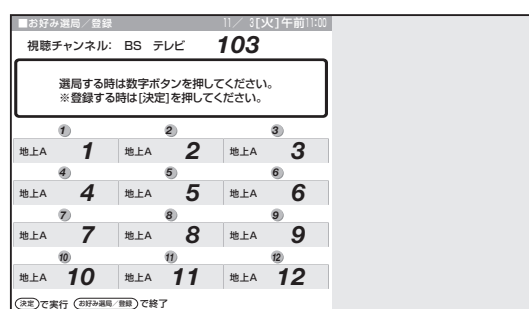
お好み選局／登録画面にチャンネルを登録する(お好み登録)

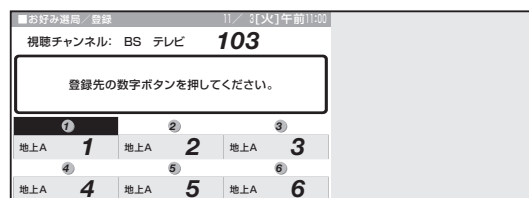
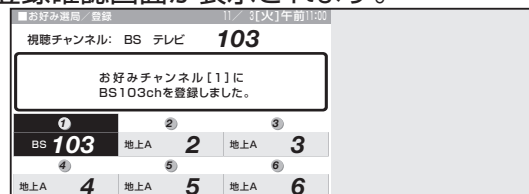
■ よく見るチャンネルをお好み選局／登録画面に登録できます。

■ ネットワーク(地上アナログ、地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタル)やメディア(テレビ、ラジオ、データ)を混在させた登録ができます。

※ お好み選局／登録画面は、工場出荷時の状態では、地上アナログ放送に設定されています。

[例] BSデジタルのテレビ放送の103チャンネルをお好み選局／登録画面の「1」(チャンネルボタン(1))に登録する

1 ① BS を押し、BSデジタル放送(テレビ)を選ぶ
② 103チャンネルを選局する

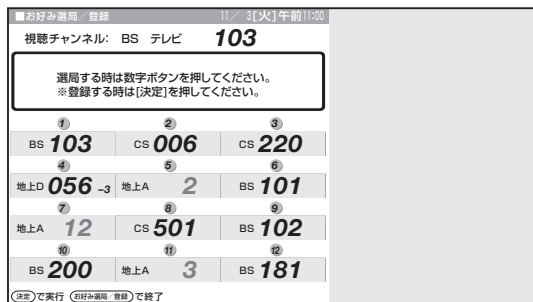
2 ① お好み選局/登録 を押す
・ お好み選局／登録画面が表示されます。

② 決定 を押す

3 登録したいチャンネルボタン(1)(登録先のボタン)を押す

・ 登録確認画面が表示されます。

4 お好み選局/登録 または 終了 を押し、画面表示を消す
・ お好み選局／登録ボタンまたは終了ボタンを押さなくても、しばらくすると画面表示は消えます。

お好み登録したチャンネルを確認する

■ お好み選局／登録画面（「1」～「12」）に登録されているチャンネルの内容を画面で確認することができます。

1 放送を視聴中に お好み選局/登録 を押す

・登録されているチャンネル内容の一覧が表示されます。

・内容を確認します。

2 お好み選局/登録 または 終了 を押し、画面表示を消す

お好み登録を変更する

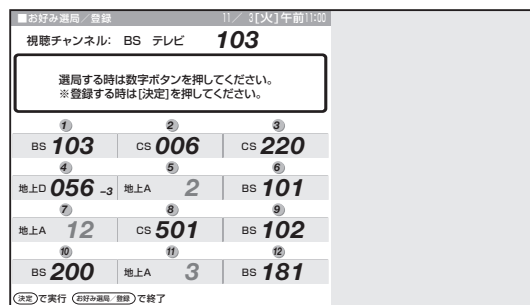
・お好み選局／登録画面に登録したチャンネルを変更するには、**162**ページの手順**1**～**4**の操作を行い、お好み登録されているお好み選局／登録画面に新たなチャンネルを登録しなおします。

お好み選局／登録画面からチャンネルを選局する（お好み選局）

■ お好み選局／登録画面に登録したチャンネルを選局します。

■ ネットワーク（地上アナログ、地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタル）やメディア（テレビ、ラジオ、データ）を切り換えることなく、チャンネルを選べます。

1 お好み選局/登録 を押す

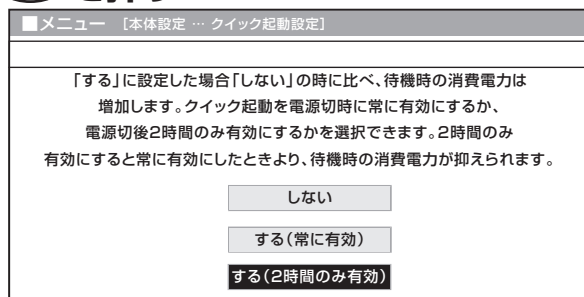
・お好み選局／登録画面が表示されます。

2 見たいチャンネルボタン（1～12）を押す

・選んだチャンネルの画面になります。

クイック起動機能を設定する

■ リモコンで電源を「入」にしたとき、起動時間を短縮してすぐに操作できる状態にする機能です。なお、この機能を使うと待機時の消費電力がアップしますので、あらかじめ同意の上、ご使用ください。

1 メニュー画面から「本体設定」ー「クイック起動設定」を選び、決定 を押す

2 ▲▼◀▶ で設定したい項目を選び、決定 を押す

省エネ機能を使う

指定した時間後に電源を切る(オフタイマー)

・「オフタイマー」を使うと、指定した時間後に電源を切ることができます。テレビを見ながらおやすみになるときなどに便利です。

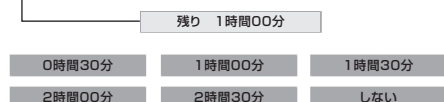
1 **メニュー画面から「省エネ設定」ー「オフタイマー」を選び、決定を押す**

2 **で、電源が切れるまでの時間を選び、決定を押す**

オフタイマーを解除するには、「しない」を選びます。

オフタイマーの残り時間を見るには

メニュー画面から「省エネ設定」ー「オフタイマー」を選び、決定を押す

オフタイマーがすでに設定されている場合は、オフタイマーの残り時間が表示されます。

・オフタイマーの残り時間が5分になると、残り時間が画面に表示されます。

おしらせ

無信号オフ機能について

・放送が終了しても、他局の放送やその他の電波が混入するときや、ブルーバックなどのビデオ信号が入力されているときは、正しく動作しない場合があります。
・放送電波の状態などにより、放送を見ているときに無信号オフ機能が働いて電源が切れる場合は、設定を「しない」にしてください。
・入力7のときは、「パワーマネージメント」の設定となります。(**141**ページ参照)

放送終了後に電源を切る(無信号オフ)

・放送が終了するなど無信号状態になると、約15分後に電源が切れるようにします。
・工場出荷時は、「しない」に設定されています。

1 **メニュー画面から「省エネ設定」ー「無信号オフ」を選び、決定を押す**

2 **で「する」を選び、決定を押す**

・電源が切れる5分前から画面左下に残り時間が表示されます。

無信号オフ:残り　5分

操作しない状態のときに電源を切る(無操作オフ)

・操作しない状態が3時間以上経過すると、自動的に電源が切れるように設定できます。
・工場出荷時は、「しない」に設定されています。

1 **メニュー画面から「省エネ設定」ー「無操作オフ」を選び、決定を押す**

2 **で「する」を選び、決定を押す**

3時間操作をしない場合に
自動的にスタンバイ状態にします。

する　しない

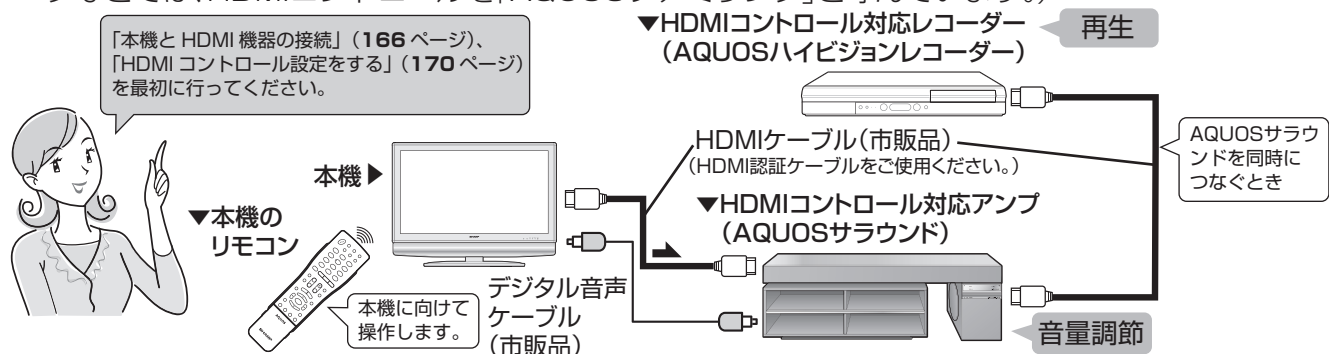
操作終了する場合は

メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

・1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

HDMI接続した外部機器を本機のリモコンで制御する HDMIコントロール(AQUOSファミリンク)

HDMIコントロール(AQUOSファミリンク)とは

■ HDMIコントロールとは、HDMI CEC(Consumer Electronics Control)を使用し、HDMIで規格化されているAVアンプやDVDレコーダーを相互に制御するためのコントロール機能です。(カタログなどでは、HDMIコントロールを「AQUOSファミリンク」と呼んでいます。)

・HDMIコントロール機能を使うときも、本機のリモコンを本機に向けて操作してください。HDMIコントロール対応レコーダーやAQUOSサラウンドは直接リモコン信号を受信しません。

HDMIコントロールを使用するための準備と設定を行ってください

■ HDMIコントロール機能をご使用になるときは「本機とHDMI機器の接続」(**166**ページ)、「HDMIコントロール設定をする」(**170**ページ)を行ってください。

HDMIコントロールでできること

■ HDMIコントロール機能に対応したレコーダーやAVアンプをHDMI認証ケーブルで接続すると、HDMIコントロール対応レコーダーやAQUOSサラウンドを本機のリモコンで操作できます。

■ レコーダーやAVアンプのリモコンに持ち変えずに操作できるので便利です。

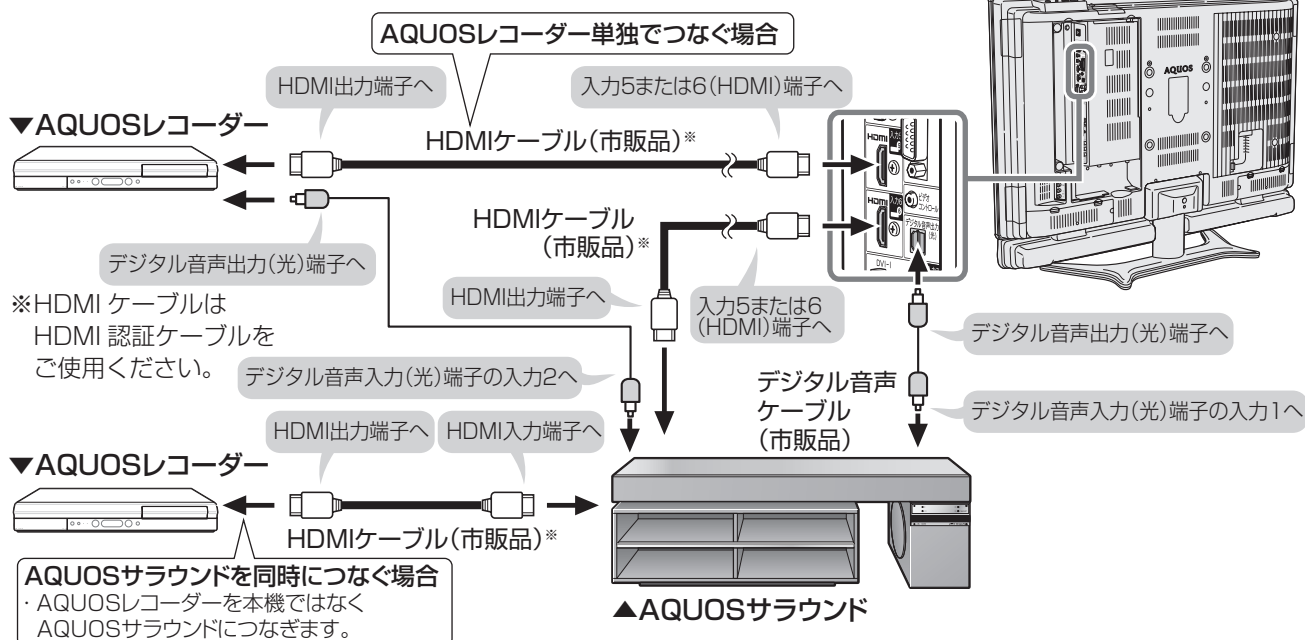
HDMIコントロール対応レコーダーを操作します。

- 本機で視聴中の番組をワンタッチでHDMIコントロール対応レコーダーに録画できます。(**166**ページ)
- HDMIコントロール対応レコーダーの電源入/切、再生、早送り、早戻しなどができます。(**167**ページ)
- HDMIコントロール対応レコーダーの録画リスト表示やメディア切換ができます。(**168**ページ)

- HDMIコントロール機能を使うには、本機と、HDMIコントロール対応のレコーダーやAVアンプをHDMIケーブルで接続する必要があります。HDMIケーブル以外で接続しているときは、HDMIコントロール機能を使うことはできません。
- HDMIコントロール機能で操作できるHDMIコントロール対応レコーダーは3台までです。
- 1つのHDMIコントロール対応レコーダーをi.LINKとHDMIで同時に接続するときは、「i.LINK自動切換」を「しない」にしてください。(**121**ページ)
- HDMIケーブルはHDMI規格認証ケーブルをご使用ください。
- HDMIコントロール対応の当社製レコーダー:(DV-AC32、DV-AC34、DV-ACW38) (2006年9月)
- HDMIコントロール対応の当社製サラウンドアンプ:(AN-ACX1、AN-ACY1) (2006年9月)

本機とHDMI機器の接続

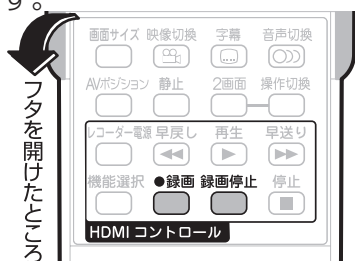
■ 本機とHDMI機器の接続方法です。
- この章以降は、AQUOSサラウンド、AQUOSレコーダーとの接続について説明しています。

おしらせ
- 接続する機器の取扱説明書を併せてお読みください。
- ファミリンク(HDMIコントロール)機能で操作できるAQUOSレコーダーは3台までです。
- 1つのAQUOSレコーダーをi.LINKとHDMIで同時に接続するときは、「i.LINK自動切換」を「しない」にしてください。(**121**ページ)
- 2つのAQUOSレコーダーを接続する場合、AQUOSサラウンドに接続されていないAQUOSレコーダーの音声をAQUOSサラウンドで聴くには、AQUOSサラウンドで入力2を選択してください。

- ケーブルの抜き差しや接続方法を変更した場合は、すべての機器の電源を入れた状態で本機の電源を入れ直し、入力5または入力6に切り換えて映像と音声が正しいことを確認してください。

本機で視聴中の番組をAQUOSレコーダーに録画する(ワンタッチ録画機能)

ワンタッチ録画を行う前に

■ AQUOSレコーダー側の録画準備をしてください。「B-CASカードが挿入されているか」、「アンテナが接続されているか」、「録画メディア(HDD、DVDなど)に容量があるか」などを確認します。

■ 録画機器を本機に接続したときは、あらかじめ、「HDMIコントロール設定」の「録画機器選択」で録画機器を設定します。(**170**ページ)
※初期設定では入力5に接続する設定になっています。

おしらせ
- 「録画機器選択」(**170**ページ)で選択したAQUOSレコーダーで受信した放送を視聴しているときは、視聴しているAQUOSレコーダーに録画を開始します。
- 「録画機器選択」(**170**ページ)で選択したAQUOSレコーダー以外で受信した放送を視聴しているときや、他の外部入力を視聴しているときは、録画ボタンを押しても録画できません。

1 リモコンフタ内のを押す

- 「録画機器選択」(**170**ページ)で選択したAQUOSレコーダーのチャンネルが、本機で視聴中のチャンネルに切り換わり、AQUOSレコーダーに録画を開始します。

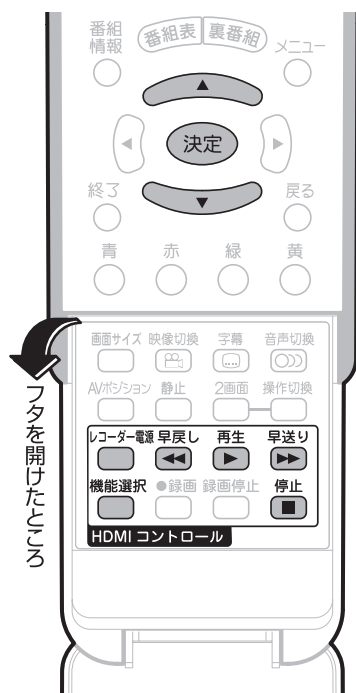
2 録画を停止するときは、録画停止を押す

本機のリモコンでAQUOSレコーダーを操作する(ワンタッチプレー機能)

■ 本機のリモコンでHDMI接続したAQUOSレコーダーを操作できます。

1 **録画した番組を再生したいときは、リモコンフタ内の［再生］を押す**

- 最後に再生または録画した番組が再生されます。
- 録画した番組の中(録画リスト)から見たい番組を選んで再生したいときは、**168**ページをご覧ください。

2 **早送りしたいときは、［早送り］を押す**
早戻ししたいときは、［早戻し］を押す
停止したいときは、［停止］を押す
AQUOSレコーダーの電源を入／切したいときは、［レコーダー電源］を押す

AQUOSサラウンドで聞く

■ AQUOSサラウンドからのみ音声を出力することができます。

1 **リモコンフタ内の［機能選択］を押す**

2 **［▲▼］で「AQUOSサラウンドで聞く」を選び、［決定］を押す**

■HDMIコントロール機能選択
AQUOSレコーダーで予約する
録画リスト
メディア切換
AQUOSサラウンドで聞く
サウンドモード切換

- 本機の音声が停止し、AQUOSサラウンドからのみ音声が出力されます。
- 本機のリモコンでAQUOSサラウンドの音量調整、消音、音声切換の操作ができます。
- 本機からの音声出力に戻したいときは、［機能選択］を押し、「AQUOSで聞く」を選びます。
- メニューの表示は、以下のようになります。

(AQUOS サラウンドから音声出力中)	(本機のスピーカーから音声出力中)
AQUOSで聞く	AQUOSサラウンドで聞く

AQUOSサラウンドのサウンドモードを手動で切り換える

■ AQUOSサラウンドのサウンドモードを手動で切り換えることができます。

1 **リモコンフタ内の［機能選択］を押す**

2 **［▲▼］で「サウンドモード切換」を選び、［決定］を押す**

■HDMIコントロール機能選択
AQUOSレコーダーで予約する
録画リスト
メディア切換
AQUOSサラウンドで聞く
サウンドモード切換
HDMI機器選択

3 **お好みのサウンドモードを選ぶ**

- サウンドモードは押すたびに切り換わります。詳しくは、AQUOSサラウンドの取扱説明書をご覧ください。

「AQUOSサラウンドで聞く」に設定中のご注意

- 本機のスピーカー、ヘッドホンの音声が停止します。
- 入力4端子設定(**116**ページ)を「モニター出力(可変)」に設定しているときは、モニター出力の音声が停止します。
- 本機のメニューの「音声調整」「スピーカー設定」「センタースピーカー入力」設定はできません。

HDMI接続した外部機器を本機のリモコンで制御する HDMIコントロール(AQUOSファミリンク)(つづき)

AQUOSレコーダーの録画リストから見たい番組を再生する

■ 本機のリモコンを使って、本機とHDMI接続したAQUOSレコーダーの録画リストから見たい番組を再生します。

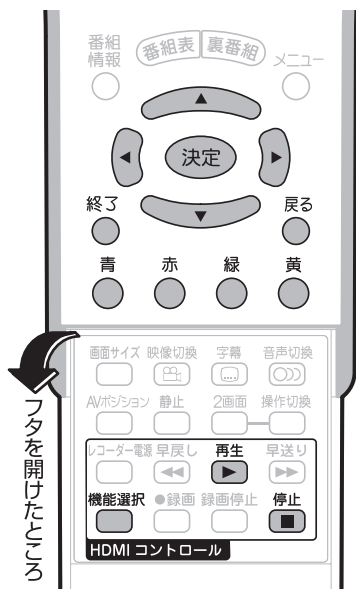
1 リモコンフタ内の機能選択を押す

2 ▲▼で「録画リスト」を選び、決定を押す

■HDMIコントロール機能選択
AQUOSレコーダーで予約する
録画リスト
メディア切換
AQUOSサラウンドで聞く

- AQUOSレコーダーの電源が入り、本機の入力が切り換わります。
- AQUOSレコーダーの録画リストが表示されます。

3 再生したい番組(タイトル)を選び、再生を押す

- 録画リストは本機のリモコンの▲▼◀▶ 決定 戻る 終了 青 赤 緑 黄で選択などの操作ができます。
- 選んだ番組が再生されます。
- 停止したいときは、停止を押します。
- 停止したときは、切り換わった入力のままです。

AQUOSレコーダーの再生・録画するメディアを切り換える

■ AQUOSレコーダーのメディア(HDD、DVDなど)を切り換えることができます。

1 リモコンフタ内の機能選択を押す

2 ▲▼で「メディア切換」を選び、決定を押す

■HDMIコントロール機能選択
AQUOSレコーダーで予約する
録画リスト
メディア切換
AQUOSサラウンドで聞く

3 レコーダーのメディアの種類(「HDD」や「DVD」など)を選ぶ

- AQUOSレコーダー側の操作したい録画メディアを選びます。
- 「メディア切換」で決定を押すごとに、メディアが順次切り換わります。

視聴するHDMI機器を切り換える

■ 複数のHDMI機器を接続している場合、視聴したいHDMI機器を選ぶことができます。

1 リモコンフタ内の機能選択を押す

2 ▲▼で「HDMI機器選択」を選び、決定を押す

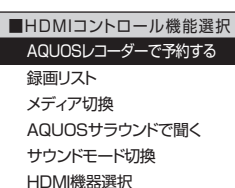
■HDMIコントロール機能選択
AQUOSレコーダーで予約する
録画リスト
メディア切換
AQUOSサラウンドで聞く
サウンドモード切換
HDMI機器選択

- 「HDMI機器選択」で 決定 を押すたびに、接続されている機器を順次切り換えていきます。(HDMIコントロールに対応していない機器を選択することはできません。)

HDMIコントロール対応のAQUOSレコーダーで予約する

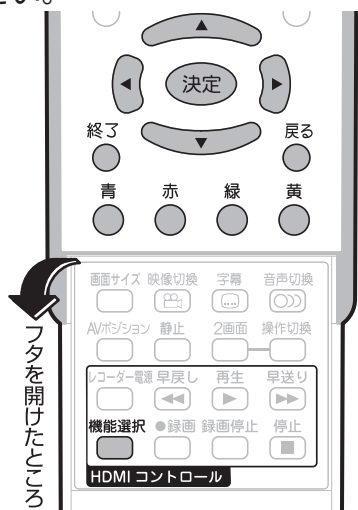
■ 本機に接続したHDMIコントロール対応AQUOSレコーダーの番組表を表示し、本機のリモコンで録画予約できます。

1 リモコンフタ内の 機能選択 を押す

2 (上下左右・決定ボタン)で「AQUOSレコーダーで予約する」を選び、(決定)を押す

- 入力が切り換わり、レコーダー側の番組表が表示されます。

3 予約したい番組を選び、録画予約の操作をする

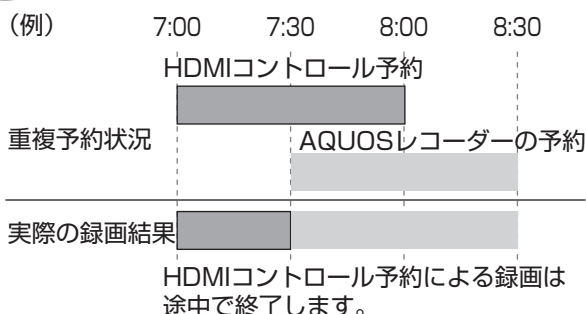
- レコーダー側の番組表は本機のリモコンの (上下左右) (決定) 戻る 終了 青 赤 緑 黄 で操作します。
- 詳しくはレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

録画予約についてのご注意

- AQUOSレコーダーと予約が重複している場合は、録画が正しく実行できないことがあります。

(例) 7:00 7:30 8:00 8:30

重複予約状況：HDMIコントロール予約 / AQUOSレコーダーの予約

実際の録画結果：HDMIコントロール予約による録画は途中で終了します。

HDMIコントロールで録画予約する

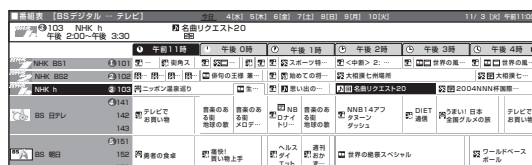
■ 本機の電子番組表(EPG)から本機に接続したAQUOSレコーダーに録画予約できます。

1 AQUOSレコーダー側の準備をする

- 本機とAQUOSレコーダーを接続します。
- HDDに録画する場合は、HDDの残量を確認します。
- DVDに録画する場合は、録画用のDVDディスクをレコーダーに挿入します。

2 ① 番組表 を押す

- 本機の電子番組表が表示されます。

② 予約したい番組を選び、(決定)を押す

- 翌日以降の番組を予約したいときは、日時指定(**85**ページ)で番組表を表示させると便利です。

3 「録画予約」を選び、(決定)を押す

4 「HDMIコントロール予約」を選び、(決定)を押す

5 「予約する」を選び、(決定)を押す

この番組をHDMIコントロール予約しますか?
予約する　予約しない

6 「戻る」で(決定)を押す

- 電子番組表(EPG)画面に戻ります。
- 「HDMIコントロール」予約が設定され、本体前面右下の予約ランプが点灯します。

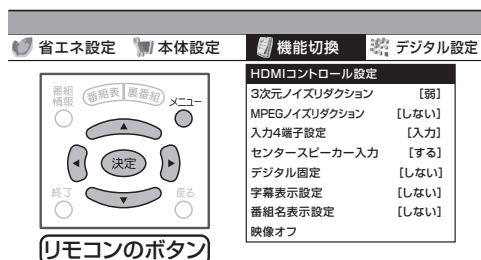
録画予約についてのご注意

- テレビはデジタル固定の状態となります。
- デジタル固定を解除すると、録画が正常にできません。

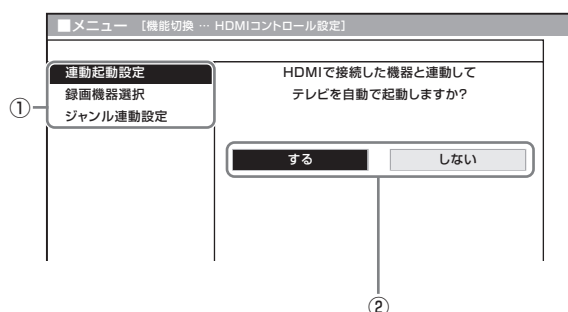
HDMI接続した外部機器を本機のリモコンで制御する HDMIコントロール(AQUOSファミリンク)(つづき)

HDMIコントロール設定をする

■ ここではHDMIコントロールに関する設定について説明します。

1 メニュー画面から「機能切換」−「HDMIコントロール設定」を選び、決定を押す

2 ① 設定したい項目を選び、決定を押す

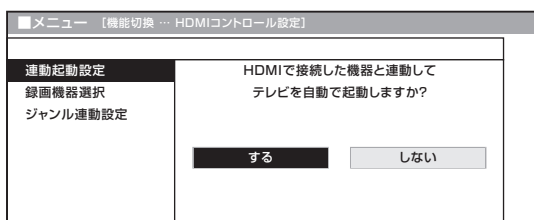
② 設定内容を選び、決定を押す

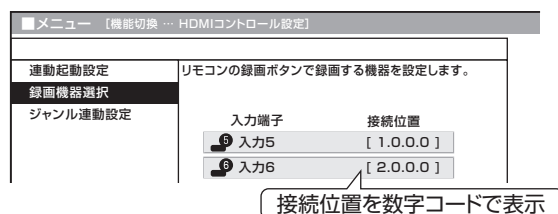
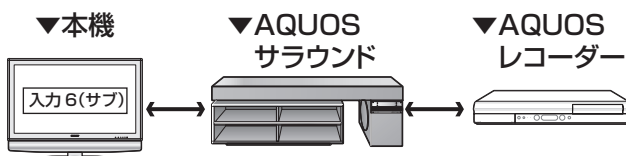
（例:「連動起動設定」を選んでいる画面）

操作終了する場合は

メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

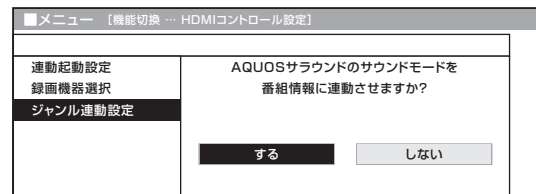
- 1つ前に戻る場合は戻る を押してください。

HDMIコントロール対応機器から本機を自動で起動する

■「連動起動設定」を「する」に設定すると、HDMIコントロール対応機器を操作したときに、電源待機状態にある本機を自動的に電源「入」にできます。

複数のレコーダーを接続時に、録画を行う機器を選ぶ

■ 複数のAQUOSレコーダーを本機に接続している場合は、「録画機器選択」で、リモコンフタ内の録画を押したときに録画を行うHDMIコントロール対応レコーダーを選択します。

■ 本機とレコーダーの間にAQUOSサラウンドなどを次のように接続した場合は、入力端子のあとに「サブ」と表示されます。

AQUOSサラウンドを番組のジャンルに適したサウンドモードに自動切換する

■「ジャンル連動設定」を「する」に設定しておくと、デジタル放送の番組のジャンル情報に従って、AQUOSサラウンドが適切なサウンドモードに切り換わります。

■ 地上アナログ放送やDVD映像はジャンル情報がないので、「サウンドモード切換」(**167**ページ)で手動で切り換えます。

- 詳しくはAQUOSサラウンドの取扱説明書をご覧ください。

インターネットに接続する

■ 本機をご家庭にあるブロードバンド環境に接続すると、本機でインターネットに接続し、「オーナーズラウンジAQUOS.jp」を表示したり、デジタル放送の双方向通信をお楽しみになることができます。

・本機をインターネットに接続するためには、ブロードバンド環境が必要です。
アナログ回線では、インターネットに接続することはできません。

本機をインターネットに接続するために

■ 次の環境（ブロードバンド環境）が必要です。

インターネット

接続	必要なもの	入手するためには	
	プロバイダー インターネット接続サービスを提供している会社です。	プロバイダーと契約してください。	くわしくは次ページの **1**
ADSL回線 CATV回線 光回線 など	**ブロードバンド回線** ご家庭とプロバイダーを接続するための回線です。	回線事業者と契約してください。	
ADSLモデム ケーブルモデム 光終端装置 など	**信号変換機器** ブロードバンド回線と接続するための機器です。	レンタルまたは、購入してください。	
	ブロードバンドルーター 複数の機器を同時にインターネットにつなぐための機器です。	必要に応じて購入してください。	くわしくは次ページの **2**
	LANケーブル ブロードバンドルーターと接続するためのケーブルです。	購入してください。	くわしくは次ページの **3**

本機のLAN端子へ

ブロードバンド環境のない場合は、お買い上げの販売店やプロバイダー、回線事業者などにご相談ください。

すでに上記のブロードバンド環境がある場合は

本機をブロードバンドルーターに接続してください。 くわしくは**174**ページ

- **本機には、プロバイダーに接続するためのユーザーIDやパスワードを登録することはできません。**
  接続に認証が必要なインターネット接続環境の場合、ブロードバンドルーターに接続情報を登録してください。

- **信号変換機器にルーター機能がある場合は**
  ブロードバンドルーターは不要です。
  信号変換機器の説明書にしたがってルーター機能をオンにしてください。なお、ご自身で別途ブロードバンドルーターを用意して接続する場合は信号変換機器のルーター機能をオフにしないと正しく通信できない場合があります。くわしくは信号変換機器やブロードバンドルーターの説明書をご覧ください。

本機をインターネットに接続するための流れ

■ このページは、前のページで確認した番号から読み進めてください。

1 サービスを提供するプロバイダーや回線事業者と契約する

• パソコン売場などにあるパンフレットなどをご覧になり、申し込むプロバイダーや回線事業者を選びます。

• プロバイダーによっては、ブロードバンド回線とセットでサービスを提供している会社もあります。
• プロバイダーの料金や回線使用料金はさまざまです。また、同じプロバイダーであっても、コースによって価格が異なります。

お申し込みになる前に

次の内容について、プロバイダーや回線事業者に確認してください。

・申し込もうとしているサービスがお住まいの地域で提供されているか？
・ブロードバンドルーターの機種に指定や制限がないか？
・インターネットに接続する機器の台数やサポートなどに指定や制限がないか？
・ADSLモデムやケーブルモデムなど信号変換機器をお客様自身で購入する必要があるか？
　購入する必要があるときは、どのような機器が必要かも確認してください。

申し込み手続きが完了すると、プロバイダーからインターネットに接続するために必要な設定情報が発行されます。

• 申し込みをされてから回線を使用できるようになるまでに、工事が必要になったり、手続きに時間がかかったりする場合があります。

2 必要に応じてブロードバンドルーターを購入する

• 信号変換機器には、ブロードバンドルーター機能が内蔵されているものもあります。
　この場合、ブロードバンドルーターは必要ありません。
　ただし、LANケーブルを接続するための端子が１つしかない場合、ハブが必要です。
　信号変換機器にブロードバンドルーター機能が内蔵されているかは、販売店やプロバイダー、回線事業者にご確認ください。

• ブロードバンドルーターは一般的にパソコン周辺機器売り場やパソコンショップで販売されています。

3 LANケーブルを購入する

• LANケーブルは一般的にパソコン周辺機器売り場やパソコンショップで販売されています。

LANケーブルをお買い求めになる前に

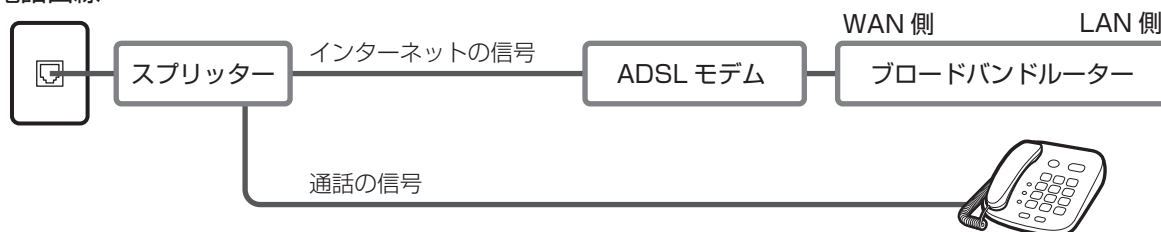
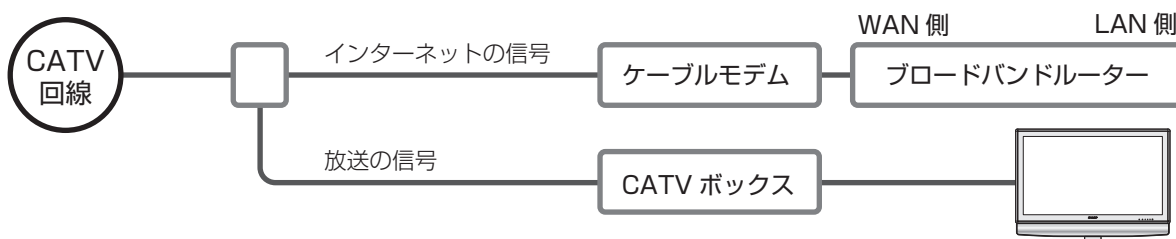
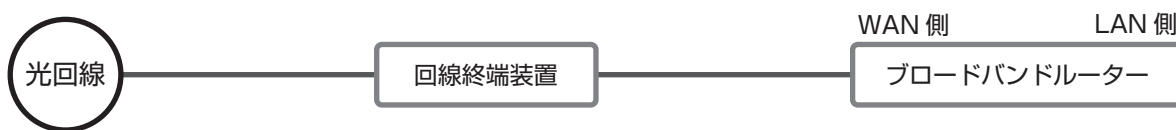
・LANケーブルの種類には、ストレートケーブルとクロスケーブルがあります。また、ケーブルの性能には、データ転送スピードの上限があります。
　ブロードバンドルーターによっては使用できるケーブルが決まっている場合がありますので、接続できるケーブルを確認してください。
・本機およびブロードバンドルーターを設置する場所を決めて、必要な長さを測っておいてください。

4 ブロードバンド回線と信号変換機器、信号変換機器とブロードバンドルーターを接続する

• 接続の際は、それぞれの機器の説明書も併せてお読みください。

ADSLモデムやケーブルモデムにルーター機能がある場合は

・ブロードバンドルーターは不要です。モデムの説明書にしたがってルーター機能をオンにしてください。
ただし、ADSLモデムやケーブルモデムの接続端子が空いていない場合は、次のイラストでブロードバンドルーターの代わりにハブを接続してください。
なお、ご自身で別途ブロードバンドルーターを用意して接続する場合はモデムのルーター機能をオフにしないと正しく通信できない場合があります。くわしくはモデムやブロードバンドルーターの説明書をご覧ください。

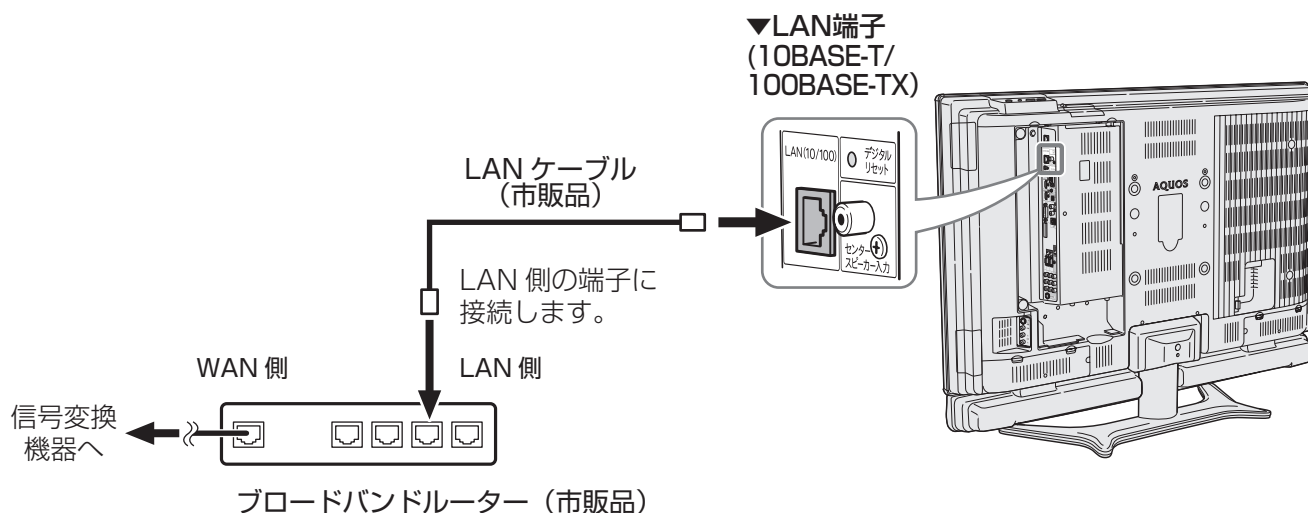
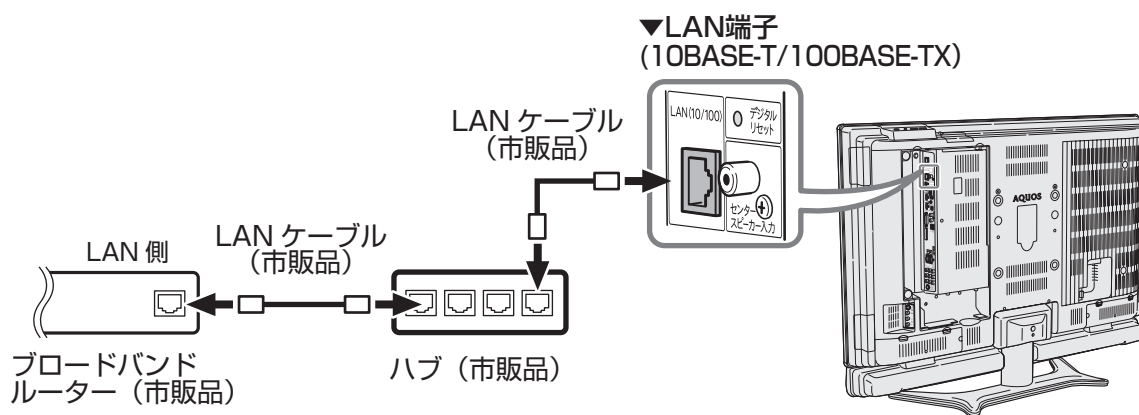
ADSL回線の場合

CATV回線の場合

光回線の場合

※ 接続について詳しくは、お申し込みになったプロバイダーや回線事業者に確認してください。

5 ブロードバンドルーターの設定をする

• プロバイダーから提供された設定情報（接続のためのユーザーIDやパスワード、IPアドレス、DNSなど）をブロードバンドルーターに設定します。
• 設定の操作については、ブロードバンドルーターの説明書をご覧ください。
※設定にはパソコンが必要になる場合があります。パソコンをお持ちでない方は、お買い上げの販売店や、お申し込みになったプロバイダーや回線事業者にご相談ください。

ブロードバンドルーターの設定ができたら、本機とブロードバンドルーターを接続します。次のページへ進んでください。

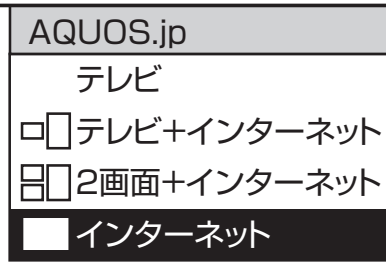
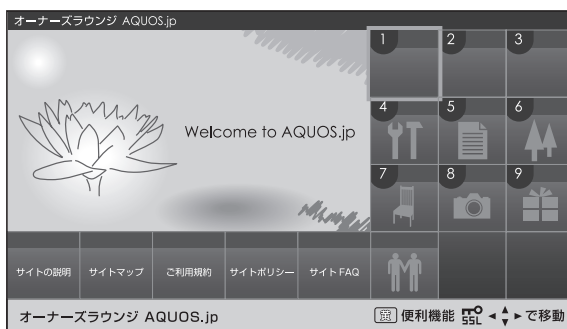
ブロードバンドルーターと接続する

■ 本機のLAN端子とブロードバンドルーターのLAN側の端子をLANケーブルで接続します。

ブロードバンドルーターのLAN側の端子が空いていないときは
・ブロードバンドルーターに市販のハブを接続し、ハブのLAN端子と本機のLAN端子を接続してください。

無線LANの接続について
・LAN端子との接続において、無線LAN機器の接続につきましては、動作検証されておりませんので、ご利用は推奨いたしておりません。

インターネットに接続できるか確認する

■ インターネット上のAQUOS.jpにアクセスして正しく表示されるかどうかを確認します。

1 AQUOS.jp を押す

2 AQUOS.jp または（上下ボタン）で「インターネット」を選び、決定を押す

• ブラウザが起動し、AQUOS.jpが表示されます。

※AQUOS.jpの表示内容は一例です。

AQUOS.jpが表示されたら

・インターネットへの接続は完了です。
AQUOSでインターネットをお楽しみください。
インターネットについての操作は「**インターネットを活用する**」（**178**ページ）をご覧ください。

AQUOS.jpが表示されなかったときは

・「LAN接続していません」または、エラーメッセージが表示されます。
終了を押して、テレビの画面に戻してから「**インターネットに接続できないときは**」（次のページ）をご覧になってインターネットに接続してください。

インターネットに接続できないときは

本機のネットワークの設定を確認する

インターネットの画面を表示しているときは
・本機のネットワーク設定を確認する前に、終了ボタンを押してインターネットの画面からテレビの画面に切り換えておいてください。

1 ① メニューを押し、メニュー画面を表示する
② 「デジタル設定」－「通信設定」を選び、決定を押す
・通信設定画面が表示されます。

2 で「LAN設定」を選び、決定を押す

3 各項目に数値が表示されているか確認する

※この画面に表示されている数値は一例です。お客様のネットワーク環境によって表示される数値は異なります。

各項目に数値が表示されている場合

・下記「その他の原因について」をご覧ください。

各項目が空欄の場合

次の項目を確認してください。

・ブロードバンドルーターの電源が入っていますか。
ブロードバンドルーターによっては、電源を入れてから使用できるようになるまで少し時間のかかるものもあります。
・本機のLAN端子とブロードバンドルーターのLAN端子が、正しく接続されていますか。
・ブロードバンドルーターのDHCP機能（IPアドレスなどを自動で割り当てる機能）が有効になっていますか。
DHCP機能を使用しない場合は、LAN設定でIPアドレスなどを入力してください。（次のページ）

プロキシサーバーの指定が必要な場合

・プロバイダーなどからプロキシサーバーを指定されている場合は、LAN設定で入力してください。（次のページ）

その他の原因について

■ LAN設定を確認しても原因がわからないときは、次の内容を確認してください。

・接続する機器の電源は入っていますか？
・ブロードバンドルーターとADSLモデムやケーブルモデム、回線終端装置などが正しく接続されていますか？
・ブロードバンド回線とADSLモデムやケーブルモデム、回線終端装置などが正しく接続されていますか？
・ブロードバンドルーターのインターネット接続に関する設定は正しく設定されていますか？
・ブロードバンド環境を使ってインターネットを活用している方は、パソコンなどがインターネットに接続できるか確認してみてください。
・メニューの「デジタル設定」－「双方向サービス設定」を「禁止しない」に設定してください。（**200**ページ）
・ここに記載している項目をすべて確認しても原因がわからないときは、プロバイダーや回線事業者にお問い合わせください。

LAN設定を変更する

・IPアドレスなどを手動で設定する場合やプロキシサーバーを指定する場合は、LAN設定を変更します。

・LAN設定を変更するときは、終了ボタンを押してインターネットの画面からテレビの画面に切り換えておいてください。
インターネットの画面を表示している間は、LAN設定を変更しても、有効にはなりません。

1 前ページの手順3の画面で、(決定)で「変更する」を選び、(決定)を押す

2 IPアドレスなどを入力する場合、(決定)で「しない」を選び、(決定)を押す

• このページ右下の「IPアドレスなどの入力のしかた」をご覧になり、ブロードバンドルーターの設定に合わせて、IPアドレス、ネットマスク、ゲートウェイを入力してください。

入力する必要がない場合

• 「する」を選び、(決定)を押したあと、「次へ」を選んで(決定)を押します。

3 DNSのIPアドレスを入力する場合、(決定)で「しない」を選び、(決定)を押す

• このページ右下の「IPアドレスなどの入力のしかた」をご覧になり、プロバイダーから発行された資料にもとづいて、DNSのIPアドレスを入力してください。
• セカンダリの指定がない場合は、空欄のまま入力を完了してください。

入力する必要がない場合

• 「する」を選び、(決定)を押したあと、「次へ」を選んで(決定)を押します。

プロバイダーから発行された資料で、DNSのアドレスが見つからないとき

・DNSは、ドメインネームサーバーやネームサーバーと記載される場合もあります。

4 プロキシサーバーの指定が必要な場合、(決定)で「する」を選び、(決定)を押す

• プロバイダーから指定されているプロキシサーバーのアドレスとポート番号を入力してください。文字の入力方法について詳しくは、**182**ページをご覧ください。

入力する必要がない場合

• 「しない」を選び、(決定)を押したあと、「次へ」を選んで(決定)を押します。

5 (決定)で「しない」を選び、(決定)を押す

• 設定した内容が表示されます。
• より詳細な設定では、LAN接続スピードを設定できます。
通常は、工場出荷時状態(自動検出)で使用することができます。
LAN接続スピードを固定したい場合は、「する」を選び、モードを選んでください。

6 「完了」で(決定)を押す

・設定した内容を消去するときは、手順1の画面で「初期化する」－「する」を選びます。

設定項目について

●IPアドレス:
TCP/IPネットワークに接続されたネットワーク機器に個別に割り振られた識別番号です。

●ネットマスク:
TCP/IPネットワークを複数の小さなネットワークに分割して識別管理する識別番号です。

●ゲートウェイ:
異なるネットワークを相互に通信可能にする機器の識別番号です。

IPアドレスなどの入力のしかた

1 (決定)で入力欄を選び、(決定)を押す

• ソフトウェアキーボードが表示されます。

2 ① (決定)で「数字半角」を選ぶ

② (決定)で文字を選び、(決定)を押す

③ ②を繰り返し入力したい文字をすべて入力欄に表示する

3 黄 ● を押す

• 入力欄の文字が入力されます。

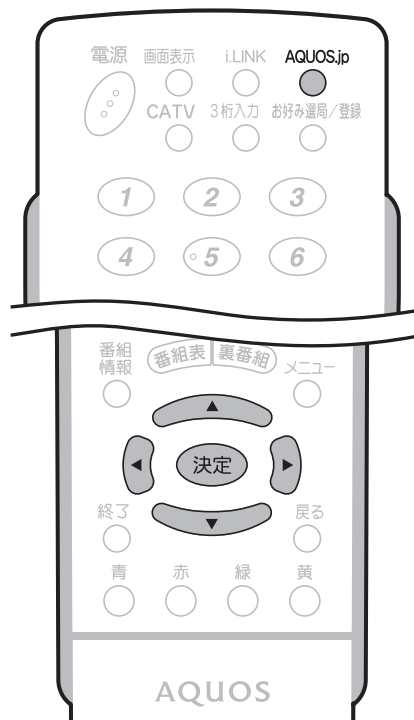
IPアドレス	192	---	---	---

4 手順 1 ～ 3 を繰り返し、すべての項目を入力する

5 (決定)で「次へ」を選び、(決定)を押す

AQUOS.jpを表示する

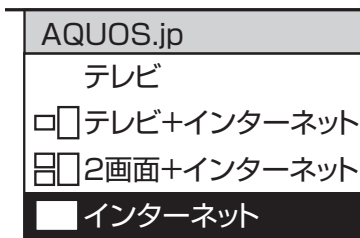
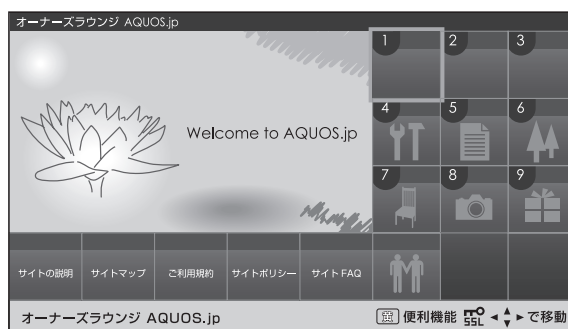
■ AQUOSのお客様のためのサイトとして、「AQUOS.jp」を公開しています。AQUOSの活用のしかたやよくあるお問い合わせなど、お客様にとってお役に立つ情報を提供していますのでご活用ください。

■ AQUOS.jpを表示するためには、あらかじめ本機をブロードバンド回線に接続しておいてください。（**171**ページ）

パソコンでインターネットを活用されているお客様へ

■ 本機でインターネットを活用するときは、パソコンの一般的なブラウザと比べて動作の異なる場合があります。ご了承ください。

- ファイルのダウンロードはできません。
- 表示したページの履歴を表示することはできません。
- ブラウザを起動したときに表示されるページ（AQUOS.jp を押したあと最初に表示されるページ）を変更することはできません。
- ポップアップウインドウは、別のタブで表示されます。
- ページによっては、動画や音声が再生されなかったり、文字や画像が正しく表示されなかったりする場合があります。

1 **AQUOS.jp を押す**

2 **AQUOS.jp または ▲▼ で「インターネット」を選び、決定 を押す**

- ブラウザが起動し、AQUOS.jpが表示されます。

※AQUOS.jpの表示内容は一例です。

- インターネットの画面を表示しているときに電源プラグが抜けたり、停電などによって電源が切れたりすると、ブックマークやCookieなどの情報が正しく保存されない場合があります。

セキュリティの通知画面が表示されたとき

- 決定ボタンを押すと、画面が消えます。
- この画面は、セキュリティで保護されているページを表示するときや、セキュリティで保護されているページから保護されていないページに切り換わるときに表示されます。
- この画面を表示させるかどうかは、ブラウザメニューのセキュリティで設定することができます。（**190**ページ）

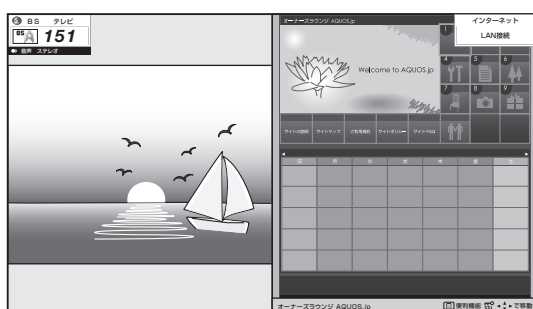
Cookieの確認画面が表示されたとき

- Cookieを受信するかどうかを選んで、決定ボタンを押してください。
- Cookieとは、表示しているWebサイトから書き込まれる情報のことです。書き込まれる情報はWebサイトによって異なります。
- この画面を表示させるかどうかは、ブラウザメニューのCookie設定で設定することができます。また、Cookieはまとめて削除することができます。（**191**ページ）

同時にテレビも見るときは

1 AQUOS.jp を押す

2 AQUOS.jp または 決定 で「テレビ＋インターネット」または「2画面＋インターネット」を選び、決定 を押す

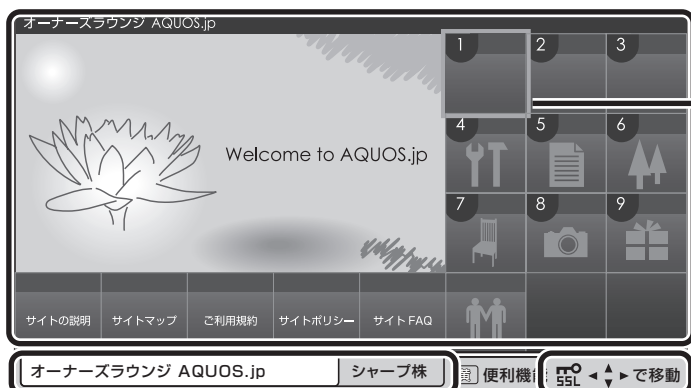
- ブラウザが起動し、AQUOS.jpが表示されます。
  (画面例)テレビ＋インターネットの場合

※AQUOS.jpの表示内容は一例です。

テレビと同時に表示したときは

- テレビの音声のみ流れます。
  インターネット上の音声を聞くことはできません。
- テレビのチャンネルは選局ボタンで切り換えてください。数字ボタンでは、選局できません。
- 「2画面＋インターネット」の場合、左半分のテレビ画面については、2画面で表示したときと基本的な操作は同じです。2画面の操作については「2画面で見る」(**160**ページ)をご覧ください。

- テレビとインターネットの画面の位置を入れ替えることはできません。
- ツールバー(**181**ページ)やブラウザメニュー(**187**ページ)を表示しているときにAQUOS.jpボタンを押して画面を切り換えると、ツールバーやブラウザメニューは消えます。

画面の見かた

※AQUOS.jpの表示内容は一例です。

ページの内容が表示されます。

黄色の枠で囲まれているところ
現在、選んでいる項目（リンクや文字入力欄など）です。

タブ　複数のページを表示すると表れます。詳しくは次のページをご覧ください。

ここでページの状態を確認できます。

- SSL：セキュリティで保護されているページの場合、明るく表示されます。
- ◂▴▾▸：ページの続きがあるとき、その方向が明るく表示されます。

ページの中に ☒ が表示されたとき
ページの読み込みに失敗したか、本機で表示できない形式の画像などの場合に表示されます。
ツールバーの「再読み込み」(**181**ページ)を選んで、ページを表示しなおしてみてください。

インターネットを活用する（つづき）

ブラウザの基本操作

■ 本機のインターネットに関する操作は、リモコンとブラウザのツールバーを使います。

表示しているページが数字ボタンの操作に対応している場合、各ボタンに割り当てられた機能が動作します。

※機能は表示しているページによってことなります。

※AQUOS.jpを表示しているときは、画面右側の項目に対応したリンク先のページが表示されます。

※AQUOS.jpの表示内容は一例です。

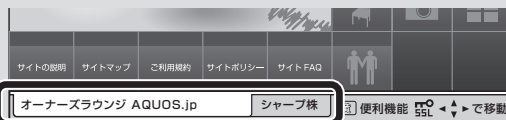
ページの続きを見る・リンクを選ぶ

リンクを選んでいるときは、決定 でリンク先のページが表示されます。

1つ前のページを表示する

黄 ツールバー（便利機能）を表示する

青 見ているページを消さずに別のページを表示する

・新しいタブに別のページが表示されます。

・タブは3つまで表示できます。
すでにタブを3つ表示しているときは、一番右のタブに表示されているページが書き換わります。

・見ているタブを消すときは 赤 を押します。

・タブ操作メニューでタブの操作ができます。

緑 タブ操作メニューを表示する

・タブ操作メニューでタブの切換などができます。

テレビの画面に戻す

ブラウザの操作を終了するときに押します。

インターネットの画面だけを表示しているときは、選局（∧順 / ∨逆）ボタンや放送切換ボタンでもテレビの画面に戻ります。

ページの続きを見るときは

■ ページに続きがあるときは、画面右下の ◀▲▼▶ が明るく表示されます。

■ 見たい方向のカーソルボタンを押すと、隠れている部分が表示されます。

■ 押した方向にリンクのある文字や画像があるときは、先に文字や画像が選ばれます。この場合は数回同じ方向のボタンを押してください。

※AQUOS.jpの表示内容は一例です。

ツールバー（便利機能）の使い方

■ ツールバーには、操作するための項目が並べられています。
■ 左右ボタンで項目を選んで決定を押すと、選んだ機能が実行されます。

リンク先のページを新しいタブで表示します。

タブ操作メニューを表示します。

1つ前のページに戻ります。

前のページを見たあとに元のページに再び進みます。

ページを再表示します。ページを読み込んでいるときは、読み込みを中止します。

AQUOS.jpを表示します。

URLを入力するときに選びます。（**184** ページ）

ブックマークを開くときに選びます。（**185** ページ）

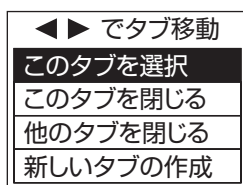
表示中のページをブックマークに登録します。

ブラウザメニューを表示します。（**187** ページ）

タブを切り換えるには

1 緑 **を押す**

• タブ操作メニューが表示されます。

◀ ▶ でタブ移動
このタブを選択
このタブを閉じる
他のタブを閉じる
新しいタブの作成

• ツールバーの「タブ操作」を選んでも、タブ操作メニューが表示されます。

2 ◀▶ **で操作したいタブを選ぶ**

3 ▲▼ **で「このタブを選択」を選び、** 決定 **を押す**

文字入力のしかた

■ 文字はソフトウェアキーボードで入力します。
　ソフトウェアキーボードは、文字入力できる欄を選んで（決定）を押すと、表示されます。

（画面例）

ソフトウェアキーボード

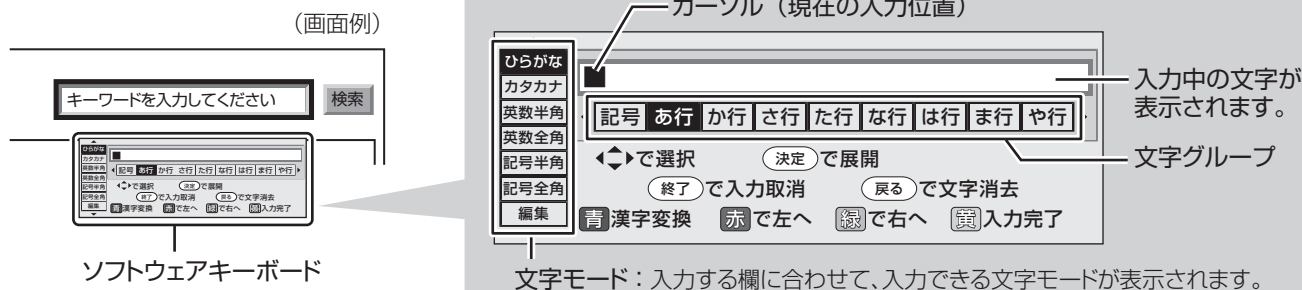
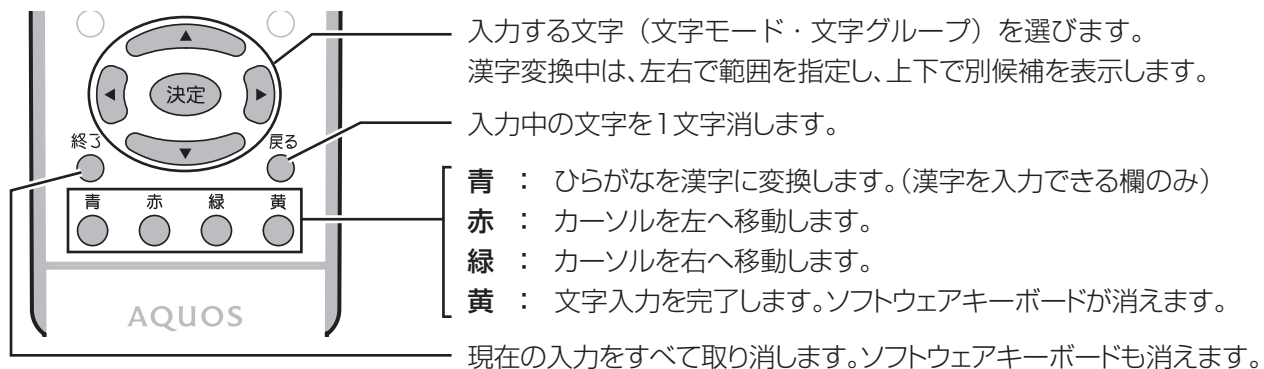
文字モード：入力する欄に合わせて、入力できる文字モードが表示されます。

文字の入力に使うリモコンのボタン

入力する文字（文字モード・文字グループ）を選びます。
漢字変換中は、左右で範囲を指定し、上下で別候補を表示します。

入力中の文字を1文字消します。

青 ： ひらがなを漢字に変換します。（漢字を入力できる欄のみ）
赤 ： カーソルを左へ移動します。
緑 ： カーソルを右へ移動します。
黄 ： 文字入力を完了します。ソフトウェアキーボードが消えます。

現在の入力をすべて取り消します。ソフトウェアキーボードも消えます。

入力できる文字の一覧

文字モード	入力できる文字
ひらがな	（下表）

記号	ー、。・「」ー(全角ハイフン)		
あ行	あいうえおぁぃぅぇぉ		
か行	かきくけこ゛	さ行	さしすせそ゛
た行	たちつてとっ゛	な行	なにぬねの
は行	はひふへほ゛゜	ま行	まみむめも
や行	やゆよゃゅょ	ら行	らりるれろ
わ行	わをんゎ		
空白	（全角スペース）		

カタカナ　ひらがなと同じ文字をカタカナで入力できます。

英数半角

数字	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0		
ABC	a b c A B C	DEF	d e f D E F
GHI	g h i G H I	JKL	j k l J K L
MNO	m n o M N O	PQRS	p q r s P Q R S
TUV	t u v T U V	WXYZ	w x y z W X Y Z
空白	（半角スペース）		

英数全角　「英数半角」と同じ文字を全角で入力できます。

文字モード	入力できる文字
英字半角	半角のアルファベットを入力できます。文字グループの内容は「英数半角」のアルファベットと同じです。
数字半角	半角の数字を入力できます。

記号半角

<table>
<tr><td>@ . , :</td><td>@ . , :</td><td>; _ − ¥</td><td>; _ − ¥</td></tr>
<tr><td>$ % ! ?</td><td>$ % ! ?</td><td>& # + *</td><td>& # + *</td></tr>
<tr><td>= / | ~</td><td>= / | ~</td><td>” ’ ^ `</td><td>” ’ ^ `</td></tr>
<tr><td>( ) < ></td><td>( ) < ></td><td>[ ] { }</td><td>[ ] { }</td></tr>
<tr><td>空白</td><td colspan="3">（半角スペース）</td></tr>
</table>

記号全角　「記号半角」と同じ文字を全角で入力できます。

編集

入力取消　左へ　右へ　入力完了

文字消去　改行

カラーボタンや戻るボタンなどを押したときと同じ働きをします。
「改行」は改行ができる場合のみ表示されます。

■ ここでは、例として「場所」と入力する手順を説明します。

1 文字を入力できる欄を選び、決定を押す

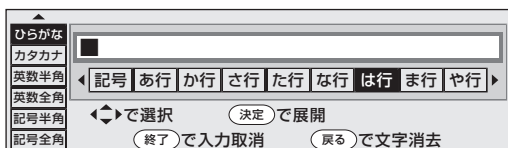
• ソフトウェアキーボードが表示されます。

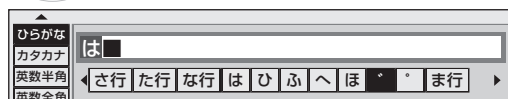
文字を選ぶ

• 上下で文字モードから文字の種類を選び、左右で入力したい文字を選びます。

2

① 上下で「ひらがな」を選ぶ

② 左右で「は行」を選び、決定を押す

③ 左右で「は」を選び、決定を押す

④ 左右で「゛」を選び、決定を押す

• 「は」が「ば」になります。

3 同じようにして「し」「ょ」を入力します

• 入力中に文字を消去する場合は、カラーボタン赤（左へ）または緑（右へ）でカーソルを移動し戻るボタンを押します。

文字入力の制限について

• 1つの入力欄に入力できる文字数は全角で64文字まで、半角で128文字までです。
• 文字が入力されている欄を選んだときは、入力済みの文字が入力欄に表示されます。
このとき、全角で64文字（半角の場合は128文字）を超える文字は削除されます。

漢字に変換する

• 漢字を入力できる欄では、ひらがなを漢字に変換することができます。

4 入力欄にひらがなが表示された状態で、青を押す

• ひらがなが漢字に変換されます。

• 上下で別の候補を表示できます。
• 左右で変換する範囲を変更できます。

5 入力したい文字（ここでは「場所」）が表示されたら、決定を押す

• 文字が確定します。

文字入力を完了する

6 黄を押す

• 入力中の文字が、サイト上の入力欄などに入力され、ソフトウェアキーボードが消えます。
これで文字の入力は完了です。

スペースを入力するとき

左右で文字グループから「空白」を選び、決定を押す

• 文字モードにより、半角スペースと全角スペースがあります。

改行するとき

1 上下で「編集」を選ぶ

2 左右で「改行」を選び、決定を押す

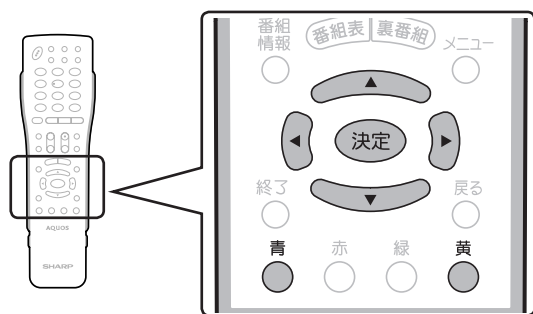
• 改行マークが表示されます。入力を完了したとき、改行マークの位置で改行されます。

• 入力欄によっては、改行できない場合もあります。
• 改行マークは、全角1文字として数えられます。

ツールバーの操作は

黄を押して表示し、◀▶で選ぶ

▼ ツールバー

メニュー

操作を終了するときは

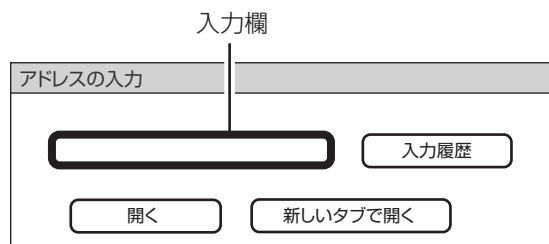
黄を押し、表示された画面を消す

URLを入力してページを表示する

■ 雑誌や広告などに記載されているURLを入力してページを表示することができます。

URLとは
- インターネット上のページを特定するための情報です。一般的に「http://」から始まります。

1 ツールバーの(アドレスの入力)を選び、決定を押す
- アドレスの入力画面が表示されます。

2 ▲▼◀▶で入力欄を選び、決定を押す

- ソフトウェアキーボードが表示されます。

3 表示したいページのURLを入力する
- 文字入力の方法については**182**ページをご覧ください。

4 ▲▼◀▶で「開く」を選び、決定を押す
- 入力したURLのページが表示されます。

一度URLを入力して表示したページを表示するときは(入力履歴)

- URLを入力して表示したページは、入力履歴の一覧から選んで表示させることができます。

1 ツールバーの(アドレスの入力)を選び、決定を押す
- アドレスの入力画面が表示されます。

2 ▲▼◀▶で「入力履歴」を選び、決定を押す
- 入力履歴の一覧が表示されます。

(画面例)

3 ▲▼◀▶で表示したいページのURLを選び、決定を押す
- アドレスの入力画面に戻ります。入力欄には、選んだURLが入力されています。

入力履歴を削除するときは

1 入力履歴の一覧で、削除したいURLを選び、青を押す
- 入力履歴メニューが表示されます。

2 ▲▼◀▶で「削除」を選び、決定を押す
- 入力履歴をすべて削除したいときは「すべて削除」を選びます。

3 ◀▶で「する」を選び、決定を押す

表示しているページのURLを保存する（ブックマーク登録）

■ ページをブックマークに登録しておくと次に表示するときブックマーク一覧から選ぶだけで、そのページを表示させることができます。

1 **ブックマークに登録したいページを表示する**

2 **ツールバーの（ブックマークに登録）を選び、決定を押す**

3 **で「する」を選び、決定を押す**

• 表示しているページがブックマークに登録されます。

ブックマークに登録したページを開く

1 **ツールバーの（ブックマークを開く）を選び、決定を押す**

• ブックマークの一覧が表示されます。

（画面例）

2 **で表示したいページを選び、決定を押す**

• 選んだページが表示されます。
• ブックマークを11以上登録しているときは、でブックマーク一覧の表示を切り換えてください。

ブックマークを新しいタブで開くときは

• 決定ボタンの代わりに青ボタンを押し、「新しいタブで開く」を選んで決定を押します。

ブックマークを編集する

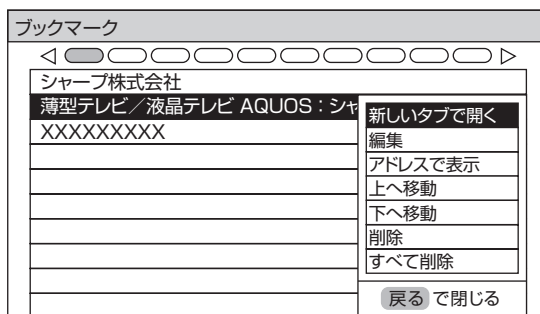
■ ブックマークのタイトルやURLを編集したり、一覧の表示順を変更することができます。

タイトルやURLを編集する

1 ① **ツールバーの（ブックマークを開く）を選び、決定を押す**

② **でタイトルやURLを変更したいブックマークを選び、青を押す**

• ブックマークメニューが表示されます。

（画面例）

2 **で「編集」を選び、決定を押す**

• ブックマークの編集画面が表示されます。

3 **でタイトル欄またはアドレス欄を選び、決定を押す**

• ソフトウェアキーボードが表示されます。

4 **タイトルやURLを入力する**

• 文字入力の方法については**182**ページをご覧ください。

5 **編集が終わったら、で「する」を選び、決定を押す**

• 入力した文字が保存されます。

次ページへつづく

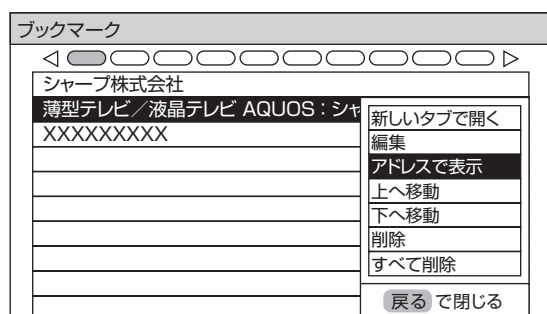
ブックマーク一覧の表示を変更するときは

1 ツールバーの♡(ブックマークを開く)を選び、(決定)を押す

2 (青)を押す

- ブックマークメニューが表示されます。

3 ブックマークメニューの「アドレスで表示」または「タイトルで表示」を選んで、(決定)を押す

(画面例)

- ブックマークの表示が変更されます。

表示順序を入れ替えるときは

1 ① ツールバーの♡(ブックマークを開く)を選び、(決定)を押す

② (▲▼)で表示順序を変更したいブックマークを選び、(青)を押す

- ブックマークメニューが表示されます。

2 (▲▼)で「上へ移動」または「下へ移動」を選び、(決定)を押す

- 表示順序が入れ替わります。

ブックマークを削除するときは

1 ① ツールバーの♡(ブックマークを開く)を選び、(決定)を押す

② (▲▼)で削除したいブックマークを選び、(青)を押す

- ブックマークメニューが表示されます。

2 (▲▼)で「削除」を選び、(決定)を押す

- ブックマークをすべて削除したいときは「すべて削除」を選びます。

3 (◀▶)で「する」を選び、(決定)を押す

ブラウザの設定を確認・変更する

ブラウザメニューについて

■ ブラウザの設定はブラウザメニューで確認・変更できます。
　ツールバーから ［メニューアイコン］（メニュー）を選ぶとブラウザメニューが表示されます。
■ ブラウザメニューには表示設定メニューとセキュリティ設定メニューがあります。

ブラウザメニューの表示は

黄 を押して、ツールバーから ◀ ▶ で ［メニューアイコン］（メニュー）を選ぶ

▼ ツールバー

メニュー

操作を終了するときは

黄 を押し、ブラウザメニューを消す

表示設定メニュー

表示設定　セキュリティ設定

拡大・縮小表示
文字コード
ページ情報
リセット

ページの拡大・縮小の表示設定を選択してください。

○ 拡大
◉ 標準
○ 縮小

決定キーを押すと設定が反映されます。

◀▲▼▶で選択　決定で実行　戻るで前の画面に戻る

拡大・縮小表示（**189**ページ）
ページの表示を拡大・縮小できます。

文字コード（**189**ページ）
文字コードを変更できます。

ページ情報（**189**ページ）
ページの情報を確認できます。

リセット（**189**ページ）
ブラウザメニューの設定内容を工場出荷時の状態に戻します。

セキュリティ設定メニュー

セキュリティ（**190**ページ）
セキュリティで保護されたページとされていないページを移動するときにメッセージを表示するかを設定したり、本機に保存されているルート証明書や機器証明書を確認できます。

Cookie設定（**191**ページ）
Cookieについて設定します。

サーバー証明書（**191**ページ）
表示しているページのサーバー証明書を確認できます。

ブラウザ情報
ブラウザの情報を表示します。

次ページへつづく

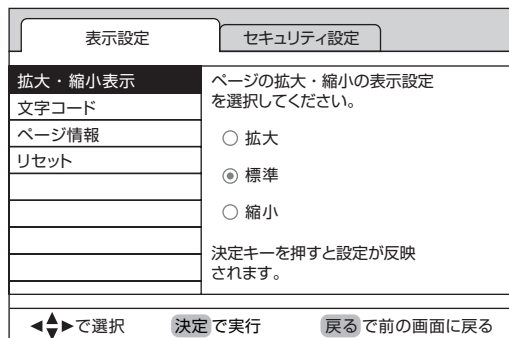
ブラウザの設定を確認・変更する(つづき)

ブラウザメニューの操作のしかた

■ ここでは、ブラウザメニューの基本的な操作の流れを説明します。

1 ① 黄を押し、ツールバーを表示する

② ◀▶で（メニュー）を選び、決定を押す

• ブラウザメニューが表示されます。

2 ① ◀▶で「表示設定」または「セキュリティ設定」を選ぶ

② ▲▼で変更する項目を選び、決定を押す

3 設定の変更や内容の確認をする

• 各項目の詳しい操作については、**189**〜**191**ページをご覧ください。

• 1つ前の画面に戻るときは、戻るを押します。

4 変更や確認が終わったら、黄を押してブラウザメニューを消す

表示サイズを変更する（拡大・縮小表示）

■ ページの表示サイズを変更できます。

表示設定	セキュリティ設定
拡大・縮小表示	ページの拡大・縮小の表示設定を選択してください。
文字コード	○ 拡大
ページ情報	◉ 標準
リセット	○ 縮小
	決定キーを押すと設定が反映されます。

◄▲▼►で選択　決定で実行　戻るで前の画面に戻る

（上下左右キー）で表示したいサイズを選んで（決定）を押します。

• 文字のサイズだけを大きくすることはできません。

ページの文字が正しく表示されないときは（文字コード）

■ ページ上の文字が正しく表示されないときは文字コードを変更すると、正しく表示される場合があります。

表示設定	セキュリティ設定
拡大・縮小表示	現在表示中のページを選択した文字コードで表示します。
文字コード	◉ 日本語(Shift_JIS)
ページ情報	○ 日本語(ISO-2022-JP)
リセット	○ 日本語(EUC-JP)
	○ 西ヨーロッパ言語(ISO-8859-1)
	○ Unicode(UTF-8)
	決定キーを押すと設定が反映されます。

◄▲▼►で選択　決定で実行　戻るで前の画面に戻る

（上下左右キー）で文字コードの種類を選んで（決定）を押します。

ページの情報を確認する

■ 表示しているページの情報を確認することができます。

情報が途中で切れている場合は（決定）を押すと、（上下キー）で続きを確認できるようになります。
確認が終わったら（戻る）を押してください。

ブラウザの設定を工場出荷時の状態に戻す（リセット）

■ ブラウザメニューで設定できる項目を工場出荷時の状態に戻すことができます。

• 各証明書の有効/無効（**190**ページ）は戻りません。

1 ブラウザメニューを表示し、（上下左右キー）で「表示設定」を選び、（決定）を押す

2 （上下キー）で「リセット」を選び、（決定）を押す

• 確認の画面が表示されます。

3 （左右キー）で「する」を選び、（決定）を押す

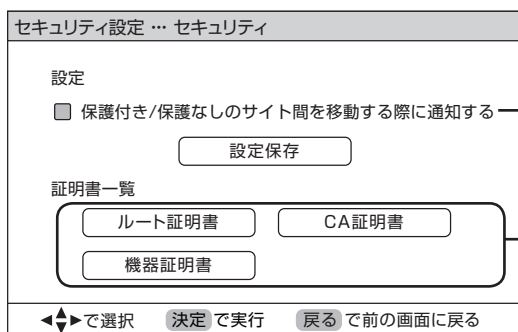
■ ブラウザメニューの基本操作については、**188**ページをご覧ください。

操作を終了するときは

（黄）を押し、ブラウザメニューを消す

セキュリティの設定をする/本機のルート証明書・CA証明書・機器証明書を確認する(セキュリティ)

■ この画面では、次のことができます。
・セキュリティで保護されたページとされていないページを移動するときにメッセージを表示するかどうかの設定
・本機に保存されている証明書の確認と有効・無効の切り換え

セキュリティ設定 … セキュリティ
設定
□ 保護付き/保護なしのサイト間を移動する際に通知する
設定保存
証明書一覧
ルート証明書　CA証明書
機器証明書
◀▲▼▶で選択　決定 で実行　戻る で前の画面に戻る

チェックをつけるとセキュリティで保護されたページとされていないページを移動するときにメッセージが表示されます。変更するときは、チェックの付け外しをし、「設定保存」を選び 決定 を押してください。

各証明書の一覧を表示します

証明書を確認するとき

1 上記の画面で ◀▶ で確認したい証明書の種類を選び、決定 を押す
• 証明書の一覧画面が表示されます。

2 ▲▼◀▶ で確認したい証明書を選び、決定 を押す
• 選んだ証明書の内容が表示されます。
• 情報が途中で切れている場合は 決定 を押すと、▲▼ で続きを確認できるようになります。
確認が終わったら 戻る を押してください。

証明書を無効にするとき

1 上記の画面で ◀▶ で無効にしたい証明書の種類を選び、決定 を押す
• 証明書の一覧画面が表示されます。

2 ▲▼◀▶ で無効にしたい証明書を選び、青 を押す
• サブメニューが表示されます。

3 ▲▼ で「無効にする」を選び、決定 を押す
• 無効にした証明書は証明書の一覧画面でチェックが外れます。

ブラウザメニューの表示は

黄 を押して、ツールバーから ◀▶ で (メニュー)を選ぶ
▼ ツールバー
メニュー

■ ブラウザメニューの基本操作については、188ページをご覧ください。

操作を終了するときは

黄 を押し、ブラウザメニューを消す

Cookieの設定を変更する

■ Cookieの受信方法の設定と、受信したCookieを削除することができます。

セキュリティ設定 … Cookie設定

Cookie受信設定

フォーカスを合わせて決定キーを押すと設定が反映されます

○ 受信する
○ 受信しない
◉ 受信前に確認する

Cookie削除

Cookieをすべて削除

▲▼ で選択　決定 で実行　戻る で前の画面に戻る

- （上下左右ボタン）で選びたい設定を選んで（決定）を押します。
- 「受信前に確認する」にしておくとCookieを使用するページを表示するときに確認のメッセージが表示されます。Cookieを受信するかどうかを選んで（決定）を押してください。

Cookieをすべて削除するときは

・Cookieを削除すると、入力した情報を再度入力する必要があります。

1 上記の画面で（上下左右ボタン）で「Cookieをすべて削除」を選び、（決定）を押す

2 （上下左右ボタン）で「する」を選び、（決定）を押す

サーバー証明書を確認する

■ セキュリティで保護されているページのサーバー証明書を確認することができます。

セキュリティ設定 … サーバー証明書

[発行元]
<一般名（CN）>
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
<組織単位名（OU）>
XXXXXXXXXXXXXXXXX
<組織名（O）>
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
<国名（C）>
US
[発行元]

決定キーを押してからカーソル上下で情報の続きを確認します。

戻る で前の画面に戻る

- 情報が途中で切れている場合は（決定）を押すと、（上下左右ボタン）で続きを確認できるようになります。
- 確認が終わったら（戻る）を押してください。

ブラウザメニューの表示は

（黄）を押して、ツールバーから（左右ボタン）で（メニュー）を選ぶ

▼ ツールバー

■ ブラウザメニューの基本操作については、**188**ページをご覧ください。

操作を終了するときは

（黄）を押し、ブラウザメニューを消す

インターネット用語集

■ ADSL 回線

ブロードバンド回線のひとつで、アナログ固定電話回線の音声通話に使用しない帯域を使った回線です。

■ CATV 回線

ブロードバンド回線のひとつで、ケーブルテレビ網を使った回線です。

■ Cookie

Web サイトから、ブラウザに対して一時的に書き込まれる情報です。

たとえば、買い物ができる Web サイトでは、購入したい商品を選んだときに情報が書き込まれます。その情報は、選んだ商品を確認するときや、購入商品の代金を計算するときに利用されます。

■ HTML

インターネット上にページを作るための記述ルールです。この記述ルールをブラウザが読み取って、ページが表示されます。

■ LAN

Local Area Network（ローカル・エリア・ネットワーク）の略で、コンピューター・ネットワークの形式のひとつです。一般家庭や企業のオフィスなど、小さな規模で用いられています。

■ WAN

Wide Area Network（ワイド・エリア・ネットワーク）の略で、コンピューター・ネットワークの形式のひとつです。広域通信網とも呼ばれ、大きな規模で用いられています。

■ Web サイト

サーバーに保存されている、関連したページの集まりのことです。AQUOS.jp もひとつの Web サイトになります。

■ インターネット

世界中にある小さなコンピューター・ネットワークがお互いにつながりを持つようになってできた、世界規模のネットワークです。

■ インターネットサービスプロバイダー

ご家庭のパソコンなどをインターネットに接続するためのサービスを提供している事業者のことです。プロバイダーと呼ばれたり、ISP と表記されることもあります。

■ キャッシュ

ブラウザが、表示したページのデータを一時的に保管しておくところです。

ページのデータは、インターネットを通じて取り込まれています。いつもインターネットからデータを取り込んで表示させると、つねにデータを取り込むための時間がかかってしまいます。このため、保管したデータを再利用し、データを取り込むための時間を節約しています。

■ サーバー

コンピューター・ネットワークでサービスや情報を提供するコンピューターのことです。

インターネットの世界では、Web ページのデータを保存しているWWWサーバー、指定した URL がどこにあるかを探す DNS サーバー、企業などの内部ネットワークとインターネットの間で効率よく Web ページを表示したり、内部ネットワークを保護したりするプロキシサーバーなど、いろいろなサーバーが無数にあります。

■ スプリッター

ADSL 回線でインターネットに接続する際に、インターネット用のデータ信号と電話用の音声信号を分離する機器です。

■ ハブ

LAN などのネットワークのケーブルを分けたり、中継したりする機器です。

■ 光回線

ブロードバンド回線のひとつで、光ファイバー網を使った回線です。

ADSL 回線や CATV 回線に比べてデータの転送スピードの速さが特長です。

■ ブックマーク

ページの URL を記憶する機能です。

ブックマークに登録することで、URL を入力したり、何度もリンクをたどったりする必要がなくなります。

「お気に入り」と呼ばれることもあります。

■ ブラウザ

インターネット上のページを見るためのソフトウェアです。Web ブラウザ、インターネットブラウザなどと呼ばれることもあります。

■ ブロードバンド回線

一度に大量のデータをやりとりすることができるインターネットに接続するための回線のことです。

ADSL 回線、CATV 回線、光回線などがあります。

■ 文字コード

コンピューターの内部は、すべて 0 と 1 の組み合わせで成り立っています。画面に表示される文字も 0 と 1 の組み合わせになります。この 0 と 1 の組み合わせをどの文字にするかを取り決めたものが文字コードです。

世界中にはさまざまな文字があり、その文字に合わせて各地域で標準となっている文字コードがあります。このため、ページを作成するために使われた文字コードとブラウザの文字コードが異なる場合もあり、この場合、文字が正しく表示されなくなることがあります。

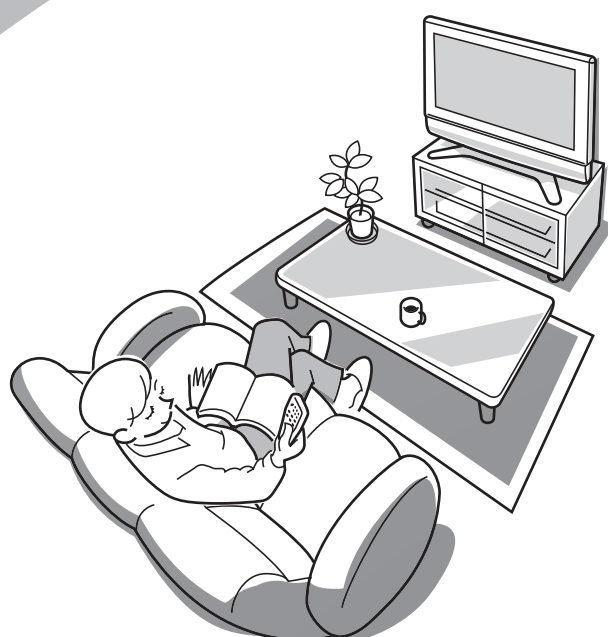
■ リンク

インターネットのページ上にあって、他のページなどを表示するための入り口のことです。

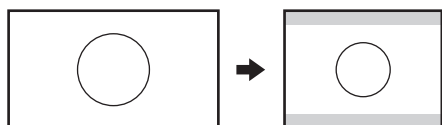
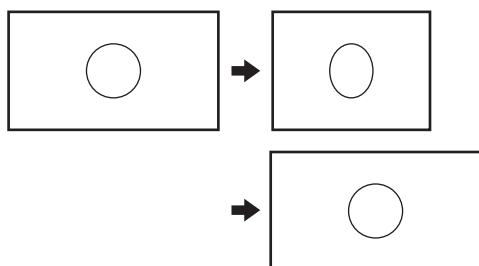
一般的には、青い文字や青い枠で表示されたり、下線がついていたりします。

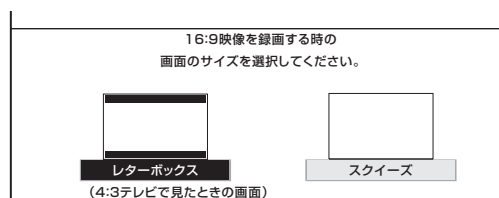
デジタル放送を快適に見るための設定

ページ

画面サイズや画面表示の設定

録画画面サイズ設定

■ 本機に接続した録画用機器にデジタル放送の16:9映像を録画するときの画面サイズを選びます。

「レターボックス」…4:3のテレビで見たとき、画面の上下に黒い帯が入った横長の映像で表示し、オリジナルの16:9映像のまま見ることができます。

「スクイーズ」………4:3のテレビで見たとき、横方向に圧縮された縦長の映像になります。16:9のテレビで見たときは、オリジナル映像そのままのワイド映像になります。

1 メニュー画面から「デジタル設定」ー「録画画面サイズ設定」を選び、決定を押す

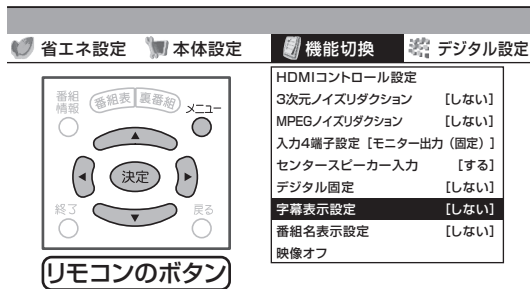
2 ◀▶で「レターボックス」または「スクイーズ」を選び、決定を押す

操作終了する場合は

メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

- 1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

字幕を表示させるための設定

■ 字幕のある番組で、字幕を表示するかしないかを選択できます。
■ 工場出荷時の状態では、「しない」に設定されています。

1 メニュー画面から「機能切換」ー「字幕表示設定」を選び、決定を押す

2 ◀▶で「する」または「しない」を選び、決定を押す

「する」…… 字幕のある番組では、つねに字幕を表示します。（リモコンの字幕ボタンを押しても、字幕表示を消せません。）

「しない」… リモコンの字幕ボタンで、字幕表示を入／切することができます。

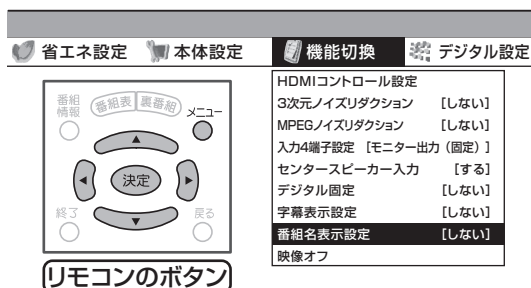
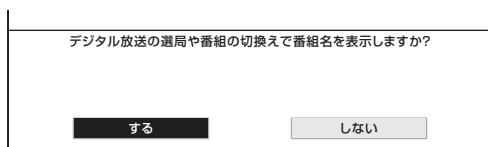
操作終了する場合は

メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

• 1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

番組名を表示させるための設定

■ 番組を選んで画面を切り換えたときなどに番組タイトルなどの表示をするかどうかを設定します。

1 メニュー画面から「機能切換」ー「番組名表示設定」を選び、決定を押す

2 ◀▶で「する」または「しない」を選び、決定を押す

（表示例）

「する」…… 番組タイトルや放送時間などを表示します。

「しない」… 何も表示しません。

操作終了する場合は

メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

• 1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

字幕ボタンについて

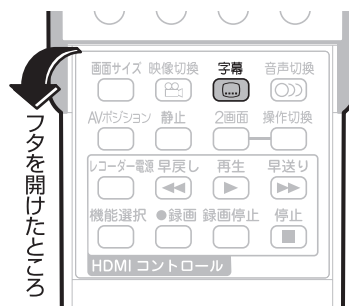
• 字幕表示設定を「する」にしたとき
複数の字幕がある番組では、リモコン（フタ内）の字幕ボタンを押すと、字幕を切り換えられます。
• 字幕表示設定を「しない」にしたとき
字幕のある番組では、リモコン（フタ内）の字幕ボタンを押すと、字幕表示の入／切、および複数の字幕の切換えができます。

安心して使うための設定

共通操作

定　本体設定　機能切換　デジタル設定　お知らせ

録画画面サイズ設定 [レターボックス]
デジタル音声設定 [PCM]
ダウンロード設定 [する]
番組表設定
通信設定
ビデオ連動録画設定
i.LINK設定
暗証番号設定
視聴年齢制限設定
PPV設定
双方向サービス設定
システム動作テスト

リモコンのボタン

1 メニュー画面から◀▶で「デジタル設定」を選ぶ

2 ▲▼で設定したいメニュー項目を選び、決定を押す

メニュー項目	
暗証番号設定 ■ 本機は、視聴する人の年齢制限や視聴料金の制限など、各種の制限を設けることができます。 これらの制限を通過するときやPPV番組などを購入するときに暗証番号を使います。 ・ 暗証番号は必ずメモしてください。 	**3** ① ◀▶で「する」を選び、決定を押す ② 数字ボタン(1～10/0)で、暗証番号を入力する
視聴年齢制限設定 ■ 年齢制限のある番組の視聴を制限することができます。なお、年齢制限は4～20歳の範囲で設定できます。この設定をするためには、あらかじめ暗証番号の設定(上記)をしておくことが必要です。	**3** 数字ボタン(1～10/0)で、暗証番号を入力する ・ 視聴年齢制限設定画面が表示されます。
PPV設定 **有料の番組の購入を制限する** ■ 暗証番号を入力しないとPPV番組(有料番組)を購入できないように設定できます。この設定をするためには、あらかじめ暗証番号の設定(上記)をしておくことが必要です。	**3** 数字ボタン(1～10/0)で、暗証番号を入力する ・ PPV設定画面が表示されます。
有料の番組の購入金額を制限する ■ PPV番組(有料番組)の購入金額を制限します。設定した以上の金額の番組を購入するときは、暗証番号の入力が必要になります。この設定をするためには、あらかじめ暗証番号の設定(上記)をしておくことが必要です。	**3** 数字ボタン(1～10/0)で、暗証番号を入力する 暗証番号を入力してください。 ・ PPV設定画面が表示されます。

暗証番号を変更するとき

① メニュー画面から「デジタル設定」ー「暗証番号設定」を選ぶ
- 暗証番号入力画面が表示されます。

② 数字ボタン（1～10/0）で、暗証番号を入力する

- 暗証番号を入力すると、**196**ページ**「暗証番号設定」**の手順**3**の画面になります。暗証番号を設定するときと同じ要領で設定しなおしてください。

暗証番号を忘れたときは

- 受信契約されている、有料放送の放送局（WOWOWやスターチャンネルなど）までご連絡ください。放送局で前の暗証番号を消去します。
  暗証番号の消去には手数料がかかります。（2007年2月現在）

操作終了する場合は

メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

- 1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

設定画面

4 確認のため、再度同じ番号を数字ボタン（1～10/0）で入力する

- 間違った番号を入力した場合は、手順**3**の②からやりなおしになります。

5 ① 暗証番号をメモする
② 「確認」で 決定 を押す

4 （上下ボタン）で年齢の入力欄を選ぶ

視聴制限年齢を入力してください。

－－ 歳以下を視聴制限する。

または、

無制限

5 制限する年齢を数字ボタン（1～10/0）で入力し、決定 を押す

- 年齢制限を設けない場合は、「無制限」を選んで決定ボタンを押します。

視聴制限年齢を入力してください。

0 4 歳以下を視聴制限する。

4 （上下ボタン）で「PPV制限」を選び、決定 を押す

5 （左右ボタン）で「する」または「しない」を選び、決定 を押す

「する」…… PPV番組の購入前に、暗証番号の入力が必要になります。

「しない」… PPV番組の購入前に、暗証番号の入力は必要ありません。

4 （上下ボタン）で「購入金額制限」を選び、決定 を押す

5 ① （左右ボタン）で購入金額の入力欄を選ぶ
② 購入金額の上限を数字ボタン（1～10/0）で入力し、決定 を押す

- 購入金額の制限を設けない場合は、「無制限」を選んで決定ボタンを押します。

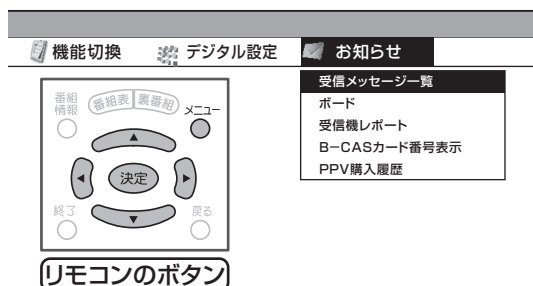
お知らせを見る

■ 受信契約した放送局から視聴者に向けて発信されるメッセージを見たり、有料放送に関するレポートやB-CASカード番号などを確認することができます。

お知らせを見るための基本操作

1 メニュー **を押し、メニュー画面を表示する**

2 ① **でお知らせを選ぶ**

リモコンのボタン

② **で見たい項目を選び、決定を押す**

- 項目によっては、この後ネットワークを選ぶ手順になります。

3 **見たい情報を** **で選び、決定を押す**

［例］「ダウンロード成功のお知らせ」を見る

	受信日時	
未読		ダウンロード成功のお知らせ
未読	2/26［月］	●●●●●●●
未読	2/26［月］	●●●●●●●
未読	2/26［月］	●●●●●●●
未読	2/26［月］	●●●●●●●
未読	2/26［月］	●●●●●●●
未読	2/26［月］	●●●●●●●
未読	2/26［月］	●●●●●●●

4 ① **情報の内容を確認する**

② **ページを切り換えるときは「一覧へ」「前へ」「次へ」などを で選び、決定を押す**

- 画面表示に従って操作してください。

お知らせの項目

項　目	内　容
受信メッセージ一覧	受信契約した放送局から発信されるメッセージを見ることができます。 受信メッセージがある場合は、画面右上のチャンネルサインに「お知らせ」と表示されます。
ボード	送られている、CS各ネットワークの掲示板（ボード情報）のタイトル一覧を表示して、ご覧になりたいタイトルを選び、メッセージを表示することができます。 ボード情報は、そのとき放送で送られているものを表示しますので、消去はできません。
受信機レポート	予約の失敗や変更に関するレポートやB-CASカードに関する情報、課金情報のアップロード（視聴履歴の送信）に失敗したときなど、受信機に関係したレポートを表示します。 アップロードに失敗したときは、「再発信」を選んで決定ボタンを押すと、アップロードしなおすことができます。
B-CASカード番号表示	受信機レポートで報告された不具合に関して、放送事業者のカスタマーセンターに連絡されるときに、お客さまの契約確認のためB-CASカードの番号を表示するものです。 **カード識別**… メーカー識別用のアルファベット1文字と3桁の数字からなります。 **カードID**…… カード固有の番号です。
PPV購入履歴	購入した最新24個のPPV番組の購入日時、チャンネル、番組名、購入金額を画面に表示して確認することができます。

- 受信メッセージがある場合は、画面右上のチャンネルサインに「お知らせ」と表示されます。
- 「お知らせ」の表示がある状態で、未読の受信メッセージをすべて表示すると、「お知らせ」の表示が消えます。

「B-CASカードの初期化に失敗しました」との表示が出た場合は

- デジタル放送が正常に受信できているときには、対応の必要はありません。
- 正常に受信できていないときには、B-CASカードを挿入しなおしてください。

双方向通信を利用する

■ 双方向通信とは、デジタル放送の双方向サービスで利用される通信方式です。視聴者が番組上でショッピングしたり、クイズ番組に参加して楽しむことができます。

双方向通信を利用するには

1 次のいずれかの方法で、下の図を参考に本機を接続する

- **LAN回線に接続する**：快適な通信速度で楽しむことができます。この場合でも電話回線のみで通信されることがあるので、必ず電話回線端子にも接続してください。
- **電話回線に接続する**:本機を電話回線に接続することで、電話回線を利用した双方向サービスが利用可能です。ただし、LAN経由の双方向サービスを利用するにはLAN端子の接続が必要です。

※インターネット機能は電話回線では接続できません。

2 必要に応じて「LAN設定」や「電話回線設定」を行う

- 電話回線経由の双方向サービスで正しく接続できない場合は**66**ページの「電話回線に接続する」にしたがって「電話回線設定」（**68**ページ）の内容を確認してください。
- LAN経由の双方向サービスで正しく接続できない場合は、**176**ページの「本機のネットワークの設定を確認する」にしたがって「LAN設定」の内容を確認してください。

3 LAN接続の場合はインターネットに接続できるか確認する（175ページ）

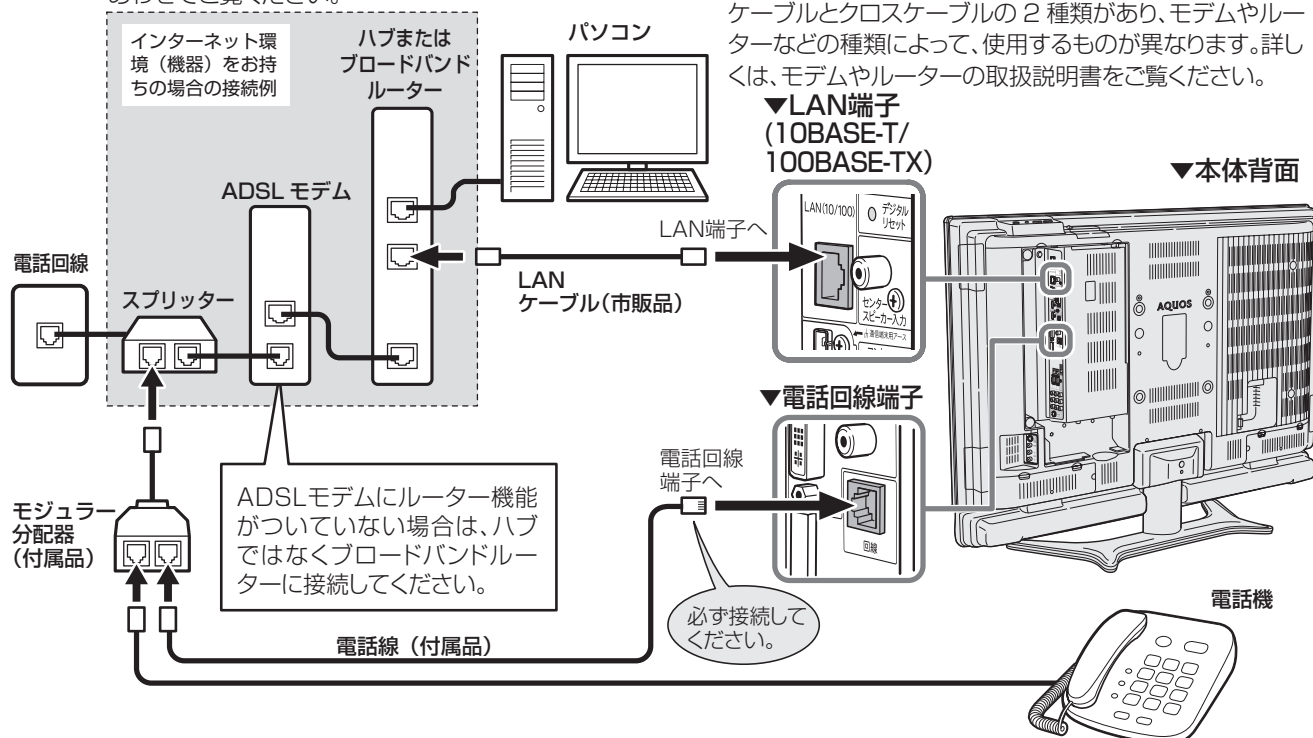
- 光回線やADSLを使用する、インターネットを介したIP電話などの電話回線では、ご加入の通信会社によっては、デジタル放送の双方向サービスが受けられない場合があります。詳しくは、ご加入の通信会社へご確認ください。
- ADSL専用の契約（IP電話回線網の使用に限定した契約）の場合、双方向サービスへの接続ができない場合があります。
- 回線業者やプロバイダにより、必要な機器や接続方法が異なります。
- 電話回線接続時には電話料金がかかります。（クイズ番組の答えを送信するときなど）

- ADSLの接続は、専門知識が必要なため、ADSL事業者にお問い合わせください。
- LAN接続した場合でも、電話回線のみで通信が行われることがありますので、必ず電話回線端子にも接続してください。

（接続の一例です）

- 「インターネットに接続する」（**171** ページ）もあわせてご覧ください。

LANケーブルについて

- LAN ケーブルは、10BASE-T/100BASE-TX タイプのものをご使用ください。LAN ケーブルには、ストレートケーブルとクロスケーブルの 2 種類があり、モデムやルーターなどの種類によって、使用するものが異なります。詳しくは、モデムやルーターの取扱説明書をご覧ください。

双方向サービスの利用を制限する

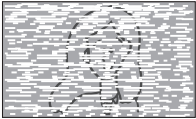
- 双方向サービスのデータ送受信には、回線の利用料金がかかる場合があります。使用を制限するために、デジタル放送やインターネットでの接続をするかしないかの設定ができます。設定には暗証番号の入力が必要です。
  この設定をするためには、あらかじめ暗証番号の設定（**196**ページ）をしておくことが必要です。

1 メニュー画面から「デジタル設定」－「双方向サービス設定」を選び、決定を押す

2 数字ボタン（1～10/0）で暗証番号を入力する

3 以下の設定項目を選び、決定を押す

デジタル放送での接続を禁止する
インターネットでの接続を禁止する
全ての接続を禁止する
禁止しない 禁止しない場合はデータ送信時に以下のアイコンを表示。

操作終了する場合は

メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

- 1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

情報ページ

ページ

故障かな？と思ったら

■ つぎのような場合は故障でないことがありますので、修理を依頼される前にもう一度お調べください。
なお、アフターサービスについては**213**ページをご覧ください。

	こんなときに	ここをお確かめください	ページ
全般	映像も音声も出ない	・電源プラグがコンセントから抜けていませんか。 ・電源が「切」の状態になっていませんか。 ・テレビ（地上アナログ放送、CATV）やデジタル放送を見たいのに、ビデオ入力などに切り換えられていませんか。	35 36 105
	リモコンが動作しない	・乾電池の極性（⊕、⊖）が逆になっていませんか。 ・リモコンの乾電池が消耗していませんか。 ・リモコンはリモコン受光部に向けてお使いください。	23
	映像は出るが音声が出ない	・音量調整が最小になっていませんか。 ・「消音」状態になっていませんか。 ・ヘッドホン端子にヘッドホンのプラグが差し込まれたままになっていませんか。 ・入力4端子設定が「モニター出力（可変）」に設定されていませんか。「モニター出力（固定）」にしてください。 ・D映像・S映像端子は映像用です。これらを使用するときは、音声端子も接続してください。	22 22 20 116 104
	音声は出るが映像が出ない	・映像オフが「する」になっていませんか。	154
	色がうすい 色あいが悪い	・色の濃さ、色あいは正しく調整されていますか。	153
	特定のチャンネルだけ映らない	・チャンネルの受信微調整がズレていませんか。	54·55
	画面が大きくなったり、小さくなったりする	・オートワイド機能が「する」になっていませんか。設定を「しない」に変更してください。	148
アンテナ	映像が出ず 雑音のみ出る	・アンテナ線が外れたり、ショートしたりしていませんか。 ・アンテナ線は正しく接続されていますか。	32～34
	画像にはん点が出る	・自動車、電車、ネオンなどからの雑音電波を受けていませんか。アンテナをできるだけ道路やネオンなどから離れた場所に立ててください。	17
	映像が二重になる（ゴースト）	・近くに山や大きな建物・樹木がある場合、それらの反射電波の影響も考えられます。アンテナの向きや高さを変えてみてください。 ・GR設定を行ってみてください。	– 76
	色じま模様が出る	・近所のテレビからの妨害電波を受けていませんか。アンテナの向きや高さを調整すれば、妨害をある程度少なくすることができます。 ・付属のアンテナケーブルを使用していますか。古いケーブルは使わないでください。	– 10·32
	雪が降っているような画面になる	・アンテナ線は正しく接続されていますか。 ・屋外アンテナ線が切れたり、外れたりしていませんか。 ・アンテナの向きが変わったり、アンテナがこわれたりしていませんか。 ・平行フィーダー線の場合、本機から線をできるだけ離してみてください。	32～34 – – 32

	こんなときに	ここをお確かめください	ページ
デジタル放送関係	映像も音声も出ない	•アンテナ電源が「切」になっていませんか。 •映像、音声のない放送ではありませんか。 •ビデオ入力などに切り換えられていませんか。 •B-CASカードは正しく挿入されていますか。	64 – 105 57
	画面に四角のノイズ（モザイク）が出る	•アンテナの向きがズレていませんか。 •アンテナレベル（信号強度）を確認してください。 •アンテナの前方に障害物はありませんか。 •アンテナおよびアンテナケーブルは専用のものを使用していますか。	– 65 – 32~34
	WOWOWやスターチャンネルなどの有料放送が視聴できない	•B-CASカードは正しく挿入されていますか。 •有料放送を視聴するための契約はしていますか。 •電話回線の接続や設定は正しくされていますか。	57 40 66·68
	110度CSデジタル放送が受信できない	•アンテナおよびアンテナケーブルは専用のものを使用していますか。 •ブースターや分配器等をご使用になっている場合は、110度CS帯域（2150MHz）まで対応した機器に交換する必要があります。	34
	地上デジタル放送が受信できない	•お住まいの地域で地上デジタル放送は開始されていますか。 •地上デジタル放送の受信に必要なUHFアンテナが正しく設置されていますか。 •アンテナ線は正しく接続されていますか。 •お住まいの都道府県を地域選択で正しく設定していますか。 •チャンネル設定は正しくされていますか。	– 41 32·33 58 60
	画面にノイズが出る	•VHF/UHFのアンテナケーブルがBS·110度CSアンテナケーブルと接近していませんか。	–
	特定のチャンネルだけ映らない	•契約していない有料放送ではありませんか。 •アンテナレベル（信号強度）を確認してください。	40 65
	電子番組表（EPG）が表示されない 電子番組表（EPG）に表示されない番組がある	•地上デジタル放送の場合、視聴していないチャンネルは、電子番組表に情報が表示されません。番組表取得設定を「する」に設定すると、リモコンで電源「切」（待機状態）にしたときに各放送チャンネルの番組表情報を取得します。 •電源を「入」にした後、最初に番組表を表示するときは、番組表データの受信に時間がかかります。しばらくお待ちください。	84 –
	ビデオコントローラーでの録画予約ができない	•ビデオコントローラーは正しく接続されていますか。 •ビデオ連動録画設定は正しく設定されていますか。	112 113
	番組の予約をしても受信できない	•契約していない有料放送、視聴年齢が制限されている番組などを予約していませんか。	–
その他	i.LINK接続されない	•接続先の機器の電源は入っていますか。 •i.LINKケーブルが外れていませんか。 •接続先はD-VHSビデオデッキ·AV-HDDレコーダー·Blu-ray Discレコーダー·HDV方式ハイビジョンビデオカメラですか。本機はD-VHSビデオデッキ·AV-HDDレコーダー·Blu-ray Discレコーダー·HDV方式ハイビジョンビデオカメラのみ接続が可能です。	– 120 120

■ 停電時に設定保持している項目と設定解除される項目

•テレビにおける設定内容（メニュー内設定項目、音量など）は保持されます。
•番組予約（視聴予約／録画予約）が、予約動作開始時刻を経過しているときは消去されます。
•停電前が下記の状態のものは解除されます。
 ·静止 ·オフタイマー ·消音（消音ボタンによる） ·デジタル固定 ·映像オフ ·2画面

次ページへつづく

故障かな？と思ったら（つづき）

	こんなときに	ここをお確かめください	ページ
インターネット関係	AQUOS.jpのページが表示されなくなった	• ブロードバンドルーターや信号変換機器の電源が「切」になっていませんか。 • LANケーブルが外れていませんか。 • 双方向サービス設定を「禁止しない」に設定してください。 • ブロードバンド回線やプロバイダーのメンテナンスなどにより、接続できない期間ではありませんか。しばらく、時間をおいてからもう一度接続してください。	— — 200
	文字が読めない文字になった	• ブラウザメニューの文字コードを変更してください。	189
	カーソルキーでページの続きを表示できない	• ページの読み込みが終わるまでお待ちください。	—
	インターネットに接続できない	• 取扱説明書の「インターネットに接続できないときは」(**176**ページ)をご覧いただき、接続・設定状況をご確認ください。 • 【パソコンをお持ちの場合】 AQUOSに差し込まれているLANケーブル(CAT5以上)をパソコンに差込み、パソコンでインターネットアクセスができるかどうか試してください。 • 【モデムやケーブルモデム、ブロードバンドルータが停電または電源をいったん切った場合など】 電源再投入されてから数分程度インターネットが復旧するまで時間がかかる場合があります。	176
	電話線をつないだのにインターネットに接続できない	• 電話回線ではインターネットを利用できません。 取扱説明書の「インターネットに接続する」(**171**ページ)をご覧いただき、接続してください。	171
	ホームページの音声が聞こえない ホームページの動画が再生できない	• 本機では、一部の形式の音声ファイル(WAVやAAC形式の一部)については再生可能ですが、一般のWebページで配信されている動画や音声はパソコン向けに作られており、特にお使いのアクオスの機種名が対応機種としてそのWebページに明記されていない限りは、基本的に再生できないとお考えください。	—
	パソコンのインターネット機能でできることが、本機ではできない	• 本機でインターネットを活用するときは、パソコンの一般的なブラウザと比べて異なる点がありますので、ご了承ください。 取扱説明書の「AQUOS.jpを表示する」(**178**ページ)をご覧ください。 • ファイルのダウンロードはできません。 • PDFを読み込む機能はついておりません。 • メールの送受信機能はありません。　など	178

デジタル放送の注意文など

■B-CASカードや放送の受信・視聴に関するエラーメッセージ

画面に表示されるエラーメッセージ例	エラーコード	対処のしかた	参照ページ
B-CASカードを正しく装着してください。		B-CASカードを正しく挿入してください。装着してある場合は、挿入しなおしてください。	57
このB-CASカードは使用できません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	****	B-CASカードを抜き差ししてみてください。それでもエラーが表示される場合は、B-CASカスタマーセンターおよびご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	57
このカードは使用できません。 正しいB-CASカードを装着してください。	****	専用のB-CASカードを挿入してください。	57
このチャンネルは契約されていません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	****	ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	−
このB-CASカードには必要な情報が有りません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	****	ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	−
放送チャンネルではないため、視聴できません。	**E200**	このチャンネル(番組)は視聴できません。	−
天候の影響やアンテナの接続状況などにより、受信状態が悪くなっています。	**E201**	天気の回復をお待ちください。	−
アンテナ信号レベルが強すぎて、受信状態が悪くなっています。信号レベルを調整してください。	**E201**	アンテナ信号が強すぎるため、受信障害が発生しています。ブースターの調整や減衰器の挿入が必要です。販売店などにご相談ください。	−
アンテナ信号レベルが強すぎて放送が受信できません。信号レベルを調整してください。	**E202**	アンテナ信号が強すぎるため、受信障害が発生しています。ブースターの調整や減衰器の挿入が必要です。販売店などにご相談ください。	−
放送が受信できません。アンテナの接続状況や調整をご確認ください。	**E202**	アンテナ線を確認してください。 アンテナの設定が合っているか確かめてください。	32･34 64
現在放送されていません。番組表などで放送時間を確認してください。	**E203**	番組表などで放送時間を確かめてください。	−
○○○チャンネルが見つかりません。 番組表などでチャンネルを確認してください。	**E204**	番組表などでチャンネルを確かめてください。	−
アンテナ線がショートしているか、接続状況や設定に不具合があります。本体の電源を切ってから、アンテナとの接続を確認してください。	**E209**	本体の電源を切り、アンテナとの接続を確認してから電源を入れなおしてください。	32･34
○○○チャンネルのサービスは、この受信機では受信できません。	**E210**	選局されたチャンネルとは別のチャンネルを選局してください。	−
契約期限が切れています。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	****	ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	−
このチャンネルは視聴条件により、ご覧いただけません。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	****	ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	−
受け付け時間を過ぎていますので購入できません。	****	番組の冒頭の限られた時間しか購入できない番組もあります。	−
電話回線を接続の上、ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	****	電話回線の接続を確認のうえ、B-CASカードを抜き差ししてください。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	57･66
データの通信に失敗しました。	**E301**	電話回線の接続を確認して、メニューの「通信設定」を正しく行ってください。	66･68
データが受信できません。	**E400**	現在ご覧のチャンネルとは別のチャンネルをいったん選局した後、エラーが起こったデータ放送チャンネルを再度選局してください。	−
対象地域外のため、データを表示できません。	**E401**	現在ご覧のデータ放送チャンネルを終了し、別のチャンネルを選局してください。	−
この受信機では、データを表示できません。	**E401**	現在ご覧のデータ放送チャンネルを終了し、別のチャンネルを選局してください。	−
データの表示に失敗しました。	**E402**	現在ご覧のチャンネルとは別のチャンネルをいったん選局した後、エラーが起こったデータ放送チャンネルを再度選局してください。	−

次ページへつづく

デジタル放送の注意文など(つづき)

■i.LINKに関する注意文

注意文	内容・対処のしかた
現在選択している機器では正常に録画／再生できない可能性があります。	本機が対応していない機器、あるいはDTLAのコピー・プロテクション技術を搭載していない機器を選択したときに表示されます。
i.LINK機器の接続が不正か、接続異常が発生しています。取扱説明書をお読みのうえ、接続しなおしてください。	i.LINKケーブルによる接続が異常なときに表示されます。**121**ページの「接続に関するご注意」をお読みのうえ、接続しなおしてください。
現在選択している機器は“録画／再生”できない状態です。他の機器から使用中でないか確認してください。	選択している機器が、すでに他の機器から使用されているときに表示されます。本機から使用するためには、他の機器を操作する必要があります。

■HDMIコントロール録画時のエラーメッセージ

画面に表示されるエラーメッセージ	対処のしかた
録画に失敗しました(S05)	録画ができないコンテンツ(放送や番組)、または録画ができない録画メディア(HDD/DVDなどの録画媒体)です。コンテンツまたは録画メディアを確認してください。
録画に失敗しました(S16)	録画メディアを確認してください。
録画に失敗しました(S17)	現在再生中です。再生を停止した後、再度録画を設定してください。
録画に失敗しました(S18)	現在録画中のため、あらたに録画できません。
録画に失敗しました(S19)	録画メディアが書き込み禁止です。録画メディアを確かめてください。
録画に失敗しました(S20)	放送が受信できません。設定が正しく行われているか、確認してください。
録画に失敗しました(S21)	録画メディアに録画できません。録画メディアを確かめてください。
録画に失敗しました(S31)	録画機器が録画できない状態です。録画機器を確認してください。

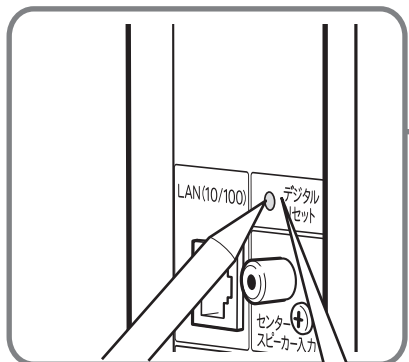
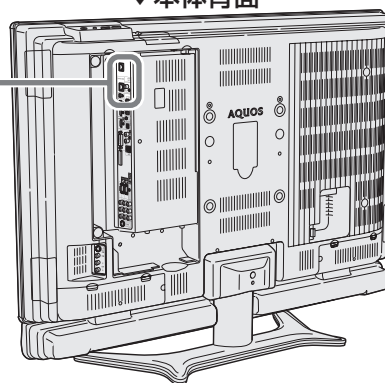
■双方向通信に関するエラーメッセージ

画面に表示されるエラーメッセージ例	エラーコード	対処のしかた	参照ページ
番組で指定されたプロバイダへの接続に失敗しました。[C104]	**C104**	電話回線の接続を確認の上、「電話回線設定」の内容をご確認ください。	66･68
番組で指定されたプロバイダへの接続に失敗しました。[C105]	**C105**	電話回線の接続を確認の上、「電話回線設定」の内容をご確認ください。	66･68
番組で指定された情報センター※1への接続に失敗しました。[C006]	**C006**	電話回線の接続を確認の上、「電話回線設定」の内容をご確認ください。	66･68
アクセスできませんでした。[C204]	**C204**	ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	–
サーバー証明書※2が不正のため、アクセスを中断します。[C208]	**C208**	ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	–
サーバー証明書※2に問題があり、アクセスを中断します。[C209]	**C209**	ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	–
双方向サービスを利用するには、双方向サービス設定で電話回線への接続を「禁止しない」を設定してください。	****	双方向サービス設定で「禁止しない」を選択してください。	200
登録してあるプロバイダへの接続に失敗しました。電話回線設定を確認してください。	****	電話回線設定を確認してください。	68･199
まだルート証明書※3を受信していません。 セキュリティの保障ができないため、アクセスしないことをお勧めします。アクセスしますか？	****	アクセスしないことをお勧めします。	–
サーバー証明書※2の信頼性が確認できません。セキュリティの保障ができないため、アクセスしないことをお勧めします。アクセスしますか？	****	アクセスしないことをお勧めします。	–
まだ新しいルート証明書※3を受信していません。セキュリティの保障ができないため、アクセスしないことをお勧めします。アクセスしますか？	****	アクセスしないことをお勧めします。	–

※1 情報センター…… 双方向通信において、お客さまからのデータを受けとるセンター。
※2 サーバー証明書… 暗号化通信に使われる暗号鍵。Webサーバーに保存される。有効期限が記述されており、この期間を過ぎると使用できない。
※3 ルート証明書…… 暗号化通信に使われる復号鍵。放送波で伝送され、受信機に保存される。有効期限が記述されており、この期間を過ぎると使用できない。

リセットボタンについて

デジタルリセットボタン

■ 本機を使用中に、強い外来ノイズ(過大な静電気、または落雷による電源電圧の異常など)を受けた場合や誤った操作をした場合など、操作を受けつけなくなるなどの異常が発生することがあります。
このようなときは、本体背面のデジタルリセットボタンを押してから操作をやりなおしてください。

- リセット直後はデータ取込みのため、画面表示には多少時間がかかります。
- 壁かけ設置などで、デジタルリセットボタンが押せない場合は、電源コードの抜き差しをしてください。

温度上昇時のお知らせ表示について

表示内容:

- 画面の右下に「モニター温度」の文字が点滅表示されます。さらに温度が上昇すると、自動的に電源待機状態になります。

処置のしかた:

- 温度が上昇して電源待機状態になったときは、ふだんどおりリモコンなどで電源を入れなおすことができますが、温度が上昇した原因を取り除かないと、またすぐに電源待機状態になります。
- 本機の設置状態や場所が、温度が上がりやすい状態にないかご確認ください。本機背面に空いている通風孔がふさがれていると、温度が上がりやすくなります。
- 本機の内部や通風孔にホコリがたまっていると、内部の温度が上がりやすくなります。外部から取り除けるホコリはこまめに取り除いてください。内部のホコリの除去については、お買い上げの販売店にご相談ください。

デジタル放送の受信ができなくなったり、リモコンや本体ボタンの操作ができなくなるなど、正常に動作しないときは

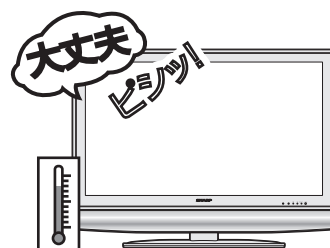
本機はマイコンを使用した機器です。外部からの雑音や妨害ノイズにより正常に動作しないことがあります。こんなときは本体天面の電源スイッチで電源を「切」にし、電源プラグをコンセントから抜いて1分間ほど放置した後、再度差し込み、動作を確認してください。

このようなときも故障ではありません

ときどき「ピシッ」と音がする

- 温度の変化により、キャビネットがわずかに伸縮する音です。
  性能その他に影響はありません。

BS・110度CS共用アンテナへの積雪や豪雨などによる一時的な映像障害

- 衛星放送は雷雨や豪雨のような強い雨が降ったり、雪がアンテナに付着すると電波が弱くなり、一時的に画面や音声に雑音が出たり、ひどい場合にはまったく受信できなくなることがあります。これは気象条件によるもので、アンテナや本機の故障ではありません。
- 春分や秋分の前後20日程度は人工衛星が地球の陰(食)になるため、深夜一時的に電波が止まる場合があります。

ダウンロードを行う

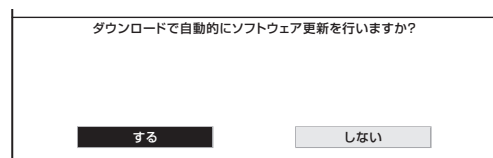
■ ダウンロード機能とは、本機内のソフトウェアを書き換えて、機能アップや機能改善等を行うためのもので、その方法には2種類あります。
1つは自動的にダウンロードを行う方法で、もう1つはお客様が必要に応じ、手動でダウンロードを行う方法です。
なお、お買い上げ時は利便性を考えてダウンロードの選択は「自動」に設定されています。

ダウンロードの可能な環境について

- ダウンロードはBSデジタル放送および地上デジタル放送で実施されます。デジタル放送を直接受信できない環境ではダウンロードできません。
  ケーブルテレビのセットトップボックスを利用してデジタル放送を受信している場合もダウンロードできません。

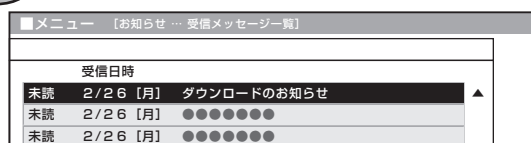
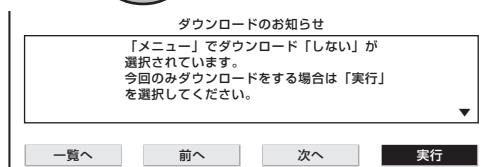
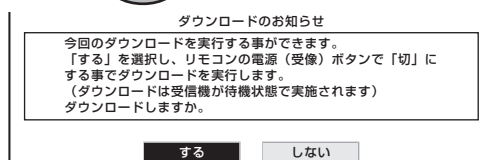
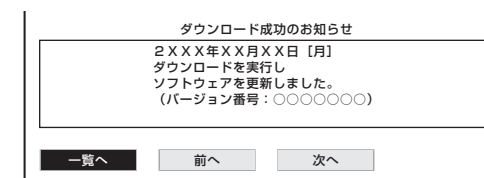
1 メニュー画面から「デジタル設定」ー「ダウンロード設定」を選び、決定を押す

2 ◀▶で「する」または「しない」を選び、決定を押す

「する」……自動ダウンロードでソフトウェアの更新を行います。（工場出荷時の設定）
「しない」…ソフトウェアの自動ダウンロードを行いません。

手動でダウンロードを行うとき

- 自動ダウンロードを「しない」に設定した場合、手動でダウンロードを行うことができます。

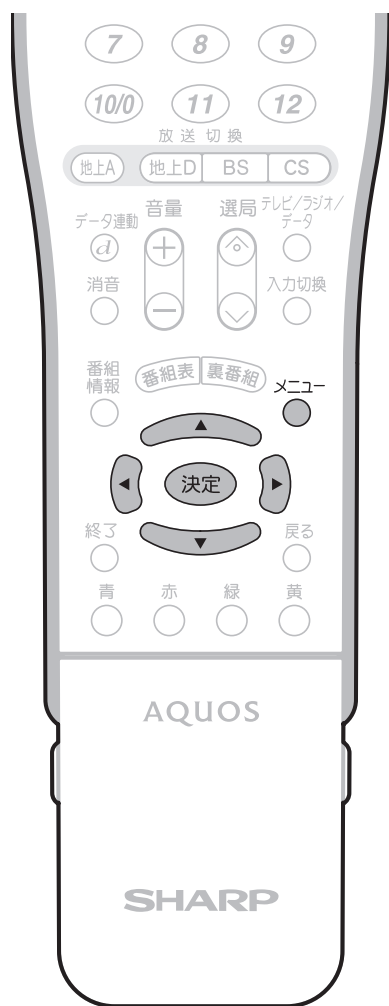
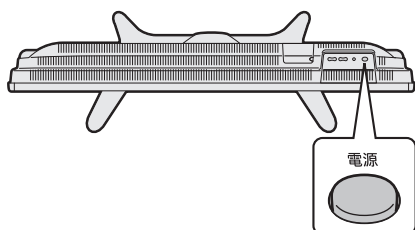
① メニュー画面から「お知らせ」ー「受信メッセージ一覧」を選び、決定を押す

② で「ダウンロードのお知らせ」を選び、決定を押す

③ 画面の表示内容を確認してから、◀▶で「実行」を選び、決定を押す

④ 画面の表示内容を確認してから、で「する」を選び、決定を押す

- ダウンロードが成功すると、「お知らせ」の「受信メッセージ一覧」の中に、ダウンロードが成功した旨のメッセージが書き込まれます。
- お知らせを見る場合は、**198**ページ「お知らせを見る」の操作を行ってください。

- ソフトウェアの受信（ダウンロード）には、数分程度の時間がかかります。その間は、デジタルリセットボタンの操作、電源プラグの抜き差しを行わないでください。ダウンロードが失敗する場合があります。
- ダウンロードによって、設定内容が工場出荷時の状態に戻ることがあります。その場合は、設定しなおしてください。
- ダウンロードによって、予約の情報がなくなる場合があります。そのときは、再度、予約設定を行ってください。
- **ダウンロードは、本機の電源が待機状態（電源ランプが赤色点灯）のときに実行されます。リモコンの電源ボタン等で、電源待機状態にしてください。**

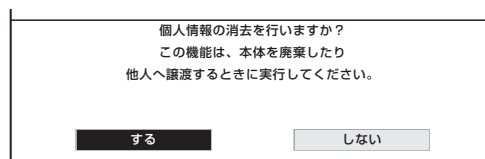
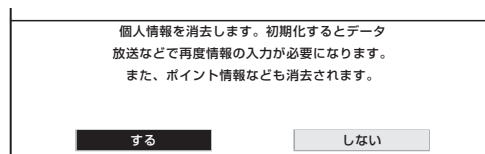
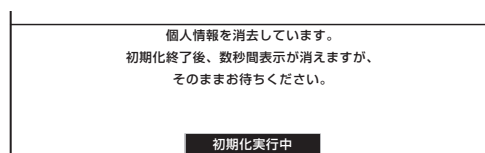
本機を譲渡・廃棄するときは

個人情報の初期化について

■ 本機には、放送局とデータの送受信を行うために入力した、お客さまの個人情報があります。
本機を他人に譲渡したり、廃棄したりする際には、個人情報の初期化を行い情報を消去してください。

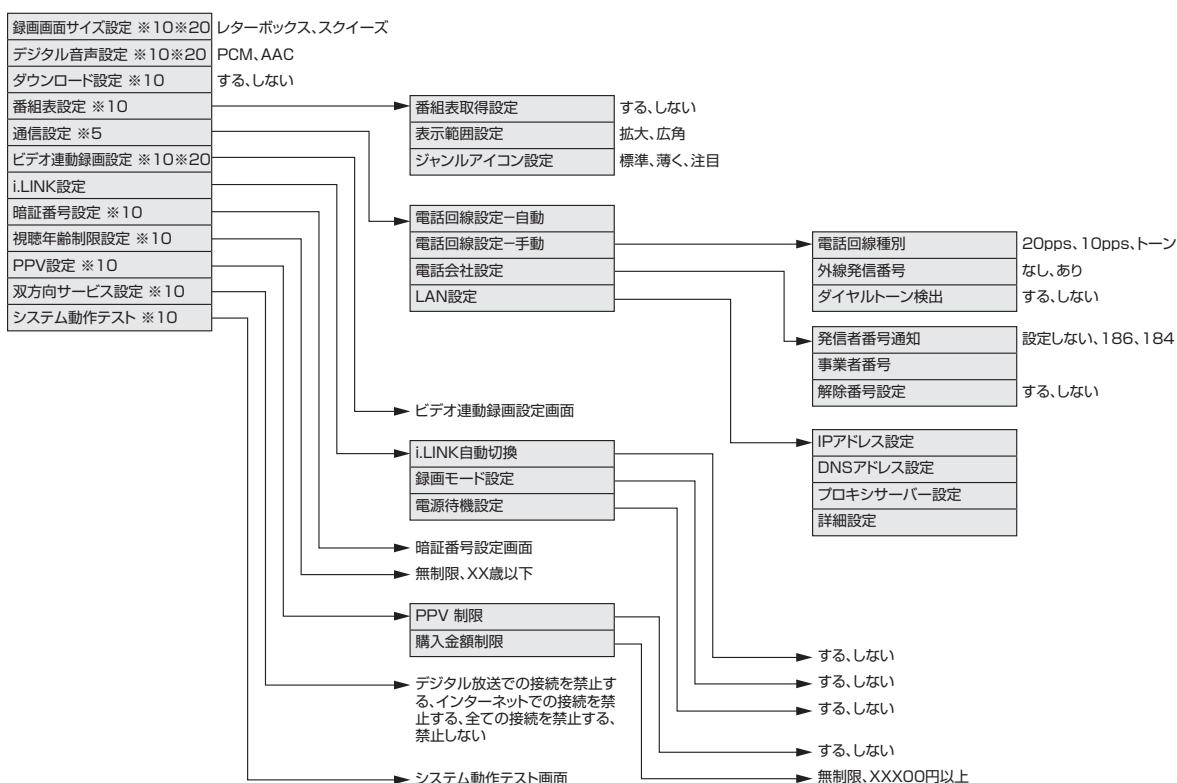
● お客さまが設定した情報内容(チャンネル設定、予約、各調整値、LAN設定、暗証番号など)がすべて初期化されます。

▼本体天面

データ放送の双方向サービスなどで本機に記憶されたお客さまの登録情報やポイント情報などの一部、またはすべての情報が変化・消失した場合の損害や不利益について、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

1 メニュー画面から「本体設定」ー「個人情報初期化」を選び、決定を押す

2 ◀▶で「する」を選び、決定を押す

3 ◀▶で「する」を選び、決定を押す

- 表示が「初期化実行中」(点滅)に変わります。初期化には、しばらく時間がかかります。

- 初期化が終了すると、画面が数秒間消え、メニューが解除されます。

4 本体天面操作部の電源を押し、電源を切る

メニュー項目一覧

映像調整※1 ※2
明るさセンサー
切、入、入:表示あり
明るさ
−16〜標準〜+16
映像
0〜+40
黒レベル
−30〜0〜+30
色の濃さ
−30〜0〜+30
色あい ※3
−30〜0〜+30
画質 ※9
−10〜0〜+10
プロ設定
リセット
する、しない
カラーマネージメント−色相
カラーマネージメント−彩度
カラーマネージメント−明度
R
−30〜0〜+30
Y
−30〜0〜+30
G
−30〜0〜+30
C
−30〜0〜+30
B
−30〜0〜+30
M
−30〜0〜+30
リセット
色温度
高、高−中、中、中−低、低
ディテール強調※9
0〜+15
QS駆動
スタンダード、アドバンス
アクティブコントラスト※9
する、しない
I／P設定※9
動画より、静止画より
フィルムモード※4※9※21
する、しない
3次元設定
標準、動画より、静止画より
モノクロ
する、しない
明るさセンサー設定
最大値設定:−16〜0〜+16、最小値設定:−16〜0〜+16
音声調整※1 ※2 ※6 ※7
高音
−15〜0〜+15
低音
−15〜0〜+15
バランス
左30〜中央〜右30
サラウンド※8
切、入
リセット
する、しない
省エネ設定
無信号オフ ※9
する、しない
無操作オフ
する、しない
オフタイマー
残り××時間××分、0時間30分、1時間00分、1時間30分、2時間00分、2時間30分、しない
本体設定
地域設定※10
地域選択
地域／都道府県選択画面
郵便番号設定
郵便番号設定画面
チャンネル設定 ※10
地上アナログ
自動
する、しない
追加
する、しない
地域番号
する、しない
個別
する、しない
地上デジタル※11
BSデジタル※11
CSデジタル※11
デジタル登録※11
する、しない
自動
する、しない
追加
する、しない
個別
アンテナ設定 ※11
電源・受信強度表示
電源連動、入、切
周波数設定
周波数設定画面
信号テスト−地上D
地上D信号テスト画面
信号テスト−BS
BS衛星信号テスト画面
信号テスト−CS
CS衛星信号テスト画面
スピーカー設定※6※7
音質補正
する、しない
視聴環境設定※12
ユーザー選択
標準、個別設定
部屋の種類
洋室、寝室、和室
設置場所
壁寄せ、コーナー置き
入力スキップ設定
入力5(HDMI1)
する、しない
入力6(HDMI2)
する、しない
入力7(DVI)
する、しない
入力表示選択 ※9※13※14
入力1、入力2、入力3、入力4、ビデオ1、ビデオ2、ビデオ3、ビデオ4、
ビデオ、コンポーネント1、コンポーネント2、コンポーネント、D端子1、D端子2、D端子、CATV、CS、
DVD、ゲーム、ムービー、D-VHS、HDD、DVR、BD、ユーザー設定
位置調整※9
水平位置
−10〜0〜+10
垂直位置
−20〜0〜+20
リセット
オートワイド※9※15
映像判別
する、しない
S2対応 ※16
する、しない
D端子識別 ※17
する、しない
映像反転
しない、左右反転、上下反転、上下左右
クイック起動設定
しない、する(常に有効)、する(2時間のみ有効)
Language（言語設定）
日本語、English
個人情報初期化
する、しない
機能切換
HDMIコントロール設定
連動起動設定
する、しない
録画機器選択
入力5、入力6
ジャンル連動設定 ※18
する、しない
3次元ノイズリダクション※9※19
しない、強、弱
MPEGノイズリダクション※9※19
しない、強、弱
入力選択 ※9※13※14
自動、D端子、S端子、ビデオ映像
入力4端子設定
モニター出力(固定)、モニター出力(可変)※8、入力
センタースピーカー入力 ※7
する、しない
デジタル固定 ※9※10※11
する、しない
字幕表示設定 ※9※10※20
する、しない
番組名表示設定 ※9※10
する、しない
映像オフ
する、しない

デジタル設定

- 録画画面サイズ設定 ※10※20：レターボックス、スクイーズ
- デジタル音声設定 ※10※20：PCM、AAC
- ダウンロード設定 ※10：する、しない
- 番組表設定 ※10
  - 番組表取得設定：する、しない
  - 表示範囲設定：拡大、広角
  - ジャンルアイコン設定：標準、薄く、注目
- 通信設定 ※5
  - 電話回線設定−自動
  - 電話回線設定−手動
    - 電話回線種別：20pps、10pps、トーン
    - 外線発信番号：なし、あり
    - ダイヤルトーン検出：する、しない
  - 電話会社設定
    - 発信者番号通知：設定しない、186、184
    - 事業者番号
    - 解除番号設定：する、しない
  - LAN設定
    - IPアドレス設定
    - DNSアドレス設定
    - プロキシサーバー設定
    - 詳細設定
- ビデオ連動録画設定 ※10※20 → ビデオ連動録画設定画面
- i.LINK設定
  - i.LINK自動切換：する、しない
  - 録画モード設定：する、しない
  - 電源待機設定：する、しない
- 暗証番号設定 ※10 → 暗証番号設定画面
- 視聴年齢制限設定 ※10 → 無制限、XX歳以下
- PPV設定 ※10
  - PPV 制限：する、しない
  - 購入金額制限：無制限、XXX00円以上
- 双方向サービス設定 ※10 → デジタル放送での接続を禁止する、インターネットでの接続を禁止する、全ての接続を禁止する、禁止しない
- システム動作テスト ※10 → システム動作テスト画面

お知らせ

- 受信メッセージ一覧 → 受信メッセージ一覧画面
- ボード※9 → ボード画面
- 受信機レポート → 受信機レポート画面
- B-CASカード番号表示 → B-CASカード番号表示画面
- PPV購入履歴 → PPV購入履歴表示画面

※1　AVポジションごとに設定できます。また、AVポジションごとに工場出荷時の設定が異なります。
※2　AVポジションが「ダイナミック（固定）」になっているときは設定できません。
※3　「プロ設定」の「モノクロ」が「する」に設定されているときは選択できません。
※4　プログレッシブ信号入力時には選択できません。
※5　テレビ視聴時またはインターネット閲覧時のみ表示されます。
※6　ヘッドホンが挿入されているときは選択できません。
※7　「入力4端子設定」が「モニター出力（可変）」に設定されているとき、または「AQUOSサラウンドで聞く」に設定されているときは選択できません。
※8　センタースピーカー入力が「する」に設定されているときは選択できません。
※9　インターネット閲覧時は表示されません。または選択できません。
※10 テレビ視聴時のみ表示されます。
※11 アナログ放送視聴時は選択できません。
※12 「スピーカー設定」の「音質補正」が「しない」に設定されているときは設定できません。
※13 入力1〜7選択時のみ表示され、それぞれで設定できます。
※14 現在選択されている入力により、表示項目が異なります。
※15 デジタル放送視聴時には選択できません。
※16 入力3･4選択時のみ表示されます。
※17 入力1･2選択時のみ表示されます。
※18 HDMIコントロール対応のAQUOSサラウンドが接続されていないときは選択できません。
※19 各入力系統で設定できます。
※20 録画予約実行中およびデジタル固定中は選択できません。
※21 AVポジションが「ゲーム」のときは選択できません。

- 条件によりメニュー項目に⃠マークがつき、灰色で表示される場合がありますが、その項目は選択することができません。

次ページへつづく

メニュー項目一覧（つづき）

入力5、入力6または入力7選択時のメニュー項目一覧

映像調整※1 ※2

項目	設定
明るさセンサー	切、入、入:表示あり
明るさ	−16～標準～+16
映像	0～+40
黒レベル	−30～0～+30
色の濃さ	−30～0～+30
色あい ※3	−30～0～+30
画質 ※9	−10～0～+10
プロ設定	→ 下記
リセット	する、しない

プロ設定

項目	設定
カラーマネージメント−色相	→ 下記
カラーマネージメント−彩度	→ 下記
カラーマネージメント−明度	→ 下記
色温度	高、高−中、中、中−低、低
ディテール強調 ※9	0～+15
QS駆動	スタンダード、アドバンス
アクティブコントラスト ※9	する、しない
I／P設定 ※9	動画より、静止画より
フィルムモード ※4※9※24	する、しない
モノクロ	する、しない
明るさセンサー設定	最大値設定:−16～0～+16、最小値設定:−16～0～+16

カラーマネージメント（色相／彩度／明度）

項目	設定
R	−30～0～+30
Y	−30～0～+30
G	−30～0～+30
C	−30～0～+30
B	−30～0～+30
M	−30～0～+30
リセット	

音声調整※1 ※2 ※6 ※7

項目	設定
高音	−15～0～+15
低音	−15～0～+15
バランス	左30～中央～右30
サラウンド ※8	切、入
リセット	する、しない

省エネ設定

項目	設定
無信号オフ ※9※21	する、しない
パワーマネージメント ※22	しない、モード1、モード2
無操作オフ	する、しない
オフタイマー	残り××時間××分、0時間30分、1時間00分、1時間30分、2時間00分、2時間30分、しない

本体設定

- スピーカー設定 ※6※7
  - 音質補正：する、しない
  - 視聴環境設定※12
    - ユーザー選択：標準、個別設定
    - 部屋の種類：洋室、寝室、和室
    - 設置場所：壁寄せ、コーナー置き
- 入力スキップ設定
  - 入力5(HDMI1)：する、しない
  - 入力6(HDMI2)：する、しない
  - 入力7(DVI)：する、しない
- 入力解像度 ※22：1024×768、1360×768
- 自動同期調整 ※22：する、しない
- 入力表示選択 ※9※13※14：(自動)入力5、(自動)入力6、入力5、入力6、入力7、ビデオ5、ビデオ6、ビデオ7、ビデオ、HDMI、HDMI1、HDMI2、DVI-I、DVD、DVR、HDD、BD、PC、ユーザー設定
- 位置調整 ※9※21
  - 水平位置：−10～0～+10
  - 垂直位置：−20～0～+20
  - リセット
- 画面調整 ※9※22
  - 水平位置：0～180
  - 垂直位置：0～100
  - クロック周波数 ※23：0～180
  - クロック位相 ※23：0～40
  - リセット
- オートワイド ※9※21
  - 映像判別：する、しない
  - HDMI識別：する、しない
- 映像反転：しない、左右反転、上下反転、上下左右
- クイック起動設定：しない、する(常に有効)、する(2時間のみ有効)
- Language（言語設定）：日本語、English
- 個人情報初期化：する、しない

機能切換

- HDMIコントロール設定
  - 連動起動設定：する、しない
  - 録画機器選択：入力5、入力6
  - ジャンル連動設定 ※18：する、しない
- 3次元ノイズリダクション ※9※19：しない、強、弱
- MPEGノイズリダクション ※9※19：しない、強、弱
- 入力選択 ※22：自動、デジタル、アナログ
- 入力4端子設定：モニター出力(固定)、モニター出力(可変)、入力
- センタースピーカー入力 ※7：する、しない
- 映像オフ：する、しない

デジタル設定

- i.LINK設定
  - i.LINK自動切換：する、しない

お知らせ

- 受信メッセージ一覧 → 受信メッセージ一覧画面
- ボード ※9 → ボード画面
- 受信機レポート → 受信機レポート画面
- B-CASカード番号表示 → B-CASカード番号表示画面
- PPV購入履歴 → PPV購入履歴表示画面

※1～20 **211**ページをご覧ください。
※21 入力5または入力6選択時のみ表示されます。
※22 入力7選択時のみ表示されます。
※23 PCをアナログ接続しているときのみ表示されます。
※24 AVポジションが「ゲーム」のときは選択できません。

- 条件によりメニュー項目に⃠マークがつき、灰色で表示される場合がありますが、その項目は選択することができません。

保証とアフターサービス よくお読みください

保証書(別添)

■ 保証書は､｢お買いあげ日･販売店名｣等の記入をお確かめのうえ､販売店から受け取ってください｡
保証書は内容をよくお読みの後､大切に保存してください｡

■ **保証期間**
お買いあげの日から1年間です｡
保証期間中でも､有料になることがありますので､保証書をよくお読みください｡
※本機を分解すると､保証が無効になります｡

使い方や修理のご相談など

■ 修理･使い方･お手入れ･お買い物などのご相談･ご依頼､及び万一､製品による事故が発生した場合は､お買いあげの販売店､または下記窓口にお問い合わせください｡

【お客様相談センター】

0120 - 001 - 251
携帯電話･PHSからもご利用いただけます｡

※詳細は､取扱説明書の裏表紙をご確認ください｡

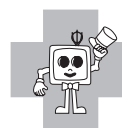
補修用性能部品の保有期間

■ 当社は､液晶カラーテレビの補修用性能部品を､製品の製造打切後､8年保有しています｡
■ 補修用性能部品とは､その製品の機能を維持するために必要な部品です｡

愛情点検

●長年ご使用のテレビの点検をぜひ！ （熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。）

このような症状はありませんか	●電源スイッチを入れても映像や音が出ない。 ●上下、または左右の映像が欠けて映る。 ●映像が時々、消えることがある。 ●変なにおいがしたり、煙が出たりする。 ●電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。 ●内部に水や異物が入った。	▶	ご使用中止	故障や事故防止のため、スイッチを切りコンセントから電源プラグをはずして、必ず販売店にご相談ください。

ちょっとした心づかいでテレビの安全

修理を依頼されるときは 出張修理

■「故障かな?と思ったら」(**202**ページ)を調べてください。それでも異常があるときは、使用をやめて、必ず電源プラグを抜いてから、お買いあげの販売店にご連絡ください。

ご連絡していただきたい内容

- 品　　名:液晶カラーテレビ
- 形　　名:LC-42GX1W/LC-42GX2W
- お買いあげ日(年月日)
- 故障の状況(できるだけくわしく)
- ご　住　所(付近の目印も合わせてお知らせください)
- お　名　前
- 電話番号
- ご訪問希望日

便利メモ

お客様へ…
お買いあげ日・販売店名を記入されると便利です。

お買いあげ日	販売店名
年　月　日	電話(　　)　　—

保証期間中

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金です。

おもな仕様

品名		液晶カラーテレビ	
形名		LC-42GX1W	LC-42GX2W
液晶パネル	画面サイズ	42V型 （横930mm×縦523mm／対角1067mm）	
	駆動方式	TFT（薄膜トランジスタ）アクティブマトリクス駆動方式	
	画素数	1,920（水平）×1,080（垂直）画素	
アンテナ入力		VHF/UHF 75Ω不平衡型、BS-IF 75Ω不平衡型、地上デジタル75Ω不平衡型	
スピーカー		6.5cm 丸形 4個、2.0cm 丸形 2個	
音声実用最大出力（JEITA）		総合30W（15W＋15W）	
使用電源		AC100V･50/60Hz	
消費電力		262W（待機時電力：0.08W、クイック起動「する」時電力：47W）	
年間消費電力		• 区分名： BJJ　• 受信機型サイズ：42V • 年間消費電力量：222kWh／年[標準時※1]	
接続端子		ビデオ入力4系統4端子（入力4はモニター出力／録画出力兼用）、 S2映像入力2系統2端子、D4映像入力2系統2端子、HDMI2系統2端子、 モニター出力1系統1端子（入力4／録画出力兼用･S2映像付き）、DVI-I端子（音声入力端子付き）、 デジタル音声出力（光）1系統1端子、アンテナ（VHF･UHF）入力･出力端子、 ヘッドホン接続端子、AC入力端子、コントロール（RS-232C）端子 i.LINK（TS）2端子、録画出力1系統1端子（入力4／モニター出力兼用･S2映像付き）、 電話回線端子、LAN端子（10BASE-T/100BASE-TX）、ビデオコントロール端子、 アンテナ入力（BS･110度CS）端子、アンテナ入力（地上デジタル）端子、スピーカー接続 端子、センタースピーカー入力端子	
受信チャンネル		地上アナログVHF1～12ch･UHF13～62ch、CATV13～63ch、 BSデジタル000～999ch、110度CSデジタル000～999ch、 地上デジタル000～999ch（CATVパススルー対応）	
BS･110度CS チャンネル受信仕様	変調	時分割多重mPSK	
	トランスポート	MPEG2 システム	
	映像	MPEG2（MP@HL）	
	音声	MPEG2 AAC	
	限定受信システム	ARIB CASシステム	
	受信周波数帯域	11.71GHz～12.75GHz	
	IRD受信周波数帯域	1032MHz～2071MHz	
地上デジタル チャンネル受信仕様	変調	直交周波数分割多重（OFDM）	
	トランスポート	MPEG2 システム	
	映像	MPEG2（MP@HL）	
	音声	MPEG2 AAC	
	限定受信システム	ARIB CASシステム	
	受信周波数帯域	93MHz～767MHz	
	CATVパススルー対応	UHF帯、ミッドバンド（MID）帯、スーパーハイバンド（SHB）帯、VHF帯	
キャビネット		プラスチック	
外形寸法	ディスプレイ部のみ	幅1032×奥行126×高さ632（mm）	幅1032×奥行126×高さ632（mm）
	スピーカー装着時	幅1032×奥行126×高さ724（mm）	幅1212×奥行126×高さ632（mm）
	スピーカー、スタンド装着時	幅1032×奥行304×高さ791（mm）	幅1212×奥行304×高さ708（mm）
本体質量	ディスプレイ部のみ	約26.5kg	約26.5kg
	スピーカー装着時	約29.5kg	約30.5kg
	スピーカー、スタンド装着時	約33kg	約33.5kg
使用温度		0℃～40℃	

■ 製品改良のため仕様の一部を予告なく変更することがあります。

■ 液晶パネルは非常に精密度の高い技術でつくられており、99.99%以上の有効画素があります。0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものがありますが故障ではありません。

■ JIS C 61000-3-2適合品
JIS C 61000-3-2適合品とは、日本工業規格「電磁両立性-第3-2部：限度値－高調波電流発生限度値（1相当たりの入力電流が20A以下の機器）」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計･製造した部品です。

■ 年間消費電力量とは：省エネ法に基づいて、型サイズや受信機の種類別の算定式により、一般家庭での平均視聴時間（4.5時間）を基準に算出した、一年間に使用する電力量です。

■ 年間消費電力量の区分名とは、「エネルギーの使用の合理化に関する法律（省エネ法）」では、テレビに使用される表示素子、アスペクト比、画素数、受信可能な放送形態及び付加機能の有無等に基づいた区分を行なっている。その区分名称を言う。

※1：一般的にご家庭で使用する際のメーカー推奨の映像モード。（本機では、AVポジション「標準」の場合です。）

寸法図

LC-42GX1W

本体質量 約33kg

(単位：mm)

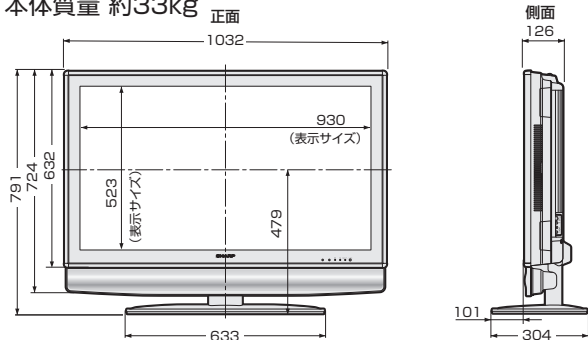
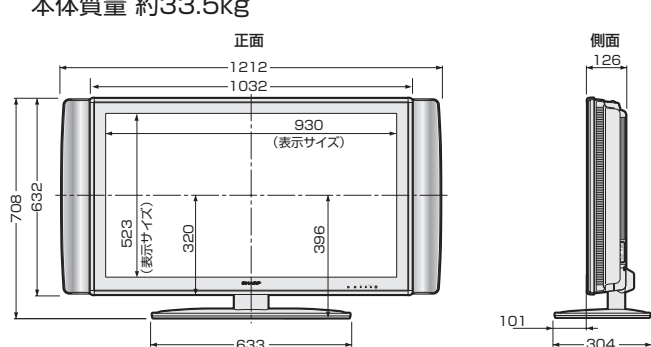
正面: 1032, 930 (表示サイズ), 523 (表示サイズ), 791, 724, 632, 479, 633

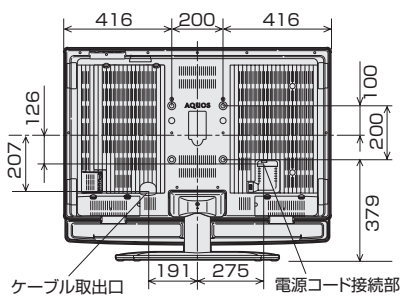
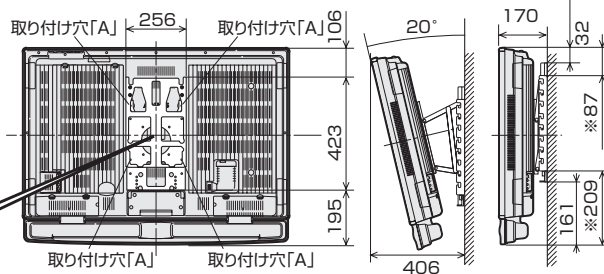
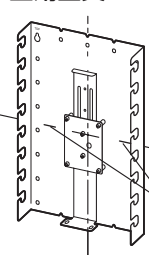
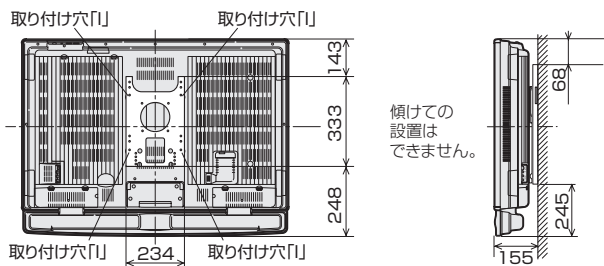
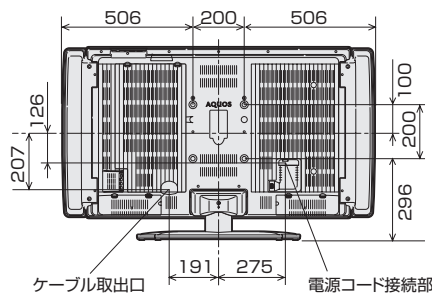
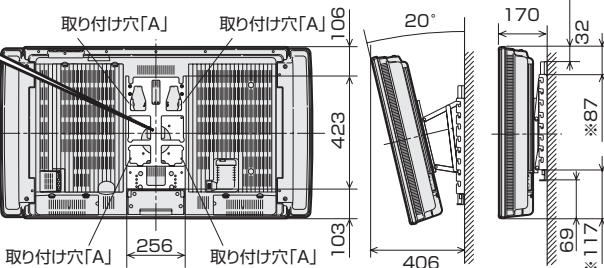
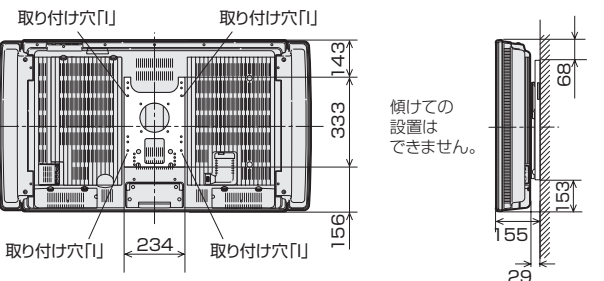
側面: 126, 101, 304

LC-42GX2W

本体質量 約33.5kg

正面: 1212, 1032, 930 (表示サイズ), 523 (表示サイズ), 708, 632, 320, 396, 633

側面: 126, 101, 304

壁掛け金具取り付け時の寸法

※ 壁に掛けたときの寸法は、製品や金具の取り付け状態によって誤差が生じる場合があります。

(単位：mm)

壁掛け設置のしかた

■ 本機を別売の壁掛け金具（AN-52AG1）を使って壁掛け設置して使用することができます。その場合は、必ず付属のスタンドを外してください。スタンドの外しかたは**28**ページをご覧ください。
■ 取付け方法など詳しくは、別売品に付属の取扱説明書をご覧ください。

- 液晶カラーテレビの設置には、特別な技術が必要ですので、必ず専門の取付け工事業者にご依頼ください。お客さまご自身による工事は一切行わないでください。配線工事についても、壁の厚さや強度を事前に確認ください。取付け不備、取扱い不備による事故、損傷については、当社は責任を負いません。

[例] LC-42GX2W（サイドスピーカータイプ）を壁掛け設置する

1 液晶テレビを設置する壁面のテレビの四隅の位置にテープなどを貼り、テレビの外形寸法の目印をつける

- 水平・垂直の角度は正確にし、寸法は正確に測ってください。
- テープ類は跡が残らないものをご使用ください。

2 4ヵ所の目印から対角線を引き、その交点（テレビ画面の中心となる位置）に目印を付ける

（糸を対角線に張り、交点に目印を付けるなど跡が残らないようにします。）

3 この目印と壁用金具のディスプレイ中心を示す刻印を合わせ、壁用金具を壁に取り付ける

- 下記の寸法の数値は目安です。作業状態などにより異なってきます。

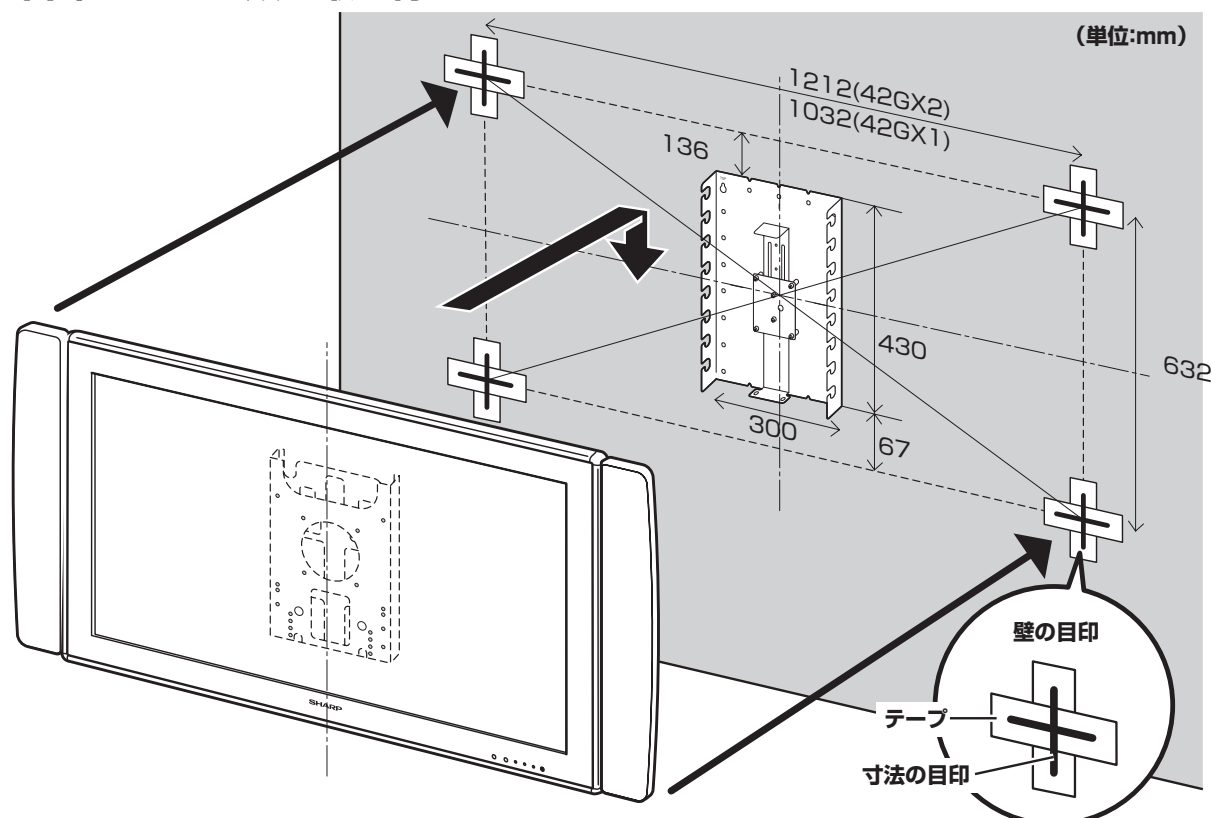
4 壁掛け金具ユニットを液晶テレビに取り付けた後、壁面の寸法の目印（テレビの四隅）を目安にして、テレビを壁掛け金具に取り付ける

本機に取り付ける壁掛け金具（AN-52AG1）について

- 取付けビスは、必ず壁掛け金具（AN-52AG1）に同梱のテレビ取付用ビスⒷ（M6、長さ12mm）をご使用ください。

取り付け時の角度について

- 壁に掛けて使う場合の取付け角度は0度、5度、10度、15度、20度です。
- 取付け角度を調整するときは、必ず液晶テレビを壁から取り外してください。

5 目印のテープ類を取り除く

※上記の方法はあくまでも参考です。設置環境に合った方法で取付け設置を行ってください。

用語の解説（よく使われるテレビ用語です）

■ 1ビットデジタルアンプ
シャープ独自開発の1ビットデジタルアンプ技術は、アナログ信号を内部で１ビットのデジタル信号に変換し、そのまま伝達/増幅を行う技術です。
１秒間に560万回（5.6MHｚ）というCDの約128倍に相当する超高速サンプリングによって、音の分解能を向上させています。
従来のマルチビット信号処理のように、情報の間引きや補完といった音質処理がないため、より原音に近い音で、「音の立ち上がり」の速さや滑らかさを高品位に再現します。
より高品位な、「11.2MHｚ」のものもあります。

■ 110度CSデジタル放送
BSデジタル放送の放送衛星（BS）と同じ東経110度に打ち上げられた通信衛星（CS）を利用した新しいデジタル放送です。細かいジャンルに特化した多数の専門チャンネルの中から見たいチャンネルを購入して視聴する仕組みになっています。一部、無料放送もあります。

■ 1125i
走査線1125本、インターレース方式。デジタルハイビジョンの高画質です。

■ 16:9
デジタルハイビジョン放送の画面縦横比です。従来の4：3映像に比べ、視界の広い臨場感のある映像が楽しめます。

■ 525i
走査線525本、インターレース方式。地上アナログ放送（VHF/UHF）やBSアナログ放送と同等の画質です。

■ 525p
走査線525本、プログレッシブ方式。デジタルハイビジョンに近い画質です。

■ 750p
走査線750本、プログレッシブ方式。デジタルハイビジョンの高画質です。

■ AAC（Advanced Audio Coding）
デジタル放送の信号は大容量のため、圧縮技術が必要ですが、AACは、デジタル音声圧縮方式の1つです。少し未来のデータを予測し圧縮効率を上げる技術を採用しており、高音質であるのにかかわらず、高圧縮、マルチチャンネル化が可能です。

■ B-CASカード（ビーキャスカード）
各ユーザー独自の番号などが記載されている、BS／110度CS／地上デジタル放送視聴用ICカードのことです。
ユーザー登録し、B-CASカードを受信機に挿入すると、双方向サービスの利用が可能となり、放送局からのメッセージを受信できるようになります。また、有料放送の視聴を希望される場合やNHKとの受信確認、そして、今後予定されている各種双方向サービスを希望される場合などにも登録済みカードが必要になります。（B-CASカードを挿入しないと、すべてのデジタル放送が映りません。）

■ BSデジタル放送
2000年12月から本格サービスが開始された新しい衛星放送で、従来のBS（アナログ）放送に比べ、より高画質で多チャンネルの放送を楽しむことができます。さらに、BSデジタル放送では、高品位のデジタル音声放送（BSラジオ）、ニュース･スポーツ･番組案内などの情報提供、オンラインショッピングやクイズ番組への参加が可能なデータ放送など、多彩なサービスを行います。

■ CATV（ケーブルテレビ）
ケーブル（有線）テレビ放送のことです。放送サービスが実施されている地域で、ケーブルテレビ局と契約することによって、放送を受信できます。それぞれの地域に密着した情報を発信しているのが特徴です。最近では多数のチャンネルや自主放送を行う都市型のケーブルテレビ局も増えています。

■ D端子
高画質映像信号用コネクタの通称です。従来、輝度信号（Y）と色差信号（CB/PB、CR/PR）を3本のケーブルで接続（コンポーネント接続）していたのを1本のケーブルで接続できるようにしたのがD端子ケーブルです。輝度･色差信号のほかにも、映像フォーマットを識別する制御信号を送ることができます。走査線数と走査方式によってD1〜D5の規格があり（本機はD4に対応）、数字が大きいほど、より高画質な映像に対応できます。

■ EPG（Electronic Program Guide）
デジタル放送で送られてくる番組情報のデータを使って画面で見られるようにした電子番組表のことです。

■ HDMI（High Definition Multimedia Interface）
ハイビジョン映像信号、マルチチャンネルオーディオ信号、双方向伝送対応のコントロール信号を1本のケーブルで接続できるAVインターフェースです。

■ i.LINK（アイリンク）
i.LINK端子を持つ機器間でデジタル映像やデジタル音声などマルチメディア系のデータの双方向通信を行ったり、接続した機器を操作したりできるシリアル転送方式のインターフェースです。接続はi.LINKケーブル1本で行うことができます。i.LINKはIEEE1394の呼称で、IEEE（米国電子電気技術者協会）によって標準化された国際規格です。現在、100Mbps、200Mbps、400Mbpsの転送速度があり、それぞれS100、S200、S400と表示されます。

■ MPEG（Moving Picture Experts Group）
デジタル放送の信号は大容量のため、圧縮技術が必要ですが、MPEGは、デジタル動画圧縮技術の符号化方式の1つです。一般に「エムペグ」と読みます。MPEG2は、「動き補償」「予測符号化」などの技術を使って画像データを圧縮するもので、圧縮レートは画像の内容により可変ですが、だいたい40分の1に圧縮することができます。

■ NTSC（National Television System Committee）
日本でも採用している現行のカラーテレビ放送方式の標準規格のことです。現在、日本、アメリカのほか、韓国、カナダ、メキシコなどで採用しています。この規格は、毎秒30フレーム（フィールド周波数60Hz）、走査線数525本のインターレース方式です。

■ PCM（Pulse Code Modulation）
アナログの音声信号をデジタル信号に変換する方式の1つ。音楽CDは、この方式を利用しています。

■ PPV（Pay Per View）
「ペイパービュー」と読みます。番組単位で購入契約が必要な有料番組のことです。

■ S1/S2映像
セパレート（S）映像信号に、画面比率4：3で上下に黒帯のあるワイド映像（レターボックス）や、もと16：9の映像を横方向に圧縮して4：3にした映像（スクイーズ）を自動判別する信号を加えた映像信号のことです。映画サイズの番組やビデオソフトを見るときは、自動的にレターボックスは「シネマ」に、スクイーズは「フル」になります。

■ インターレース（飛び越し走査）
NTSC方式のテレビやビデオの画像表示では、525本の走査線のうち、まず奇数番めの走査線（262.5本）を1/60秒で描きます（この1画面を1フィールドといいます）。つぎに偶数番めの走査線（262.5本）を1/60秒で描きます。これで、合わせて走査線525本の1枚の完全な画像（フレーム）をつくっていく方式です。「525i」「1125i」の「i」はインターレース（interlaced）を表します。

■ 液晶パネル
液晶を封入したパネルの電極間に電気を流すと、映像として見えるように開発された表示素子です。環境に配慮した低消費電力で動作する利点があります。

■ お知らせ
BS／110度CS／地上デジタル放送局から視聴者へメッセージを送るサービスです。

■ コンポーネント接続
映像信号を輝度信号（Y）と色差信号（CB/PB、CR/PR）の3つのコンポーネント（構成部分）に分離して伝送する接続方法です。コンポーネント映像端子は3つの端子に分かれているので、接続には3つのプラグに分かれた専用コード（コンポーネントケーブル）を用います。通常の映像端子による接続に比べ、色のキレが良く、チラツキのない画質が得られます。

■ コンポジット接続
通常の映像端子（ビデオ端子）を使って映像信号を伝送する接続方法です。映像端子は1つのみで、ふつう黄色で表示されており、形状は音声端子と同じです。コンポジット接続による映像･音声端子の接続では、黄･白･赤の3色に分かれたAVケーブルを使うのが一般的です。

■ 地上デジタル放送
2003年12月から東京･大阪･名古屋の3大都市圏の一部地域で開始され、その他の地域では2006年末までに開始が予定されている新しい放送です。ゴーストのない高品質映像、デジタルハイビジョン放送、データ放送や双方向サービス、多チャンネルといった、これまでの地上アナログ放送にはなかった特長をもっています。

■ ハイビジョン放送
デジタルハイビジョンの高画質放送のことです。従来の地上アナログテレビ放送が525本の走査線で表示しているのに対し、デジタルハイビジョン放送は750本や1125本の走査線を使用しているため、より緻密で高画質な映像を楽しめます。BSデジタル放送では、番組によって「デジタルハイビジョン映像」と「デジタル標準映像」という異なる画質で放送されています。

■ プログレッシブ（順次走査）
飛び越し走査（「インターレース」の項を参照）をしないで、すべての走査線を順番どおりに描く方法です。525pの場合、525本の走査線を順番どおりに描きます。インターレース方式に比べ、チラツキのないことが特徴で、文字や静止画を表示するときなどに適しています。「525p」「750p」の「p」はプログレッシブ（progressive）を表します。

■ プロバイダー
一般にはインターネットサービスプロバイダー（ISP）のことをいいます。インターネットのBMLコンテンツ（デジタル放送で使用されるデータ放送言語）を使った双方向サービスが楽しめます。

索引

●英数字・記号

●あ行

●か行

●さ行

●た行

●な行

●は行

●ま行

●や行

●ら行

●わ行

本機で使用している特許など

本機で使用しているソフトウェアのライセンス情報

ソフトウェア構成
本機に組み込まれているソフトウェアは、それぞれ当社または第三者の著作権が存在する、複数の独立したソフトウェアコンポーネントで構成されています。

当社開発ソフトウェアとフリーソフトウェア
本機のソフトウェアコンポーネントのうち、当社が開発または作成したソフトウェアおよび付帯するドキュメント類には当社の著作権が存在し、著作権法、国際条約およびその他の関連する法律によって保護されています。
また本機は、第三者が著作権を所有しフリーソフトウェアとして配布されているソフトウェアコンポーネントを使用しています。それらの一部には、GNU General Public License（以下、GPL）、GNU Lesser General Public License（以下、LGPL）またはその他のライセンス契約の適用を受けるソフトウェアコンポーネントが含まれています。

ソースコードの入手方法
フリーソフトウェアには、実行形式のソフトウェアコンポーネントを配布する条件として、そのコンポーネントのソースコードの入手を可能にすることを求めるものがあります。GPLおよびLGPLも、同様の条件を定めています。
こうしたフリーソフトウェアのソースコードの入手方法ならびにGPL、LGPLおよびその他のライセンス契約の確認方法については、以下のWEBサイトをご覧ください。
http://www.sharp.co.jp/support/aquos/source/download/index.html（シャープGPL情報公開サイト）
なお、フリーソフトウェアのソースコードの内容に関するお問合わせはご遠慮ください。
また当社が所有権を持つソフトウェアコンポーネントについては、ソースコードの提供対象ではありません。

謝辞
本機には以下のフリーソフトウェアコンポーネントが組み込まれています。
- linux kernel
- modutils
- glibc
- DirectFB
- OpenSSL
- zlib

本機で使用しているソフトウェアのライセンス表示

ライセンス表示の義務
本機に組み込まれているソフトウェアコンポーネントには、その著作権者がライセンス表示を義務付けているものがあります。そうしたソフトウェアコンポーネントのライセンス表示を、以下に掲示します。

OpenSSL License

This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org)
この製品には OpenSSL Toolkitにおける使用のために OpenSSL プロジェクトによって開発されたソフトウェアが含まれています。

Original SSLeay License

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)
この製品にはEric Youngによって作成された暗号化ソフトウェアが含まれています。

BSD License

This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.
この製品にはカリフォルニア大学バークレイ校と、その寄与者によって開発されたソフトウェアが含まれています。

本機は、MPEG2 AACに関する下記番号の特許を使用しています。

特許番号

5,848,391	5,291,557	5,451,954	5,400,433	5,222,189
5,357,594	5,752,225	5,394,473	5,583,962	5,274,740
5,633,981	5,297,236	4,914,701	5,235,671	07/640,550
5,579,430	08/678,666	98/03037	97/02875	97/02874
98/03036	5,227,788	5,285,498	5,481,614	5,592,584
5,781,888	08/039,478	08/211,547	5,703,999	08/557,046
08/894,844	5,299,238	5,299,239	5,299,240	5,197,087
5,490,170	5,264,846	5,268,685	5,375,189	5,581,654
5,548,574	5,717,821			

This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.
本機搭載のソフトウェアは、Independent JPEG Groupのソフトウェアを一部利用しております。

この製品は、著作権保護技術を採用しており、米国と日本の特許技術と知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用には、マクロヴィジョン社の許可が必要です。また、その使用は、マクロヴィジョン社の特別な許可がない限り、家庭での使用とその他一部のペイパービューでの使用に制限されています。この製品を分解したり、改造することは禁じられています。

別売品について

■ 液晶カラーテレビ専用の別売品をとりそろえております。お近くの販売店でお買い求めください。

（2007年2月現在）

No.	品　名	機種名
1	壁掛け金具	AN-52AG1 AN-37AG2※
2	フロアーラック	AN-45FR1
3	壁寄せスタンド	AN-52WS1

※ AN-37AG2を使って本機を壁に掛けた場合、角度を調整することはできません。

- 本機に適合する別売品が、新しく追加発売になることがありますので、ご購入の際には、最新のカタログで適合性や在庫の有無をご確認ください。

エコロジークラスでいきましょう。シャープ。

液晶カラーテレビ LC-42GX1W LC-42GX2W

この製品は、こんなところがエコロジークラス。

省エネ 「明るさセンサー」を活用

周囲の明るさに応じて液晶画面の明るさを自動的に調整する「明るさセンサー」機能がついています。この機能を「入」にすると周囲が暗いときには、自動的に画面を暗くするので、省エネになります。

上手に使って、もっともっとエコロジークラス。

◎外出やおやすみのときは本体の電源を切って

リモコンで液晶テレビの電源を切っても、少量の電力を消費しています。こまめに本体の電源を切ることにより、更に効果的な省エネになります。

※ただし、録画予約、衛星ダウンロードを行う場合は、リモコンで電源を切って下さい。

使い方や修理のご相談など

【お客様相談センター】

0120 - 001 - 251

携帯電話・PHSからもご利用いただけます。

■IP電話などからフリーダイヤルサービスをご利用いただけない場合は…

電話：043 - 331 - 1626　FAX：043 - 297 - 2696

〒261-8520　千葉県千葉市美浜区中瀬1-9-2

受付時間 ●月曜～土曜:9:00～20:00 ●日曜・祝日:9:00～17:00 （年末年始を除く）

●電話番号をお確かめのうえ、お間違いのないようにおかけください。

●電話番号・受付時間などについては、変更になることがあります。(2007.2)

「よくあるご質問」「メールでのお問い合わせ」などはホームページをご活用ください。

シャープサポートページ
http://www.sharp.co.jp/support/

シャープ株式会社

本　　社　〒545-8522　大阪市阿倍野区長池町22番22号

AVシステム事業本部　〒329-2193　栃木県矢板市早川町174番地

★この印刷物は環境に配慮した植物性大豆油インキを使用しています。

★この取扱説明書は再生紙を使用しています。(古紙配合率 100%)

TINS-C739WJZZ
06P10-JA-OK